

浅沼稻次郎関係文書(その2)
書類の部
目録

国立国会図書館憲政資料室
2011.3 PDF作成

浅沼稻次郎関係文書（その2）書類の部 目次

目次	i
「浅沼稻次郎関係文書 その2 書類の部」の概要	iii
凡例	vii
1. 浅沼稻次郎関係	
1.1 戦前	
1.1.1. 農民運動・労働運動	p.1
1.1.2. 無産政党運動	p.3
1.1.3. 衆議院議員選挙	p.3
1.1.4. 東京市会議員・都議会議員	p.5
1.1.5. 町会	p.7
1.1.6. 戦前その他	p.9
1.2 戦後	
1.2.1. 社会党	p.11
組織部長・組織局長時代（昭和20年～昭和21年）	p.11
書記長代理・書記長時代（昭和22年～昭和25年）	p.12
委員長時代（昭和35年）	p.21
党組織関係・党大会関係	p.22
その他	p.27
1.2.2. 衆議院	p.35
第一国会関係（議院運営委員長・政党及び選挙法に関する特別委員会関係）	p.35

その他	p.38
1.2.3. 衆議院議員選挙	p.43
1.2.4. 地方首長・地方議員選挙	p.44
1.2.5. 浅沼稻次郎葬儀	p.44
1.2.6. 農民運動・労働運動	p.48
1.2.7. 戦後その他	p.55
1.3. メモ・草稿類	p.56
1.4. 新聞・雑誌類	
1.4.1. 新聞	p.57
1.4.2. 雑誌	p.90
1.4.3. 党機関紙	p.92
社会新聞	p.92
日本社会新聞	p.92
日本社会党党報	p.92
社会大衆新聞	p.94
その他	p.94
1.4.4. スクラップブック	p.94
1.5. パンフレット・ポスター・ビラ	
1.5.1. パンフレット	p.97
1.5.2. ポスター・ビラ	p.99
1.6. 写真	p.102
1.7. 名刺など	p.102
1.8. その他	p.102
2. 浅沼享子関係	p.103

「浅沼稻次郎関係文書 その2 書類の部」の概要

【資料形態】：原資料

【数量】：1824点

【受入事項】：寄贈

【旧蔵者履歴】：浅沼稻次郎（あさぬま、いねじろう）

1898.12.27 東京府三宅島三宅村生まれ。1918 早稲田大学予科編入学、1920 早稲田大学大学部へ進学、1923.5 軍研反対学生大会で右翼に襲撃される、1925.12 農民労働党書記長、1926.3 労働農民党組織部長、1926.12 日本労農党組織部長、1927.3 全日農中央委員、1928.5 全農争議部長、1930.7 全国大衆党中央執行委員、1931.7 全国労農大衆党中央執行委員、1932.7 社会大衆党常任中央委員、1933.2 東京市議、1941 深川白河町町内会長、1943.8 東京都議会議員、1943.10 都議会副議長、1945.11 日本社会党（以下、社会党）組織部長、1946.4 衆議院議員、1946.9 社会党組織局長、1947.6 社会党書記長代理、1948.1 社会党書記長、1949.4 社会党組織局長、1951.1 社会党書記長、1952.1 右派社会党書記長、1955.10 社会党書記長、1959.3 社会党第二次訪中使節団長として中国行き、「アメリカ帝国主義は日中人民共同の敵である」と演説、1959.9 オリンピック東京大会組織委員会委員、1960.3 社会党委員長、1960.10.12 日比谷公会堂で演説中に刺殺される。

【受入経緯】：2009年5月、個人より寄贈、2009年7月30日公開。（2006年8月25日、当室搬入）

【検索手段】：「浅沼稻次郎関係文書 その2 書類の部 目録」（仮）

【関連文献】：

大曲直『浅沼稻次郎 その人・その生涯』（至誠堂、1961年）

浅沼稻次郎追悼出版編集委員会編『驀進 人間機関車ヌマさんの記録』（日本社会党機関紙局、1961年）

豊田穰『人間機関車 浅沼稻次郎』（講談社、1991年、学陽書房人物文庫所収〈2004年〉）

『浅沼稻次郎ー私の履歴書ほかー』（人間の記録72）（日本図書センター、1998年）

【関連資料】：当室所蔵「浅沼稻次郎関係文書」ほか、法政大学大原社会問題研究所に浅沼稻次郎発信・浅沼稻次郎宛書簡が所蔵されている。

【主な内容】：

＜浅沼稻次郎関係資料＞

- ・ 1.浅沼稻次郎関係資料は 1.1.戦前、1.2.戦後、1.3.メモ・草稿類、1.4.新聞・雑誌類、1.5.パンフレット・ポスター・ビラ、1.6.写真、1.7.名刺など、1.8.その他に分類した。

- ・ 1.1.戦前の資料は、農民運動・労働運動、無産政党運動、衆議院議員選挙、東京市会議員・都議会議員、町会、戦前その他に分類した。
- ・ 農民運動・労働運動の資料としては、全日本農民組合など各組合関係の資料があるほか、昭和 9 年の秋山製糖争議関係の資料のほか、大正 14 年から大正 15 年にかけての中国本土で配られたと思われる日本などへの抵抗を呼びかける中国語のビラなどがある。なお、この中国語史料が浅沼の史料に収められた経緯については不明である。
- ・ 無産政党運動関係の資料は数は少ないが全国大衆党、全国労農大衆党、社会大衆党時代の資料が含まれる。
- ・ 衆議院議員選挙関係の資料には、総選挙の演説資料のほか、選挙パンフレット類、演説会プログラムなどがある。
- ・ 東京市会議員・都議会議員の資料には、委員会速記録原稿、退職、就任の挨拶状、晩餐会等の案内、書類綴などがある。
- ・ 町会関係の資料には昭和 20 年から昭和 22 年ごろにかけての、江東区内の町会関係の資料がある。
- ・ 戦前その他の資料には、就任、退任等の挨拶状や講演会の開催案内などがある。

- ・ 1.2.戦後の資料は社会党、衆議院、衆議院議員選挙、地方首長・地方議員選挙、浅沼稻次郎葬儀、農民運動・労働運動、戦後その他、に分類した。
- ・ 社会党の資料には、常任委員会議録や、党務資料綴、社会党の下部組織の規約類、所属議員・議員候補者の名簿などのほか、各書類に綴りこまれた書簡なども含まれる。また、読売新聞の紙上討論への応募原稿もここに分類した。
- ・ 衆議院の資料には、第一国会の審議案件のほか、物資供出関係書類などが含まれる。
- ・ 衆議院議員選挙の資料には、まとまったものとしては 33 年の総選挙の際の参考書類あるが、その他、個別の資料としては選挙関連書類の雛形や選挙記録などがある。

- ・ 地方首長選挙・地方議員選挙関係の資料は1点のみだが、遊説日程や弁士参考資料などがまとめてつづりこまれている。
 - ・ 浅沼稻次郎葬儀の資料には、追悼記帳、芳名録、弔慰金カンパ袋などがある。
 - ・ 農民運動・労働運動の資料には、各種団体からの陳情書、要求書などのほか、各種団体の大会資料などが含まれる。
 - ・ 戦後その他には、江東文化労働会館建設関係などがある。
- ・ 1.3.メモ・草稿類には上記の資料に含まれない、書籍リスト、社会党関係のメモ・草稿類のほか、演説原稿などを分類した。
- ・ 1.4.新聞・雑誌類は新聞、雑誌、党機関紙、スクラップブックに分類した。
 - ・ 新聞には昭和22年から昭和35年にかけての新聞切抜を分類した。出典は朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、東京新聞、東京タイムズなど複数に渡るが、出典が判明しない切抜きも多数存在する。
 - ・ 雑誌には、日労研資料、労働タイムス、伸びゆく婦人などがある。
 - ・ 党機関紙には、社会新聞、日本社会新聞、日本社会党党報などの戦後社会党機関紙のほか、戦前の社会大衆党新聞、全国労農大衆新聞が含まれる。なお、発行された機関紙ではないが、日本社会新聞社の休刊通知、貸借対照表もここに分類した。
 - ・ スクラップブックは昭和22年から昭和23年の片山・芦田内閣時代のものと、昭和29年の近江絹糸スト関係のスクラップブック、昭和35年の安保闘争関係、総選挙関係のスクラップなどがある。
- ・ 1.5.パンフレット・ポスター・ビラには、戦前から戦後にかけて諸団体・諸個人の発行したパンフレット、労働運動関係のポスター・ビラなどが含まれる。
- ・ 1.6.写真は2点のみある。
- ・ 1.7.名刺などには諸個人から送られた名刺などを収めた。

- ・ 1.8.その他には上記に含まれない資料 3 点を分類した。

＜浅沼享子関係の資料＞

- ・ 2.浅沼享子関係資料は、浅沼稻次郎没後の第 29 回衆議院議員選挙に浅沼享子が立候補した際の選挙速報、演説関係書類、選挙ポスターなどが含まれる。

凡例

- ・当室搬入時、中野紀邦氏（中野衣江氏夫）により、書簡、書類などおおよその内容のまとまりごとに分類され、段ボール箱に箱詰めされていた。
- ・当室では、まず、書類のみを抽出し、整理、分類した。なお、その際に書類中に綴りこまれるなどした書簡についてはさらに抽出すること
はせず、書類の部に分類した。
- ・記述項目は番号／枝番／標題／作成者／年月日／用紙／形式／数量／内容／備考／付 である。
- ・枝番は綴り込み資料を解体した際などに付与したものである。
- ・標題は原則として原標題によるが、資料に標題のない場合は整理者が適宜付した。その場合には標題に〔 〕を付している。
- ・標題の記述にあたり、新聞の切抜は次のようにした。
記事名があり、かつ、単一記事の場合 → 原標題
記事名はあるが複数記事、もしくは、記事名がない場合
複数記事で掲載紙が同一、記事名不明で掲載紙が判明する → 〔〇〇新聞切抜〕
複数記事で掲載紙が不一致、掲載紙が判明しない → 〔新聞切抜〕
とした。
- ・なお、複数記事の場合、記事名が判明するものについては内容欄に記述した。
- ・作成者、年月日は推定可能なものについては記述した。その際には（ ）を付した。
- ・用紙欄には、資料の来歴を推測させる内容があった場合に記述した。
例：日本社会党本部原稿用紙
- ・形式欄には資料の記述法について記述した
例：謄写
- ・内容欄には、新聞の記事名、簿冊形態の資料の主な内容物を記述した。

- ・備考欄には、資料相互の包含関係、作成者及び年月日の推定の典拠、作成者などについての情報、新聞切抜などの台紙について記述した。
- ・付は資料に添付されていたものを記した。
- ・ホチキス・クリップなどの金具類は可能な限り除去した。ただし、除去についての記述はしていない。
- ・当目録は、今津敏晃（憲政資料室非常勤調査員）が作成した。

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1 浅沼稻次郎関係										
1.1. 戦前										
1.1.1. 農民運動・労働運動										
1		振替貯金譲渡請求書	浅沼稻次郎	昭和6年2月9日		活版、ペン	1枚		1~4は同封。浅沼の肩書きは全日本農民組合、農民労働社。	[封筒]
2		振替貯金印鑑票用紙請求書	浅沼稻次郎	昭和6年1月23日		謄写	1枚		1~4は同封。浅沼の肩書きは全日本農民組合代表者。	
3		[返戻通知]	東京振替貯金課	昭和(6)年(2)月(12)日		活版、スタンプ	1枚		年月日は印から採った。1~4は同封。	
4		[返戻通知]	東京振替貯金課	昭和(6)年(2)月(14)日		活版、ペン	1枚		年月日は印から採った。1~4は同封。	
5		昭和三年 東京市会議事録抄	東京市中央卸売市場	昭和(3)年		謄写	1冊		年は内容から推定。	
6		市町村制とは何んなものか	前川正一・伏原幸雄	昭和4年2月5日		活版	1冊		労働問題研究所発行。副題「労働者、農民、無産市民は市町村内で斯く戦	
7	1	俸給生活失業者協議会書簡	俸給生活失業者協議会	昭和(5)年1月26日		墨書	1通		7-2~7-3を同封。年は消印から採った。	
7	2	決議	[俸給生活失業者協議会]	昭和5年1月25日		謄写	1枚		7-1に同封。作成者は同封物から推定した。	
7	3	ニュース	俸給生活失業者協議会	昭和5年1月27日		謄写	1枚		7-1に同封。	
8	1	[水平社大演説会案内]		昭和(5)年(5)月		謄写	1枚		8-2に同封。年月は同封物から推定。「差別事件戦跡報告」。	
8	2	田原春次書簡	田原春次	昭和5年5月30日		鉛筆	1通		年月日は消印から採った。8-1を同封。	
9		[東京自由労働者組合吾孺支部報告]		昭和(7)年		ペン、謄写	1枚		全国労働組合同盟東京地方自由労働者組合昭和七年度大会報告用紙に記入。封筒は全国労働組合同盟クラブ排撃分裂反対同盟封筒を使用。年は内容から推定。	
10		声明書	市黎明会	昭和9年9月2日		謄写、鉛筆	1枚		黎明会に名を連ねているのは、富田富治郎、黒田保次、篠原虎之輔、黒井直良、宮村亀一、中島勝五郎、森富太、滝沢竜太郎、渡邊秀雄、阿部茂夫、浅川保平、浅沼稻次郎、田中栄蔵、横瀬精一、横井春野。	
11		[推薦状]		不明		活版	1枚		岩内善作の推薦状。	
12		[礼状]	飯塚愛之助	不明		活版、ペン	1通		飯塚の名刺に文面を書き込んだもの。飯塚の肩書きは東京市電気局共済組合理事、日本交通労働総連盟東交神明町支部長、城北埼玉県人会会長、市民倶楽部滝野川支部長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
13		深川区製材工名簿		昭和(戦前)		ペン	1綴			
14	1	[封筒]		不明		活版、ペン	1枚		14-2~14-13を入れる。三菱製鋼東京労働組合の封筒。	
14	2	関東木産労組資料(自昭和五年至昭和八年)		昭和(戦前)		ペン	1枚		表紙。14-1に入る。14-3~14-13を挟む。	
14	3	秋山ストニュース No.11		昭和(9)年		謄写	1枚		14-1に入る。14-2に入る。14-3~14-8は一括。	
14	4	秋山製糖ストニュース No.13	東京地方製糖工労働組合秋山製糖争議団	昭和9年5月25日		謄写	1枚		14-1に入る。14-2に入る。14-3~14-8は一括。	
14	5	秋山製糖ストニュース No.15	東京地方製糖工労働組合秋山製糖争議団本部	昭和9年5月30日		謄写	1枚		14-1に入る。14-2に入る。14-3~14-8は一括。	
14	6	秋山製糖争議団ストニュース No.16		昭和9年6月2日		謄写	1枚		14-1に入る。14-2に入る。14-3~14-8は一括。	
14	7	秋山製糖家庭ニュース 3号		昭和(9)年		謄写	1枚		14-1に入る。14-2に入る。14-3~14-8は一括。年は内容から推定。	
14	8	声明書	東京地方製糖工労働組合秋山製糖争議団	昭和9年4月23日		謄写	1枚		14-1に入る。14-2に入る。14-3~14-8は一括。	
14	9	昭和六年度大会報告並議案	関東木材産業労働組合	昭和6年12月4日		謄写	1綴		14-1に入る。14-2に入る。	
14	10	第三回大会報告並二議案	関東木材産業労働組合	昭和7年12月3日		謄写	15枚		14-1に入る。14-2に入る。年は大会開催日を探った。	
14	11	第三回大会一般運動方針書・規約	関東木材産業労働組合書記局	昭和7年12月3日		謄写	1綴		14-1に入る。14-2に入る。	
14	12	1932大会報告	関東木材産業労働組合	昭和8年2月21日		謄写	4枚		14-1に入る。14-2に入る。	
14	13	昭和八年度第四回大会報告並議案	全国労働関東木材産業労働組合	昭和8年12月21日		謄写	10毎		14-1に入る。14-2に入る。年月日は開催日を探った。	
15		[封筒]		不明			1枚		16~29、1425を入れる。	
16		為反抗帝国主義野蛮残暴の大屠殺	中国共産党執行委員会	大正14年6月5日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。	
17		北京国民大会宣言	北京国民大会	大正14年6月10日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。	
18		同胞速起救国		大正(14)年(6)月頃カ		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年月は内容から推定。	
19		告革命民衆		大正15年1月10日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。	
20		為反日、倒張、討吳敬告全国民衆	中国共産党北方区執行委員会、中国共産主義青年団北方区執行委員会	大正15年2月1日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。	
21		前進呢?後退呢?		大正15年1月1日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。	
22		北京総工会敬告同胞	北京総工会	大正(15)年(1カ)月		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年月は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
23		中国国民党北京特別市党部為英帝国主義者封鎖広州告全国民衆		大正15年2月27日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。	
24		北京反英討呉国民大会宣言	北京反英討呉国民大会	大正(15)年2月27日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年は内容から推定。24と25は同文、用紙色違い。	
25		北京反英討呉国民大会宣言	北京反英討呉国民大会	大正(15)年2月27日		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年は内容から推定。24と25は同文、用紙色違い。	
26		我們為什麼要反抗英日帝国主義者?	江削五	大正(14、15)年		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年は内容から推定。	
27		保護中国人民的生命財産!!!	政治生活社	大正(14、15)年		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年は内容から推定。	
28		雪恥歌		大正(14、15)年		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年は内容から推定。	
29		一致援助傷亡同胞	印刷職工団同啓	大正(14、15)年		活版	1枚		15に入る。中国語史料。年は内容から推定。	
1.1.2. 無産政党運動										
30	1	全国大衆党大阪府支部連合会規約(草案)		昭和(5カ)年		謄写	1枚		30-2に同封。裏面に執行委員人事に関する書込みあり。	
30	2	三宅正一書簡	三宅正一	大正(15)年(10)月(20)日		墨書	1通	「辞表」(大正15年10月20日)。	年月日は中身から採った。封筒表に「宣伝部、組織部」の書込みあり。30-1、30-3を同封。	
30	3	校舎使用取消通知ノ件	大堀佐内	昭和5年10月23日	東京市本所区役所罫紙	謄写、墨書	1綴		30-2に同封。大堀の肩書きは東京市本所区長。	
31		[全国労農大衆党書簡]	[全国労農大衆党]	昭和(7)年(9)月(29)日		謄写	1通	「全国労農大衆党七月度会計報告」、 「全国労農大衆党残務整理報告」。	差出人は中身から推定。年月日は消印から採った。	
32		総選挙演説資料	全国労農大衆党本部書記局	昭和(7)年		謄写	1綴		1932年版。	
33		甲賀多助宛渡辺惣蔵書簡	渡辺惣蔵	昭和(12)年2月25日		謄写	1通		年は消印から採った。葉書。渡辺の肩書きは社会大衆党中央青年隊長。	
34		第七十五議会各省別予算並提出法案		昭和14年~昭和15年		ペン、活版、 謄写	1綴	大蔵省関係(税制改正関係)、商工省関係(輸出補償関係、損害保険関係、石炭販売関係)、厚生省一般会計歳出概算決定額、拓務省関係(一般会計予算概要・台湾、朝鮮関係法律案)、地方制度改革要綱(昭和研究会)。		
35		故麻生久君追悼会発起人書簡	故麻生久君追悼会発起人	昭和16年9月23日		活版	1枚	麻生久君追悼会(一周忌)の案内。発起人は有馬頼寧、永井柳太郎、大和田悌二、岸井寿郎、井川忠雄、矢次一夫、赤松克麿、宮崎竜介、町田辰次郎、新井格、亀井貫一郎、三輪寿壮、高野岩三郎、河上丈太郎。	年月日は消印から採った。	
1.1.3. 衆議院議員選挙										
36		選挙斗争ニュース No.2	日本大衆党第六区選挙対策委員会	昭和5年2月5日		謄写	1枚			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
37		[浅沼稻次郎総選挙パンフレット]		昭和(5)年		活版	1部		年は内容から推定。	
38		[浅沼稻次郎総選挙パンフレット]		昭和(5)年		活版	1部			
39		[浅沼稻次郎名刺]		不明		活版	1枚			
40		河野密選挙斗争ニュース 第一号	日本大衆党東京第一支部	昭和5年2月5日		謄写	1枚			
41		選挙闘争ニュース No.2	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和(7)年		謄写	同一物2枚		年は内容から推定。54と関連カ。	
42		選挙斗争ニュース No.3	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和(7)年		謄写	1枚		年は内容から推定。42～45は同一物だが別出所。	
43		選挙斗争ニュース No.3	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和(7)年		謄写	1枚		年は内容から推定。42～45は同一物だが別出所。	
44		選挙斗争ニュース No.3	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和(7)年		謄写	同一物3部		年は内容から推定。42～45は同一物だが別出所。	
45		選挙斗争ニュース No.3	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和(7)年		謄写	同一物2部		年は内容から推定。42～45は同一物だが別出所。	
46		選挙斗争ニュース No.7	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和7年2月13日		謄写	同一物2部		年は内容から推定。46～48は同一物だが別出所。	
47		選挙斗争ニュース No.7	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和7年2月13日		謄写	1枚		年は内容から推定。46～48は同一物だが別出所。	
48		選挙斗争ニュース No.7	全国労農大衆党江東地区協議会	昭和7年2月13日		謄写	1枚		年は内容から推定。46～48は同一物だが別出所。	
49		浅沼選挙斗争ニュース		昭和7年2月16日		謄写	同一物2部		49～50は同一物だが別出所。	
50		浅沼選挙斗争ニュース		昭和7年2月16日		謄写	1枚		49～50は同一物だが別出所。	
51		弁士諸君に御願ひ!	浅沼稻次郎選挙弁士係長	昭和7年2月2日		謄写	同一物4枚		51～53は同一物だが別出所。	
52		弁士諸君に御願ひ!	浅沼稻次郎選挙弁士係長	昭和7年2月2日		謄写	1枚		51～53は同一物だが別出所。	
53		弁士諸君に御願ひ!	浅沼稻次郎選挙弁士係長	昭和7年2月2日		謄写	同一物14部		51～53は同一物だが別出所。	
54		浅沼稻次郎応援依頼状		昭和(7)年		謄写	同一物3枚		年は内容から推定。54～56は同一物だが別出所。浅沼稻次郎は全国労農大衆党公認衆議院議員候補。41と関係カ。	
55		浅沼稻次郎応援依頼状		昭和(7)年		謄写	1枚		年は内容から推定。54～56は同一物だが別出所。浅沼稻次郎は全国労農大衆党公認衆議院議員候補。41と関係カ。	
56		浅沼稻次郎応援依頼状		昭和(7)年		謄写	1枚		年は内容から推定。54～56は同一物だが別出所。浅沼稻次郎は全国労農大衆党公認衆議院議員候補。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
57		浅沼稻次郎君を推薦す		昭和(7)年		活版	1枚		年は内容から推定。	
58		[三宅正一総選挙パンフレット]		昭和(7)年		活版	同一物2部		年は内容から推定。	
59		[三宅正一総選挙パンフレット]		昭和(7)年		活版	同一物4部			
60		浅沼稻次郎の宣言		昭和11年1月1日		活版	1枚		第19回総選挙関係。	
61		本多市郎の宣言		昭和(17)年		活版	1枚		第21回総選挙(翼賛選挙)関係。	
62		演説会プログラム第十二日	加藤勤十選挙事務所	不明		謄写	1枚			
63		浅沼稻次郎政見発表演説会日程		不明		謄写	1枚			
1.1.4. 東京市会議員・都議会議員										
64		昭和九年自七月至九月東京市会決議録 第三巻		昭和9年		活版	1冊			
65		産業事情並に施設調査報告書	富田富次郎ほか	昭和12年3月17日		活版	1冊		報告書提出者は横瀬精一、田中栄蔵、滝沢竜太郎、中島勝五郎、黒井直美、黒田保次、阿部茂夫、浅沼稻次郎、宮村亀一、森富太、北島真平、富田富次郎、横井春野。	
66		東京市に於ける無料診療券利用状況の調査	東京市役所	昭和13年3月31日		活版	1冊			
67		昭和十五年二月二十六日普通経済予算委員会ニ於ケル浅沼委員ノ質問並答弁		昭和(15)年	東京市罫紙	鉛筆	1綴		年は内容から推定。「一」の朱書あり。速記録原稿カ。	
68		昭和十五年二月二十八日普通経済予算委員会ニ於ケル浅沼委員ノ質問並答弁(其一)		昭和(15)年	東京市罫紙	鉛筆	1綴		年は内容から推定。「二」の朱書あり。速記録原稿カ。	
69		昭和十五年二月二十八日普通経済予算委員会ニ於ケル浅沼委員ノ質問並答弁(其二)		昭和(15)年	東京市罫紙	鉛筆	1綴		年は内容から推定。「三」の朱書あり。速記録原稿カ。	
70		昭和十五年三月二十六日普通経済予算委員会ニ於ケル浅沼委員ノ質問並答弁		昭和(15)年	東京市罫紙	鉛筆	1通		年は内容から推定。「四」の朱書あり。速記録原稿カ。	
71		[転任挨拶]	小菅芳次	昭和16年1月1日		活版	1枚			
72		大久保留次郎書簡	大久保留次郎	昭和16年6月28日		活版	1通	東京市職員支那事变戦没者慰霊祭案内。	封筒欠。	
73		[支那事变戦没者慰霊祭案内]	川西実三・大久保留次郎	昭和16年9月25日		活版	1枚		川西の肩書きは東京府知事、軍事援護会東京府支部長。大久保の肩書きは東京市長、東京市銃後奉公会連合会長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
74		陸軍省、海軍省、日本新聞会書簡	陸軍省、海軍省、日本新聞会	昭和17年5月8日		活版、ペン	1通	報道戦士慰霊祭開催案内。	葉書。	
75		河原田覚次郎書簡	河原田覚次郎	昭和17年5月(15)日		活版、墨書	1通	明治維新における墓前祭、公園祭案内。	日は消印から採った。河原田の肩書きは東京市深川区長。	
76		大久保留次郎書簡	大久保留次郎	昭和17年5月(19)日		活版、ペン	1通	東京市青年学校御親閲拝受記念大会開催通知。	日は消印から採った。葉書。大久保の肩書きは東京市長。	
77		平田のぶ書簡	平田のぶ	昭和17年6月(19)日		活版	1通		日は消印から採った。葉書。	
78		大久保留次郎書簡	大久保留次郎	昭和17年6月20日		活版	1通	前市会議員招待晩餐会案内。	葉書。	
79		宇田川啓輔書簡	宇田川啓輔	昭和17年6月1日		活版	1通	市会議員辞任挨拶。		
80		[退職挨拶]	大久保留次郎	昭和17年7月23日		活版	1枚		大久保の肩書きは東京市長。	
81		[退職挨拶]	橋本祐幸、豊田豊吉、藤岡兵一	昭和17年8月3日		活版	1通		橋本、豊田、藤岡の肩書きは東京市助役。	
82		[茶話会案内]	岸本綾夫	昭和18年6月23日		活版、墨書	1通		岸本の肩書きは東京市長。	
83		[史蹟指定報告墓前祭案内]	岸本綾夫	昭和18年6月1日		活版	1通		岸本の肩書きは東京市長。	
84		[退任挨拶]	安井誠一郎	昭和18年7月1日		活版	1通			
85		浅沼稻次郎御挨拶	浅沼稻次郎	昭和18年9月1日		活版	1枚		東京都都議会議員選挙立候補の挨拶。	
86		御挨拶	名執安平	昭和18年9月1日		活版	1枚		東京都都議会議員選挙立候補の挨拶。	
87		立候補の御挨拶	中西雄洞	昭和(18)年(9)月		活版	1枚		東京都都議会議員選挙立候補の挨拶。年は85、86参照。	
88		[晩餐会案内]	薄田美朝、大達茂雄	昭和18年10月1日		活版、墨書	1通		薄田の肩書きは警視總監。大達の肩書きは東京都長官。	
89		[第三回合同奉安祭案内]	大達茂雄	昭和18年10月15日		活版、墨書	1通		大達の肩書きは東京都長官、東京都忠霊塔建設事業協会長。	
90		[晩餐会案内]	大達茂雄	昭和18年11月16日		活版、墨書	1通			
91		[昼食会案内]	有馬秀雄	昭和18年11月1日		活版	1通		有馬の肩書きは東京都議会議長。	
92		[晩餐会案内]	薄田美朝、大達茂雄	昭和18年12月30日		活版、墨書	1通		薄田の肩書きは警視總監。大達の肩書きは東京都長官。	
93		大達茂雄書簡	大達茂雄	昭和19年1月14日		活版、墨書	1通		大達の肩書きは東京都長官。	
94		大達茂雄書簡	大達茂雄	昭和19年1月31日		活版、墨書	1通		大達の肩書きは東京都長官。	
95		四宮茂書簡	四宮茂	昭和19年2月29日		活版、墨書	1通		四宮の肩書きは東京都立九段中学校長。	
96		古筠記念会書簡	古筠記念会	昭和19年3月25日		活版、墨書	1通		葉書。古筠は金玉均のこと。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
97		職員名簿	東京都庁	昭和21年12月15日		活版	1冊		昭和21年12月1日現在。	
98		〔書類綴〕		昭和22年～昭和23年		謄写、ペン	1綴	放送委員会ニュース、東京都社会事業関係。		
1.1.5. 町会										
99		町会長諮問事項回答綴		不明		ペン	2枚		表紙。100～127を挟み込む。	〔綴り紐〕
100		村田忠三郎書簡	村田忠三郎	昭和(20)年		ペン	1通		99に綴り込まれる。葉書。村田の肩書きは曙町町会。年は内容から推定。	
101		山崎徳次郎書簡	山崎徳次郎	昭和(20)年11月19日		ペン	1通		99に綴り込まれる。葉書。山崎の肩書きは上北沢町会。浅沼は東京都議会副議長。	
102		木村伝三書簡	木村伝三	昭和(20)年(11)月(19)日		ペン	1通		99に綴り込まれる。葉書。年は内容から推定。月日は消印から採った。	
103		石川勇治郎書簡	石川勇治郎	昭和(20)年(11)月 日		ペン	1通		99に綴り込まれる。葉書。年は内容から推定。月は消印から採った。	
104		渡辺延書簡	渡辺延	昭和(20)年(11)月(19)日		ペン	1通		99に綴り込まれる。葉書。年月日は消印から採った。渡辺の肩書きは千早町二丁目町会会長。	
105		佐藤唯吉書簡	佐藤唯吉	昭和21年11月24日		墨書、カーボン、ペン	1通		99に綴り込まれる。佐藤の肩書きは世田谷区上馬町一丁目東西連合町会。浅沼の肩書きは都会副議長。	
106		宮本豊字書簡	宮本豊字	昭和20年11月23日	大井南浜川町西町会野紙	ペン	1通		99に綴り込まれる。宮本レンズ研究所封筒使用。	
107		石川勇治郎書簡	石川勇治郎	昭和20年11月23日		ペン	1通		99に綴り込まれる。石川の肩書きは中野区新山通二三丁目町会。	
108		柴田鉦書簡	柴田鉦	昭和20年11月20日		墨書、ペン	1通		99に綴り込まれる。柴田の肩書きは中野区市谷砂土本町町会会長。	
109		井上憲書簡	井上憲	昭和20年11月23日		ペン	1通		99に綴り込まれる。井上の肩書きは目黒区柿ノ木坂柿ノ木坂東町町会会長。浅沼の肩書きは東京都議会副議長。	
110		浅野耕造書簡	浅野耕造	昭和20年11月20日		ペン	1通		99に綴り込まれる。浅野の肩書きは渋谷区羽沢町町会会長。浅沼の肩書きは東京都議会副議長。	
111		松平親義書簡	松平親義	昭和20年11月19日		墨書、ペン	1通		99に綴り込まれる。松平の肩書きは貴族院議員(子爵)。浅沼の肩書きは東京都議会副議長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
112		宮地三郎書簡	宮地三郎	昭和(20)年11月18日		ペン	1通		99に綴り込まれる。宮地の肩書きは世田谷区北沢二丁目南町会町会長。年は内容から推定。	
113		萩原徳貞書簡	萩原徳貞	昭和20年11月18日		墨書、カーボン	1通		99に綴り込まれる。萩原の肩書きは大森区市野倉長南町会会長。年は内容から推定。	町会運営に関する意見
114		今野寅吉書簡	今野寅吉	昭和20年11月20日		墨書、ペン	1通		99に綴り込まれる。今野の肩書きは大森区馬込町西四丁目南町会会長。	
115		足立靖書簡	足立靖	昭和20年11月21日		ペン	1通		99に綴り込まれる。足立の肩書きは芝区大門前町会町会長。	諮問事項二対スル回答
116		吉田芳口書簡	吉田芳口	昭和20年11月23日		カーボン、ペン	1通		99に綴り込まれる。吉田の肩書きは三田町会。吉田の名前の最後の一字は印字潰れ。	
117		梅原系治書簡	梅原系治	昭和20年11月23日		ペン	1通		99に綴り込まれる。梅原の肩書きは目黒区下目黒一丁目町会会長。梅原医院封筒使用。	
118		鈴木金一郎書簡	鈴木金一郎	昭和20年11月23日	日本産金振興株式会社	ペン、墨書	1通		99に綴り込まれる。鈴木の肩書きは麴町区富士見町二、三丁目町会町会長。	
119		吉田真浄書簡	吉田真浄	昭和20年11月21日	吉田真浄用箋	ペン、墨書	1通		99に綴り込まれる。吉田の肩書きは上大崎一丁目町会会長。	
120		月島四之部西町会書簡	月島四之部西町会	昭和20年11月22日		ペン	1通		99に綴り込まれる。月島四之部西町会町会長は田畑辰太。浅沼の肩書きは都会副議長。	
121		布施真書簡	布施真	昭和20年11月23日		ペン	1通		99に綴り込まれる。布施の肩書きは榎之町会会長。	
122		鈴木次夫書簡	鈴木次夫	昭和20年11月26日		ペン	1通		99に綴り込まれる。鈴木の肩書きは東京都足立区千住緑町町会長。	
123		大井元芝町会事務所書簡	大井元芝町会事務所	昭和20年11月21日		謄写、ペン	1通		99に挟み込まれる。	
124		井東寅蔵書簡	井東寅蔵	昭和20年11月19日		ペン	1通		99に挟み込まれる。井東の肩書きは笹丸町会。	
125		三田隆真書簡	三田隆真	昭和(20)年11月29日		ペン	1枚		99に挟み込まれる。封筒欠。年は内容から推定。	
126		三田隆真書簡	三田隆真	昭和(20)年12月2日		ペン	9枚		99に挟み込まれる。封筒欠。年は内容から推定。	
127		三田隆真書簡	三田隆真	昭和20年12月2日		ペン	1通		99に挟み込まれる。三田高等家政学院封筒を使用。	
128		小坂一郎書簡	小坂一郎	昭和(19)年4月20日		謄写、ペン、インク	1通	評議員会開催通知。	年は内容から推定。葉書。小坂の肩書きは深川区衛生会長。	
129	1	[封筒]		不明		ペン、赤鉛筆	1枚		129-2~129-4を入れる。「長野行ノキップ二枚」「良文堂書類」の書き込み有。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
129	2	煙草小売人復活申請書	浅沼稻次郎	昭和20年8月13日		ペン、インク、墨書	1通		86-1に同封。浅沼の肩書きは深川区白河町清砂町会長。	
129	3	証明書	浅沼稻次郎	昭和20年7月12日		ペン、インク	1枚		129-1に同封。煙草小売申請の証明書。	
129	4	〔煙草小売店新旧店舗案内図〕		不明		ペン	1枚		129-1に同封。新旧店舗の位置関係を示した図。	
130		〔書類綴〕		昭和21年～昭和22年		謄写、ペン、活版、カーボン	1冊	労働組合法・労働組合法施行令、生活協同組会規約雛型、深川区関係通知。	浅沼の白河町清砂町会長時代の書類カ。	
131		柳瀬信太郎書簡	柳瀬信太郎	不明		謄写	1通	深川深生会会則。		
132		〔封筒〕		不明		ペン、鉛筆	1枚		表にペンで「町会運営」の書込みあり。また、裏に鉛筆でメモ書きあり。133～135を入れる。	
133		〔現行町会廃止後の対策について〕		昭和(戦後)		ペン	2枚		132に入る。	
134		町会関係資料(一)		昭和(22)年		活版	1綴		132に入る。年は内容から推定。	
135		〔町会運営委員会関係書類〕		昭和(22)年		活版	5枚	「町会運営委員会協議事項」、「町会運営委員会名簿」、「東京都世帯人口現況調」(東京都長官官房行政課、昭和22年1月1日現在)、「東京都町会部落会隣組数調」(東京都長官官房行政課、昭和22年1月1日現在)。	132に入る。年は内容から推定。	
1.1.6. 戦前その他										
136	1	〔封筒〕	浅沼稻次郎	昭和(戦前)		活版、ペン	1枚		136-2～136-7を入れる。「深川支部ビラ欠本」の書込あり。	
136	2	〔請求書カ〕	内藤睦喜商店	(昭和)5年4月10日		活版、墨書	1枚		136-1に同封。貸布団代。	
136	3	〔請求書カ〕	内藤睦喜商店	(昭和)5年3月14日		活版、謄写	1枚		136-1に同封。貸布団代。	
136	4	〔請求書カ〕	内藤睦喜商店	(昭和)5年3月14日		活版、謄写	1枚		136-1に同封。元号は封筒から採った。貸布団代。	
136	5	請求書	万弁舎	大正9年3月31日		活版、謄写	1枚		136-1に同封。	
136	6	〔メモ〕		不明		ペン	1枚	「100枚」、「40」など。	136-1に同封。	
136	7	領収証	本所印刷所	昭和5年6月22日		活版、墨書	1枚		136-1に同封。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
137	1	[メモ]		昭和(7)年		ペン	1枚	日野病院関係。	137-2～137-6を同封。年は同封物から推定。封筒に「日のの件 廿六日 前九時 来訪者鈴木氏」の書込みあり。	
137	2	[メモ]		昭和(7)年		ペン	1枚	東京府連関係。	137-11に同封。年は同封物から推定。封筒に書き入れたもの。	
137	3	要求書	全国労農大衆党・東京地方自由労働者組合	昭和7年4月18日		謄写	1枚		137-11に同封。	
137	4	報告並に通達	全国労働組合同盟関東合同労働組合本部	昭和7年5月9日		謄写	2枚		137-11に同封。	
137	5	檄	土木建築直営工事撤廃期成同盟	昭和(7)年		活版	1枚		137-11に同封。年は同封物から推定。	
137	6	[名刺]	大久保美太郎	不明		活版	1枚		137-11に同封。大久保の肩書きは日野病院事務長。	
138		蹶起趣意書	野中四郎	昭和11年2月26日		ペン	4枚		2.26事件関係。写しカ。	
139		[就任挨拶]	渡辺平	昭和15年1月1日		活版	1通		渡辺の肩書きは日比谷図書館長。	
140		[豊原又男氏古稀祝賀会開催通知]		昭和16年4月25日		活版	1枚			
141		[満州映画協会常務理事就任挨拶]	茂木久平	昭和16年9月1日		活版	1枚		茂木の肩書きは満州映画協会東京支社長も兼務。	
142		[挨拶状]	藤沢勇次	昭和16年10月1日		活版	1枚		前欠。藤沢の肩書きは鉄鋼原料統制株式会社取締役支配人。	
143		[劇団結成挨拶]	劇団苦楽座	昭和17年7月8日		活版	2枚		苦楽座同人は徳川無声、高山徳右衛門、丸山定夫、藤原鶏太、八田尚之。	
144		[校舎新築並増改築落成式]	宮崎誠之ほか	昭和17年10月1日		活版	1通		差出人は宮崎誠之(東京市志村第三国民学校長)、辻純造(東京市上板橋国民学校長)、影山園(東京市開進第一国民学校)、石川香澄(東京市開進第二国民学校)、鳥居嶺三郎(東京市赤塚国民学校長)、栗山秀二(東京市上板橋青年学校長)、北原友和(東京市石神井青年学校)、藤原誠(東京市板橋区長)。	
145		[就任挨拶]	高橋一雄	昭和17年12月1日		活版	1枚		高橋の肩書きは日本郵船株式会社取締役。裏面に浅沼メモあり。	
146		[雑誌東亜国政京都支局設置挨拶]	永井健	昭和17年12月8日		活版	1枚		永井の肩書きは東亜国政社京都支局。	
147		[軍事援護学会公開講演会案内]	末広徹太郎	昭和18年9月1日		活版	1通		末広の肩書きは軍事援護学会。	
148		[退任挨拶]	東良三	昭和18年9月1日		活版、ペン	1通			

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
149		[就任挨拶]	東京都商工経済会	昭和18年10月1日		活版	1通			
150		[第七回警視庁葬案内]	薄田美朝	昭和18年10月1日		活版	1通		薄田の肩書きは警視總監。	
151		[第十三回勤皇志士遺墨展・講演会案内]	山口八十八	昭和18年10月1日		活版	1通		山口の肩書きは青山会館理事長。	
152		[枢軸国必勝記念塔除幕式案内]	小笠原長生	昭和19年1月1日		活版	1通		小笠原の肩書きは日独伊親善協会会長。	
153		[故橋本祐幸葬儀終了通知]	三木武吉	昭和19年1月31日		活版	1通			
154		[就任挨拶]	篠田信男	昭和19年4月1日		活版	1通		篠田の肩書きは警視庁消防司令消防部総務課長。	
155		[東京都水産業会会長就任挨拶]		不明		活版	1枚			
1.2. 戦後										
1.2.1. 社会党										
【組織部長・組織局長時代】（昭和20年～昭和21年）										
156	1	日本社会党常任会議録		昭和20年10月～昭和21年2月		ペン、謄写、活版	1綴	常任会議録、支部・労働組合結成関係書類、書簡(田中喜代治、松本淳三、横山清一、所要、加藤登、小松原正一、根岸吉則)。	156-2を挟む。	
156	2	辞任届	松本積善	昭和20年12月17日		ペン	3枚		156-1に挟まれる。	
157		組織部通信控	浅沼稻次郎	昭和20年11月1日	浅沼稻次郎 罫紙	鉛筆、ペン	1通		浅沼の肩書きは組織部長。	
158	1	日本社会党本部関係書類		昭和(20)年		謄写、ペン、鉛筆	1綴	「本部派遣弁士ニ関スル件」、「総選挙対策に関する件」、「失業対策要綱」、東京都支部連合会組織準備委員関係書類、支部組織化関係書類。	158-2～158-3を挟む。年は内容から推定。表紙に「党本部関係」の書込みあり。	
158	2	海老原勝民書簡	海老原勝民	昭和20年12月30日		ペン	1通		158-1に挟み込まれる。	
158	3	日本社会党青年部運動方針		昭和(20)年		謄写	1枚		158-1に挟み込まれる。	
159		[陳情請願ニ関スル綴]		昭和21年6月～昭和22年7月		活版、墨書、謄写、鉛筆、ペン	1綴			
160		[書類綴]		昭和21年8月～昭和22年2月		謄写、ペン、鉛筆	1綴	「大会開催に関して」、第二回大会関係、日本社会党東京都支部連合会関係、憲法普及会東京支部関係、運動方針、「第二回中央委員会召集状」など。		

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
161		社会党電報	社会党	昭和(21)年(11)月(18)日		活版、ペン、鉛筆	1枚		年月日は消印から採った。	
【書記長代理・書記長時代】(昭和22年～昭和25年)										
162	1	[封筒]		昭和(戦後)		ペン	1枚		162-1～162-7を入れる。年代は内容物から推定。衆議院封筒に「西尾書記長殿」「党本部書記局 紛争」のペンでの書き込みあり。	
162	2	青年諸君にうつたう	日本社会党青年部常任 全国委員会	昭和22年1月25日		活版、鉛筆	1枚		162-1に入る。	
162	3	青組通 第七号 第八号	赤松勇	昭和22年1月26日 ～昭和22年1月27日		活版、ペン、鉛筆	1枚		162-1に入る。	
162	4	[要望書]		昭和(22)年		ペン	6枚		162-1に入る。年は内容から推定。暴力行為を扇動した矢野、加藤両名の処分を求める内容。	
162	5	陳述書	秋山寛一	昭和(22)年		ペン、鉛筆	9枚		162-1に入る。年は内容から推定。秋山の巻き込まれた暴行事件についてのもの。	
162	6	[報告書]	石井	昭和(22)年		ペン	6枚		162-1に入る。年は内容から推定。石井の肩書きは書記。用紙には「都道府県議員選挙斗争の成果調査方依頼の件」を使用。	
162	7	[報告書]	藤田暁	昭和(22)年		墨書	1綴		162-1に入る。	
163		[付帯決議草案]		昭和(22)年(1,2)月		鉛筆	1枚		164より前段階の草案。	
164		[付帯決議草案]		昭和(22)年(1,2)月		鉛筆	1枚		決議主体は「第二回中央委員会」。	
165	1	[表紙]		不明		活版	1枚		165-2～165-103を綴り込む。	[くくり紐]
165	2	日本社会党綱領及一般政策		昭和(戦後)		活版	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	3	日本社会党々則		昭和(戦後)		活版	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	4	[衆議院席次表]		昭和(22)年		活版、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。「帝国議会衆議院席次表」にペンで書込をしたもの。第一回国会時のものカ。	
165	5	[衆議院控室割当案]		昭和(22)年	衆議院罫紙	鉛筆、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。「第一案」。第一回国会時のものカ。	
165	6	[衆議院控室割当案]		昭和(22)年		謄写、鉛筆、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。「第一案」。平面図。第一回国会時のものカ。	
165	7	[政策協定案]		昭和(22)年(5)月		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年月は内容から推定。昭和22年5月12日の四党幹事長会談で社会党から提示したものについて後の修正を書き込んだものカ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
165	8	〔四党幹事長会談議事録〕		昭和(22)年(5)月		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。昭和22年5月12日の四党幹事長会談の議事録に鉛筆で書込がなされたもの。	
165	9	〔メモ〕		昭和(22)年		ペン、鉛筆	1枚	控室、常任委員、各派交渉会に関するもの。	165-1に綴り込まれる。	
165	10	各派交渉会協議事項		昭和22年5月16日		謄写、鉛筆	1綴		165-1に綴り込まれる。	
165	11	〔メモ〕		昭和(22)年		鉛筆	2枚	年長者、開期控室、司法省関係、政府提案、常任委員会など。	165-1に綴り込まれる。	
165	12	〔議員総会開催通知〕	水谷長三郎、森戸辰男	昭和23年5月12日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。水谷の肩書きは日本社会党議会議長、森戸の肩書きは日本社会党政務調査会長。	
165	13	〔常任委員割当表〕		昭和(22)年		謄写、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	14	〔メモ〕		昭和(22)年		鉛筆、ペン、墨書	2枚	代議士会、交渉係、議場内交渉係、議事進行係関係。	165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	15	常任委員長割当表		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	16	〔常任委員割当表〕		昭和(22)年		謄写、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	17	日本社会党所属参議員議員氏名	日本社会党	昭和(22)年		謄写、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。165-21と同一物。	
165	18	〔常任委員割当表案〕		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	19	〔常任委員割当表〕		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	20	議事日程 第三号	衆議院	昭和22年5月22日		活版、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	21	日本社会党所属参議員議員氏名	日本社会党	昭和(22)年		謄写、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。509と同一物。	
165	22	日本社会党所属衆議院議員氏名		昭和(22)年		謄写	1綴		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	23	交渉会の経過並結果		昭和(22)年	衆議院罫紙	ペン	1綴		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	24	〔協議事項メモ〕		昭和(22)年		鉛筆	1綴		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	25	〔メモ〕(第一回国会常任委員会委員長割当関係)		昭和(22)年	内閣罫紙	ペン、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。内閣罫紙の裏面に書込み。	
165	26	〔メモ〕		昭和(22)年	浅沼用箋	ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。常任委員割当関係カ。	
165	27	衆議院委員室配置(三階)略図		昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	28	〔予算委員室内配置図〕		昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
165	29	懇請状	引揚者団体全国連合会、 海外残留同胞帰還促進 連盟、南方残留同胞帰還 促進家族同盟、全国復員 引揚促進家族同盟	昭和22年5月30日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。165-34と同一物。	
165	30	ソ連地区収容部隊の概況及郵便番号所在地	抑留将兵同胞帰還促進 連盟調査部	昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	31	抑留者家族実態調査統計表	海外残留同胞帰還促進 連盟、旧抑留将兵同胞帰 還促進連盟	昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	32	[抑留者引揚に関する参考資料綴]	(抑留将兵同胞帰還促進 連盟関東支部)	昭和(22)年		謄写	7枚	「アムール州 シマノフカヤ第二収容所に於ける給与「食糧」と作業に関する参考」(宮本遊亀雄、昭和22年4月23日、5枚)、「引揚地ナホトカの状況 参考」(宮本遊亀雄、昭和22年4月23日、2枚)。	165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	33	第一回国会提出予定法律案件名		昭和22年6月4日		謄写	1冊		165-1に綴り込まれる。「秘」。	
165	34	懇請状	引揚者団体全国連合会、 海外残留同胞帰還促進 連盟、南方残留同胞帰還 促進家族同盟、全国復員 引揚促進家族同盟	昭和22年5月30日		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。165-29と同一物。	
165	35	促進運動要領案		昭和(22)年		謄写、ペン、 鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。裏面に書込みあり。	
165	36	申入れ	日本農民組合常任中央 委員	昭和22年6月2日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。片山の肩書きは内閣総理大臣。	
165	37	政務官制度廃止の件	猪俣浩、石野久男ほか	昭和22年6月3日		ペン、鉛筆	1綴		165-1に綴り込まれる。	
165	38	東京都議会常任委員名簿		昭和21年5月23日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	39	石炭増産協力会総会並に推進委員会の開催について	石炭増産協力会会長	昭和22年5月30日		ペン、活版	1枚		165-1に綴り込まれる。片山の肩書きは日本社会党中央執行委員長。	
165	40	新内閣に対する声明	経済復興会議中央常任 委員会	昭和(22)年		活版、ペン	1綴		165-1に綴り込まれる。	
165	41	第二国会全国会議召集状	日本社会党青年部常任 全国委員会	昭和22年5月30日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	42	日本社会党青年部第二回全国会議招待状	日本社会党青年部常任 全国委員会	昭和22年6月5日		謄写、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	43	生活協同組合法案	日本協同組合同盟	昭和(22)年		謄写、鉛筆	1冊		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	44	委員会運営新旧対照一覧		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1綴		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
165	45	[衆議院規則草案(委員会)]		昭和(21.22)年		謄写、ペン、鉛筆	1冊		165-1に綴り込まれる。	
165	46	緊急経済対策発表並懇談会順序		昭和(22)年(6)月		活版、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	47	経済緊急対策		昭和(22)年(6)月		謄写	1冊		165-1に綴り込まれる。年月は内容から推定。	
165	48	[日本社会党新宿支部第二回大会次第・議案]	日本社会党新宿支部	昭和22年6月8日		謄写	1綴		165-1に綴り込まれる。	
165	49	党報 第四号	日本社会党本部	昭和25年5月15日		活版	1部		165-1に綴り込まれる。	
165	50	片山内閣の成立に伴ひ今後地方よりの陳情、請願	井上良一	昭和22年6月10日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	51	設立の趣意	日本社会党党友クラブ	昭和(戦後)		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	52	政務調査会規約(案)		昭和(戦後)		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	53	日本社会党政務調査会機構		昭和(戦後)		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	54	星野芳樹書簡	星野芳樹	昭和(戦後) 6月12日		ペン	1枚	在外同胞帰還促進大会開催に付き、貴党よりの御講演願いたし。	165-1に綴り込まれる。封筒欠。	
165	55	賠償撤去緩和運動方針	産業復興会議賠償対策専門委員会	昭和(22)年		活版	1冊		165-1に綴り込まれる。	
165	56	国民生活安定の為に新政府に対する要望	竹田春信ほか	昭和22年6月10日		墨書、謄写、鉛筆	1部		165-1に綴り込まれる。竹田の肩書きは産業復興運動促進勤労者大会議長。	
165	57	廃物残菜及未利用資源による乳肉増産国民運動実施挨拶	日本乳業(畜産)文化連盟、日本酪農協同組合連盟、愛知県乳業対策協議会、乳業日本新聞社	昭和22年6月6日		謄写、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。浅沼の肩書きは書記長。	
165	58	[日本社会党本部関係規定綴]	日本社会党本部	昭和(戦後)		謄写、ペン、鉛筆	1綴	「日本社会党本部職制」、「日本社会党本部事務規定」、「日本社会党本部書記局会議規定」、「日本社会党本部職員服務規定(案)」、「日本社会党本部職員給与規定」、「日本社会党職員共済規定」。	165-1に綴り込まれる。	
165	59	投票者氏名表		昭和22年5月15日		活版、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	60	[メモ]		昭和(戦後)		鉛筆	10枚	国会関係。	165-1に綴り込まれる。	
165	61	[メモ]		昭和(戦後)		鉛筆	2枚	「規約 社会党」、「連立内閣成立」、大臣、政務官候補者氏名書上げカ、など。	165-1に綴り込まれる。	
165	62	[メモ]		昭和(22カ)年	浅沼用箋	ペン、鉛筆	20枚	委員会、社会党役員人事、発言原稿。	165-1に綴り込まれる。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
165	63	開会式式辞(案)		昭和(22)年		活版	1枚		165-1に綴り込まれる。第1回国会開会式のもの。	
165	64	議院運営委員会への要望	司法委員会打合会	昭和(戦後)	大日本帝国政府郵便紙	墨書、活版	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	65	[和文、英文タイプ購入通知]	藤田暁	昭和(戦後)		タイプ、ペン	1綴		165-1に綴り込まれる。藤田の肩書きは庶務部長。	
165	66	[メモ]		昭和(戦後)()月21日	衆議院速記課郵便紙	ペン	1枚	社会党人事関係カ。	165-1に綴り込まれる。	
165	67	常任委員長打合会案件		昭和(22)年(6)月		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年月は内容から推定。	
165	68	常任委員会打合会案件		昭和22年6月20日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	69	常任委員長打合会諒承事項		昭和(22)年(6)月		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。年月は内容から推定。	
165	70	各常任委員会開会予定日		昭和(22)年(6)月		活版、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年月は内容から推定。	
165	71	常任委員会の所管事項		昭和(22)年(6)月		活版	1冊		165-1に綴り込まれる。年月は内容から推定。	
165	72	鈴木書簡	鈴木	昭和(戦後)	大日本帝国政府郵便紙	ペン	1枚	委員会運営関係。	165-1に綴り込まれる。鈴木の肩書きは委員部長。	
165	73	第一回国会再開当初に提案すべきものとして各省より内閣に報告した件名		昭和22年6月16日		謄写、ペン	2枚		165-1に綴り込まれる。	
165	74	国会開会式の式次第		昭和(22)年		活版、鉛筆	1綴		165-1に綴り込まれる。第一回国会のものカ。	
165	75	[国会開会式人員配置図]		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。第一回国会のものカ。	
165	76	第一回国会開会式参観席		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	77	[社会党・内閣・議会人事案]		昭和(22)年	浅沼用箋	ペン、鉛筆	3枚		165-1に綴り込まれる。	
165	78	[メモ]		昭和(戦後)	大日本帝国政府郵便紙	ペン	4枚	委員会運営関係。	165-1に綴り込まれる。	
165	79	国会議員の歳費、旅費及び手当等支給規程		昭和(22)年		謄写	1綴		165-1に綴り込まれる。	
165	80	[メモ]		昭和(戦後)		鉛筆	1枚	議院運営関係。	165-1に綴り込まれる。	
165	81	鈴木茂三郎書簡	鈴木茂三郎	昭和(22)年(6)月	国府津館便箋。	ペン	1通		165-1に綴り込まれる。年は消印から採った。	
165	82	[メモ]		昭和(22)年	大日本帝国政府郵便紙	活版、ペン	2枚	委員会運営関係。	165-1に綴り込まれる。	
165	83	松岡駒吉書簡	松岡駒吉	昭和22年6月20日		墨書、活版	1枚		165-1に綴り込まれる。松岡の肩書きは衆議院議長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
165	84	陳情	神戸正雄、富森吉次郎、近藤博夫、田村敬太郎、石河京市、小沢二郎、小寺謙吉、中野文門、塚本三、松久好次	昭和22年6月19日		謄写	1枚	「五大都市を特別市として指定する法律」案提出並びに議決を求める陳情。	165-1に綴り込まれる。肩書きはそれぞれ、神戸(京都市長)、富森(京都市会議長)、近藤(大阪市長)、田村(大阪市会議長)、石河(横浜市長)、小沢(横浜市会議長)、小寺(神戸市長)、中野(神戸市会議長)、塚本(名古屋市長)、松久(名古屋市長)。	
165	85	第四回懇話会開催御通知	船橋懇話会世話人	昭和22年6月13日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	86	日本社会党青年部綱領及規約		昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	87	民主政治教育連盟要綱(案)		昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	88	笹森順造・森戸辰男書簡	笹森順造・森戸辰男	昭和22年6月25日		墨書、謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。肩書きはそれぞれ、笹森(国務大臣)、森戸(文部大臣)、浅沼(議院運営委員長)。	
165	89	会報 第一号	日本私学団体総連合会	昭和22年4月1日		活版	1冊		165-1に綴り込まれる。	
165	90	通貨安定対策本部開催通知	葉梨新五郎	昭和22年7月4日		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。葉梨の肩書きは通貨安定対策本部本部長。	
165	91	教育金庫設立要綱		昭和(22)年		謄写、ペン	1綴		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	92	教育金庫設立趣意書	日本私学団体総連合会	昭和22年6月1日		活版	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	93	教育金庫法案		昭和(22)年		謄写	7枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	94	請求ノ理由及証拠	(木下郁)	昭和(22)年		謄写	1冊		165-1に綴り込まれる。165-94~165-95はくくり紐で一括。作成者は165-94参照。	〔くくり紐〕
165	95	証拠書類(写)	(木下郁)	昭和(22)年		謄写	1冊		165-1に綴り込まれる。165-94~165-95はくくり紐で一括。	
165	96	北海道開発行政機構に関する決議	坂東秀太郎	昭和22年6月5日		活版、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。坂東の肩書きは北海道議会議長。	
165	97	〔新聞切抜〕		昭和(22)年(6)月		活版	1枚	「新日本建設国民運動要領案」についての報道。	165-1に綴り込まれる。掲載紙不明。	
165	98	〔お願い(案)〕		昭和(22)年	農商務省罫紙	鉛筆、ペン	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	99	食糧放出に関し連合国最高司令官に対する感謝決議		昭和(22)年		謄写、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。「民主党」と鉛筆での書込あり。	
165	100	捕鯨許可に関し連合国最高司令官に対する感謝決議		昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	
165	101	〔議事録草案〕		昭和(22)年	衆議院速記課罫紙	鉛筆	3枚		165-1に綴り込まれる。年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
165	102	国会議員の特別手当に関する法律		昭和(22)年		活版、鉛筆	1枚		165-1に綴り込まれる。	
165	103	傍聴規則		昭和(22)年		謄写	1枚		165-1に綴り込まれる。年は同じつづりこみ資料からの推定。	
166		〔日本社会党青年部関係書類綴〕		昭和(22)年		活版、謄写	1綴	全国会議報告並議案、青年部運動方針書、青年部綱領及規約、青年部規約草案、婦人部規約草案、政策要綱。	年は内容から推定。	
167		経済実相報告書	経済安定本部	昭和22年7月3日		謄写	1綴			
168		〔書類綴〕		昭和22年7月ごろ		活版、ペン、謄写、墨書	1綴	請願、陳情、要望。早稲田大学関係通知。石炭復興関係、食糧事情改善要綱。		
169	1	陳情請願二関スル綴	浅沼稻次郎	昭和22年9月～昭和22年11月		謄写、墨書、活版、写真	1綴		169-2を挟む。写真貼り付け箇所之間紙。	
169	2	電力開発事業についての申入れ	進藤武左衛門	昭和(22)年		活版	1綴		169-1の最末尾に挟み込まれる。年は169-1の内容から推定。	
170		党務報告		昭和22年9月～12月		鉛筆、ペン、活版、謄写	1綴	平野農相更迭関係、討論会・演説会関係、石炭国家管理関係、全国酪農組合関係、水害救援委員会、日本農民組合関係。日本社会党支部関係書類。日本社会党昭和23年度運動要綱。		
171		〔礼状用紙〕	浅沼稻次郎	昭和22年9月1日		謄写	1枚			
172		〔社会党政策関係書類綴〕		昭和22年～昭和23年		謄写、ペン、活版、鉛筆	1綴	食糧対策、財政金融政策、失業保険、教育制度関係。		
173		〔書類綴〕		昭和22年		謄写、ペン	1綴	石炭国管関係。		
174		〔書類綴〕				謄写、鉛筆、ペン、活版	1綴	日本社会党政務調査会関係資料、日本社会党千代田支部青年部関連資料、日本農民組合関係資料、日本社会党所属参議院議員名簿住所録など。		
175		鈴木茂三郎委員の「運動方針書」案について	吉川末次郎委員	昭和(22)年		謄写	1綴		年は内容から推定。	
176		〔党務資料綴〕		昭和23年		活版、鉛筆、ペン、謄写、	1綴	「週間経済」(『読売新聞』昭和22年12月8日～昭和23年3月8日)、三党政策協定関係書類、国民経済会議関係書類、農業所得税資料など。		

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
177		[党務資料綴](昭和23年1月～5月)		昭和23年1月～5月		活版、謄写、 ペン	1綴	「第三回最高会議提出報告書」(日本社会党本部、1948年)、「日本社会党昭和二十三年度運動方針書(試案)」(日本社会党本部、昭和23年1月)、「日本社会党昭和二十三年度運動要項」(昭和23年1月)、「日本社会党役員名簿」(昭和23年2月1日)、「本部役員選任の件」(昭和23年2月1日)。		
178		[党務資料綴](昭和23年1月～10月)		昭和23年1月～10月		活版、謄写、 ペン	1綴	「三七〇〇円賃金ベースに対する我党の態度」(組合委員会労働部)、国家公務員法改正関係書類、「インフレーションの根本的処理方策草案」(社会党政調会、9月10日)、「第三次農地改革要綱」、「陶磁器工業振興対策陳情書」(昭和23年4月23日)など。		
179		[党務資料綴](昭和23年5月～7月)		昭和23年4月～7月		活版、謄写、 ペン	1綴	「昭和二十三年度各種補欠選挙報告書」(選挙委員会)、「農業復興全国大会事項」(農業復興会議、4月16日)、「社会党総同盟連絡機関設置に関する小委員会の決定事項の報告」、通達案類、「全世界の青年へ」(愛知県連合会青年部、1948年7月17・18日)など。		
180		[党務資料綴](昭和23年7月～10月)		昭和23年7月～10月		鉛筆、謄写、 活版など	1綴	「三七〇〇円賃金ベースに対する我党の態度」、「自昭和22年11月至同23年5月決算書」(日本社会党本部会計)、全国遊説日程表、選挙関係資料、「暫定地方公務員法案」(昭和23年9月24日)など。		
181		[党務資料綴](昭和23年9月～10月)		昭和23年9月～10月		活版、	1綴	「二十三日(木)政策会議出席者予定」、1948年度第2回中央執行委員会関係書類、日本社会出版社設立関係書類、1948年社会党報告書、日本社会党群馬県連合会第三回大会関係書類など。		

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
182		[書類綴]		昭和(23)年		鉛筆、墨書、 ペン、謄写、 タイプ、活版	1綴	「共産党の斗争方針」(2.10、中央常任委員)、「外資導入の問題」(1948年3月23日、全官公庁労働組合連絡協議会)「臨時給与委員会報告書」、「税務官吏の素質向上策に就いて」(昭和23年1月23日、税務講習所熊本支所職員一同)、昭和23年度補正予算内訳表、新聞切抜、「過度経済力集中排除法適用による電気事業再建計画」(1948.3.9日本電気産業労働組合)「浅沼メモ」(生活補給金0.8月分追加予算内訳)(謄写、1枚)「議案提出書」(昭和23年1月、赤松勇ほか3名)。		
183		第三回最高会議提出報告	日本社会党本部	昭和23年1月16日		活版、謄写	1冊		表紙にペンで「浅沼」の書込みあり。	
184		日本社会党昭和二十三年度運動要綱		昭和23年1月1日		謄写	1部			
185	1	昭和二十三年度 日本社会党一般政策		昭和(23)年(1)月		謄写	1冊		185-2を挟む。表紙にペンで「浅沼」の書込みあり。	
185	2	[メモ]		不明		ペン	1枚		185-1の表紙の裏に挟み込まれる。	
186		政策協定要綱案		昭和(23)年(2)月	衆議院罫紙	鉛筆、ペン	1枚			
187		日本社会党東京連合会第三回大会提出報告書	日本社会党東京都連合会	昭和23年3月23日		謄写	1冊			
188		日本社会党一九四八年運動方針要綱		昭和23年3月1日		謄写	1部		表紙にペンで「浅沼」の書込みあり。	
189		国会法改正に就て意見問合せの件	浅沼稻次郎	昭和23年4月20日		謄写	1枚		浅沼の肩書きは書記長。	
190		[近畿地方協議会終了通知]	片山哲、浅沼稻次郎、加藤鏝造、吉川兼光、山崎道子	昭和23年4月15日		謄写	1枚			
191		[中国四国地方ブロック会議欠席についてのお詫び]	浅沼稻次郎	昭和23年4月15日		謄写	1枚	書記長、組織部長欠席のため中国四国地方ブロック会議の進行に支障を来たしたことへの詫び。	浅沼稻次郎の肩書きは本部書記長。	
192		遊説計画中止に関する件	浅沼稻次郎、吉川兼光	昭和23年4月15日		謄写	1枚		浅沼の肩書きは本部書記長。吉川の肩書きは本部宣伝部長。	
193		請求書	岡田春夫	昭和23年6月20日		ペン	1枚	ブロック会議開催費用2万500円請求。	岡田の肩書きは日本社会党青年部長。浅沼の肩書きは日本社会党書記長。	
194		昭和廿三年度予算案と我党の修正経過	日本社会党政務調査会	昭和23年8月15日		活版	1冊		日本社会党出版部発行。	
195		関東地方協議会開催通知	浅沼稻次郎、加藤鏝造	昭和23年11月4日		謄写	1枚		浅沼の肩書きは本部書記長。加藤の肩書きは本部組織部長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
196		党費並に二千万円カンパ納入の件	浅沼稻次郎、中崎敏	昭和23年11月4日		謄写	1枚		浅沼の肩書きは本部書記長。中崎の肩書きは本部会計。	
197		全国知事会議に於ける要請決議提出の件	安井誠一郎	昭和23年11月30日		謄写、墨書	1綴		安井の肩書きは全国地方自治協議会連合会会長。	
198		官公吏新給与算出基礎資料	日本社会党政調会	昭和(23)年		謄写、ペン	1枚			
199		出版会社設立資金の集合に関する御願	浅沼稻次郎、細田綱吉	昭和(戦後)		謄写、墨書	1枚	日本社会出版(仮称)設立の件。	差出人の浅沼、細田の肩書きは日本社会党本部日本社会出版社設立準備会。宛先の浅沼の肩書きは書記長。	
200		本部会館移転に関する件	浅沼稻次郎、中崎敏	昭和(戦後)		謄写	1枚		浅沼の肩書きは書記長。中崎の肩書きは会計。	
201		履歴書	斎藤剛	昭和23年11月1日		タイプ	2枚			
202		株式申込証		昭和23年		活版	2枚			
203		昭和二十三年度収支計算報告		昭和(23)年		謄写、ペン	1枚		期間は昭和22年11月から昭和23年10月。	
204		[会議次第・議案]		昭和(23,24)年		謄写、ペン	1綴		年は内容から推定。	
205		回答書	日本社会党中央執行委員会	昭和24年1月30日		謄写	1枚			
206		決議	日本社会党産業団体懇談会	昭和24年3月12日		謄写、活版	1枚		裏面は昭和24年3月2日付『社会週報』第56号第4面。参加団体は農業復興会議、日本農民組合、全国農民組合、全国農村青年連盟、全国指導農業協同組合連合会、日本社会党。	
207		中央執行委員会(三月二十三日)順序		昭和(24)年(3)月(23)日		謄写、活版、ペン	1枚		裏面は昭和24年3月2日付『社会週報』第56号第3面。	
208		中央執行委員会報告事項	婦人部	昭和(24)年3月23日		謄写、活版	1枚		裏面は昭和24年3月2日付『社会週報』第56号第3面。	
209	1	[書類返還通知]	長谷川成二	昭和25年1月10日		ペン、活版	1枚			
209	2	結社変更届	日本社会党	昭和23年1月10日		活版	3枚		209-1の添付資料。	
210		[弘前相互銀行訴訟関係書類]		昭和27年6月 ~昭和35年5月		謄写、鉛筆、ペン、青焼	1綴	住宅金融公庫からの融資をめぐる弘前相互銀行を相手取った訴訟関連の書類。		
211		陳情書(写)	松ヶ丘住宅土地対策委員会	昭和27年11月10日		活版、ペン	1冊		ペンによる書き込みあり。	
【委員長時代】 (昭和35年)										
212		浅沼委員長大阪談話		昭和35年10月7日		活版	同一物10部		3枚で1部。10部中1部は2,3枚目が落丁。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
【党組織関係・党大会関係】										
213		支部名簿	東京都支部連準備会	昭和(20)年		ペン、鉛筆	1枚		年は旧蔵者メモによる。	
214	1	[表紙]		不明			1綴		214-2～214-32を綴り込む。	[くくり紐]
214	2	日本社会党役員名簿		昭和(戦後)		謄写	4枚		214-1に綴り込まれる。	
214	3	日本社会党役員名簿		昭和(戦後)		ペン	11枚		214-1に綴り込まれる。原稿カ。	
214	4	[人名一覧]		昭和(戦後)	大日本産業 報国会中央 本部原稿用 紙	ペン	14枚		214-1に綴り込まれる。府県別。	
214	5	東京都連支部名簿		昭和21年1月1日	大日本産業 報国会中央 本部原稿用 紙	ペン	4枚		214-1に綴り込まれる。昭和21年1月現在。	
214	6	参議院議員候補者資格審査調査表提出者一覧		昭和(戦後)		謄写、ペン	4枚		214-1に綴り込まれる。	
214	7	都道府長官・知事・五大市長候補者資格審査調査表提出者		昭和(戦後)		謄写、ペン	3枚		214-1に綴り込まれる。214-7から214-8はクリップ一括。	
214	8	参議院議員候補者資格審査調査表提出者一覧		昭和(戦後)		謄写、ペン	4枚		214-1に綴り込まれる。214-7から214-8はクリップ一括。	
214	9	衆議院議員選挙候補者一覧		昭和(戦後)		謄写、ペン	11枚		214-1に綴り込まれる。	
214	10	衆議院議員公認候補者住所録		昭和(戦後)		謄写、ペン	6枚		214-1に綴り込まれる。	
214	11	衆議院議員公認候補者住所録・地区選出参議院議員候補者一覧・全国選出参議院議員候補者住所一覧		昭和(戦後)		謄写、ペン、鉛筆	11枚		214-1に綴り込まれる。	
214	12	知事及五大市長各候補者得票一覧表		昭和(戦後)		謄写、鉛筆	2枚 (同一物2部)		214-1に綴り込まれる。214-14、214-16と同一物。鉛筆による書き込みあり。「別表一」。	
214	13	参議院議員当選者氏名		昭和(戦後)		謄写、鉛筆	2枚		214-1に綴り込まれる。第一回参議院議員選挙(昭和22年4月20日)のもの。	
214	14	知事及五大市長各候補者得票一覧表		昭和(戦後)		謄写	2枚		214-1に綴り込まれる。「別表一」。214-12、214-16と同一物。	
214	15	衆議院議員当選者氏名		昭和(戦後)		謄写	4枚		214-1に綴り込まれる。「別表三」。第23回総選挙(昭和22年4月25日)カ。	
214	16	知事及五大市長各候補者得票一覧表		昭和(戦後)		謄写	1枚		214-1に綴り込まれる。「別表一」。214-12、214-14と同一物。	
214	17	社会党日農議員団名簿		昭和22年5月23日		活版	1綴		214-1に綴り込まれる。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
214	18	[メモ]		昭和(戦後)		ペン、鉛筆	2枚	社会党人事関係。	214-1に綴り込まれる。	
214	19	[メモ]		昭和(戦後)		墨書、ペン	1枚	社会党人事関係。	214-1に綴り込まれる。	
214	20	役員名簿	日本社会党東京都支部 連合会	昭和22年2月10日		謄写	3枚		214-1に綴り込まれる。	
214	21	日本社会党役員名簿		昭和22年2月10日		謄写	1冊		214-1に綴り込まれる。昭和22年2月10日現在。214-23と同一物。	
214	22	社会党機関紙「社会新聞」の不正問題の件	社会党青年有志	昭和(戦後)		謄写	1枚		214-1に綴り込まれる。	
214	23	日本社会党役員名簿		昭和22年2月10日		謄写	1冊		214-1に綴り込まれる。昭和22年2月10日現在。214-21と同一物。	
214	24	[原稿]		昭和(戦後)		ペン	10枚	社会党人事関係。	214-1に綴り込まれる。	
214	25	日本社会党婦人部規約		昭和(戦後)		謄写	1枚		214-1に綴り込まれる。	
214	26	日本社会党東京都連合会所属議員名簿		昭和(戦後)		活版、謄写	1冊		214-1に綴り込まれる。	
214	27	食糧対策議員連盟		昭和(戦後)		活版、ペン	1枚		214-1に綴り込まれる。	
214	28	衆議院食糧対策議員連盟(内規)		昭和(戦後)		タイプ	2枚		214-1に綴り込まれる。	
214	29	[職員リスト]		昭和(戦後)		タイプ	2枚	氏名、給与額、年齢、所属、採用勤続年月家族数。	214-1に綴り込まれる。	
214	30	[書記局会議開催通知]	藤田 暁	昭和22年8月22日		タイプ	1枚		214-1に綴り込まれる。藤田の肩書きは庶務部長。浅沼の肩書きは書記長代理。	
214	31	[職員異動に関する件報告]	藤田 暁	昭和22年8月22日		タイプ	1枚		214-1に綴り込まれる。藤田の肩書きは庶務部長。浅沼の肩書きは書記長代理。	
214	32	[政調部俸給引上及新規部員採用に関する要求の件稟議]	藤田 暁	昭和22年8月14日		タイプ、ペン	3枚		214-1に綴り込まれる。藤田の肩書きは庶務部長。浅沼の肩書きは書記長代理。	
215		日本社会党役員	浅沼稻次郎	昭和22年～昭和24年		鉛筆、ペン、謄写	1冊			
216		日本社会党所属参議院議員氏名		昭和(22)年		謄写	2枚		年は内容から推定。	
217		役員名簿		昭和22,23年カ		ペン、活版	1綴		年代は内容から推定。	
218		日本社会党東京都連関係書類		昭和22年		謄写	1綴	都議会報告書、日本社会党東京都議会議員団、四月選挙総結果報告、区会議員総合結果報告、特別会計(選挙中)収支決算書、片山内閣食糧危機突破対策協力斗争に関する指令、日本社会党新宿支部第二回大会(日本社会党新宿支部)、党運動方針。	表紙に「浅沼専用」とある。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
219		社会党の手引	日本社会党教育部	昭和22年8月15日		活版	1冊		大地出版社発行。副題「日本社会党教育テキスト」。	
220		要望書	日本社会党青年部全国委[]	昭和23年2月17日		墨書	1枚	片山内閣総辞職後の後継内閣連立工作への社会党の不参加を要望したもの。	作成者後欠。帝国議会、参議院席表をつなぎ合わせたものの裏面に墨書したもの。大型資料。	
221		東京都議会報告書	日本社会党東京都議会議員団	昭和23年3月1日		謄写	1冊			
222		選挙運動の手びき	日本社会党本部選挙委員会・出版部	昭和23年10月1日		活版	1冊			
223		第二回中央委員会提出政策議案	日本社会党本部	昭和23年		活版	1部			
224		第二回中央委員会報告書	日本社会党本部	昭和23年		活版	1部		切り取りあり。	
225		日本社会党綱領・宣言・政策・党則	日本社会党出版部	昭和24年1月10日		活版	1冊			
226		全国主要労働組合組織一覧図表・労農政党组织一覧図表	産業労働研究所	昭和25年4月23日		活版	1枚		1950年版。	
227		日本社会党青年部書簡	日本社会党青年部	昭和(24)年(12)月		謄写	1通	「会報」(昭和24年12月12日)、「会報」(昭和24年12月19日)。	年月は内容物より推定。	
228	1	[名簿]		昭和28年～昭和30年		ペン、活版	1綴	社会党関係、友人関係。	228-2～228-23を綴り込む。表紙のみ。	[<<くり紐]
228	2	[人名一覧]		昭和(戦後)	日本社会党本部原稿用紙	ペン	3枚		228-1に綴り込まれる。「花沢雅夫」、「富樫弁蔵」、「林利博」などの名あり。	
228	3	[衆議院委員会社会党委員名簿]		昭和(戦後)		謄写	2枚		228-1に綴り込まれる。	
228	4	労組出身地方議員名簿	日本社会党本部労働部	昭和30年7月1日		活版	1札		228-1に綴り込まれる。	
228	5	地方議員名簿正誤及追加		昭和(戦後)		活版	1枚		228-1に綴り込まれる。	
228	6	[薪炭手当制度法制化依頼状]	村木市太郎ほか22名	昭和30年8月3日		活版、墨書	1枚		228-1に綴り込まれる。	
228	7	全国オルグ講習会参加者名簿	日本社会党	昭和37年7月1日		謄写	1冊		228-1に綴り込まれる。	
228	8	[人名リスト]		昭和(戦後)		鉛筆、ペン	1枚		228-1に綴り込まれる。「寺沢孝一」、「志村正明」、「田村勲」らの名あり。	
228	9	[人名リスト]		昭和(戦後)		ペン、鉛筆	2枚		228-1に綴り込まれる。「浅沼久敬」、「浅沼ナツ」、「浅沼悦太郎」らの名あり。	
228	10	東洋製線労働組合役員名簿	日本労働組合同盟・全国金属産業労働組合同盟・東京金属労働組合東洋製線支部	昭和(戦後)		活版	1枚		228-1に綴り込まれる。	
228	11	情報通信 第131・132号	日本社会党教宣局	昭和30年4月15日		活版、ペン	5枚	社会党公認候補者名簿。	228-1に綴り込まれる。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
228	12	日本洋傘肩掛卸名鑑	日本洋傘新報社	昭和28年11月1日		活版	1冊		228-1に綴り込まれる。	
228	13	早稲田大学政治学会会則・名簿	(早稲田大学政治学会)	昭和29年11月1日		謄写	1冊		228-1に綴り込まれる。	
228	14	党员名簿		昭和(戦後)		謄写	1枚		228-1に綴り込まれる。牛込分会、四谷分会、淀橋分会、戸塚分会、落合分会のもの。	
228	15	生活協同組合婦人代表者名簿		昭和28年3月20日		謄写	1冊		228-1に綴り込まれる。	
228	16	東京都伊豆七島電話番号表		昭和29年10月1日		活版	2枚		228-1に綴り込まれる。昭和29年10月1日現在。	
228	17	アメリカ友の会会則及名簿	アメリカ友の会通信連絡事務所	昭和(戦後)		謄写	1冊		228-1に綴り込まれる。	
228	18	三一会会員及会友名簿	三一会	昭和29年12月1日		活版	1冊		228-1に綴り込まれる。	
228	19	役員名簿 昭和28年度	経済同友会	昭和28年		活版	1枚		228-1に綴り込まれる。	
228	20	七日会会員名簿		昭和(戦後)		謄写、鉛筆	2枚		228-1に綴り込まれる。	
228	21	衆議院議員宿所一覧表		昭和28年5月30日		活版	1枚		228-1に綴り込まれる。衆議院公報付録。第16回国会。	
228	22	日本社会党衆参議員名簿	日本社会党本部	昭和28年5月1日		謄写	1冊		228-1に綴り込まれる。昭和28年5月現在。	
228	23	昭和28年度役員名簿	日本社会党東京都連合会	昭和28年		謄写	1冊		228-1に綴り込まれる。	
229		日本社会党本部書簡	日本社会党本部	昭和20年代		ペン	1通	常任委員会開催通知。	年代は消印から採った。葉書。	
230		役員名簿	日本社会党本部	昭和33年		活版	1冊	昭和33年度版。		
231		名簿		昭和33年～昭和35年		ペン、鉛筆、謄写、活版	1綴	日本社会党公認候補者一覧、知事五大市長都道府県議会議員名簿、早稲田大学雄弁会々員名簿録、海外派遣議員調、院内社会党記者倶楽部会員名簿、日本宇宙旅行協会会員名簿など。		
232		日本社会党国会議員名簿	日本社会党本部	昭和34年7月1日		活版、ペン	1冊			
233		役員名簿	日本社会党本部	昭和(34)年		活版	1部		第十六回党大会選任。	
234	1	名簿 第一区関係	浅沼稻次郎	不明		活版、ペン	1冊		234-2～を234-10を挟み込む。	
234	2	[名刺]	国広貴代治	昭和(48)年		活版	2枚		234-1に挟まれる。国広の肩書きは衆議院参事、連絡先は衆議院憲政記念館。名刺のうち1枚は「[浅沼稻次郎写真借用証]」(昭和48年10月8日)。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
234	3	[名刺]		不明		活版	2枚	「中川喜晶」、「横溝三郎」。	234-1に挟まれる。中川、横溝の肩書きは株式会社中川東玉堂。	
234	4	荒木青次書簡 浅沼享子宛	荒木青次	昭和(36)年(6)月(8)日		ペン	1通		234-1に挟まれる。年月日は消印から採った。葉書。	
234	5	広田新一郎書簡	広田新一郎	昭和(35)年(8)月(11)日		ペン	1通		234-1に挟まれる。年月日は消印から採った。葉書。	
234	6	島清書簡	島清	昭和(35)年8月20日		ペン、活版	1通		234-1に挟まれる。年は消印から採った。葉書。	
234	7	江川為治郎書簡	江川為治郎	昭和(35)年(8)月(24)日		ペン、謄写	1通	支部集会開催通知。	234-1に挟まれる。年月日は消印から採った。葉書。招集者の名義は小泉清一(日本社会党中央支部支部長)。	
234	8	沖縄問題懇談会書簡	沖縄問題懇談会	昭和(35)年(5)月(23)日		ペン、謄写	1通	沖縄事情紙代5ヶ月分(1月~5月)請求書。	234-1に挟まれる。年月日は消印から採った。葉書。	
234	9	払込表・払込通知表	訪日来岡記念郭沫若先生詩碑建設委員会	昭和(戦後)		活版、ペン	1枚		234-1に挟まれる。	
234	10	国際観光タイムズ社書簡	国際観光タイムズ社	(昭和)(8)月()日		ペン	1通		234-1に挟まれる。月は消印から採った。封筒のみ。	
235		日本社会党本部役員名簿	日本社会党総務局庶務部	昭和30年代		謄写版	1冊			
236	1	委員役員名簿		昭和(戦後)		活版、謄写、ペン、鉛筆	1枚	「日本社会党所属埼玉県議員名簿(支部所属別記載)」、「日本社会党役員名簿」、「日本社会党所属衆議院議員住所表」(昭和23年4月1日現在)、「昭和二十三年度日本社会党東京連合会役員名簿」、「衆議院社会党より推薦される政務官候補者氏名」、「第一回国会衆議院議員名簿」「日本社会党所属知事、市長及県会議員名簿」、「役員名簿」(日本社会党青年部)など。	236-2~236-3を挟む。年代は内容から推定。	
236	2	[構成員名簿断片]		昭和(戦後)		謄写	1枚		236-1に挟まれる。年代は内容から推定。	
236	3	[人名一覧](岡山、広島、鳥取、島根)		不明		鉛筆	1枚		236-1に挟まれる。	
237		日本社会党本部役員名簿	日本社会党本部	昭和(戦後)		謄写	1冊			付箋(「右社」)
238		東京地方名簿	東京支部連合会カ	不明		墨書、ペン	1綴		表紙にペンで「発起人」、「東京支部連合会」の書き込みあり。	
239		東京地方名簿	浅沼稻次郎	不明		ペン	1枚			
240		都内住所録		不明		ペン、鉛筆	1枚		「地方」として他府県在住者の人名も収録されている。	
241		[組織方針関係書類]		昭和(戦後)		謄写	2枚	「組織方針(方針書の部)」、「民主社会主義戦線統一に就て(方針書の部)」。	書込あり。	[封筒]

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
242		綱領・規約	日本社会党大日本印刷 職場支部	昭和(戦後)		活版	1枚			
243		日本社会党入党申込書	(日本社会党)	昭和(戦後)		活版	同一物6枚			
244		[相談所開設案内]	日本社会党都議会議員 団	昭和(戦後)		活版	1枚		ポスター。都政相談の相談所開設案 内。	
245		[日本社会党国会報告演説会案内見 本]	日本社会党	昭和(戦後)		活版	1枚		ポスター。	
246		[日本社会党大演説会案内]	日本社会党	昭和(戦後)		活版	1枚		同一物2部。ポスター。12月9日、神田 共立講堂開催。	
247		入党申込書	(日本社会党)	昭和(戦後)		活版	1枚		年代は内容から推定。	
248		[社会党夏季巡回政治講座案内見本]	日本社会党東京都連合 会文化政治学校	昭和(戦後)		活版	1枚		ポスター。	
249	1	[会合記録・名簿]		不明		ペン	1冊		名簿部分は台東区、中央区、港区、新 宿区のインデックスあり。	
249	2	[人名リスト]		昭和		ペン	1枚		249-1の「中央区」2ページ目と3ページ 目の間に挟みこまれる。	
249	3	[推薦葉書送付依頼]	差出人不明	昭和(戦後)		ペン	2枚		249-1の「中央区」2ページ目と3ページ 目の間に挟みこまれる。荒川好三の推 薦葉書送付。	
250		昭和二十三年度日本社会党大会決定 事項		昭和(23)年		ペン、活版	1綴		『社会新聞』などからの切抜を貼り付け たもの。1281参照。	
251		[党大会議案]		昭和(23)年		謄写	1綴	「生産者に食糧増配に関する件」(1 枚)、「引揚対策」(3枚)、「災害復旧対 策」(2枚)、「要望事項」(1枚、婦人部)。	年は内容から推定。	
252		日本社会党東京都支部連合会特報	日本社会党東京都支部 連合会	昭和24年3月25日		謄写	1枚			
253		[常務執行委員会議事録]		昭和(24)年(3)月(12)日		謄写	1枚		昭和24年3月12日の記録。	
254		[常務執行委員会議事録]		昭和(24)年(3)月(22)日		謄写	1枚			
255		第十回躍進全国大会に際してお願い		昭和35年6月1日		活版	1枚		封筒の宛先は日本中国友好協会。	[封筒]
【その他】										
256		懇談会案内用紙	小酒井義男ほか	昭和35年2月1日		活版	1枚	日本社会党結党十五周年を記念の党 幹部を招いての懇談会、記念レセプシ ョン開催の案内。	小酒井の肩書きは日本社会党岐阜県 支部連合会会長、参議院議員。出席党 役員中に書記長浅沼稻次郎の名あり。	
257		過度経済力集中排除法の一部改正に 関する覚書	日本社会党	昭和(戦後)		謄写	3枚			
258		中小企業再建対策	日本社会党組合委員会 商工部	昭和(戦後)		謄写、鉛筆	1部		鉛筆で「可決」の書込みあり。	要望書(婦人部)
259		要望書	田畑陽介	昭和(戦後)		墨書	3枚			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
260		[封筒]		昭和(34)年(7)月		ペン、鉛筆	1枚		261~331を入れる。読売新聞社封筒に「社会党書記長浅沼稻次郎様 金井」「読売金井記者 A」の書込みあり。	
261		組織づくりに真剣に取くめ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
262		社会党にのぞむ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
263		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
264		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
265		社会党はどうあるべきか。		昭和(34)年(7)月		活版	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
266		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		墨書	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
267		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
268		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
269		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
270		社会党はどうあるべきか？		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
271		原初的な自己批判をせよ		昭和(34)年(7)月		活版	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
272		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
273		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
274		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
275		政治力をもて		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
276		社会党に望む		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
277		社会党はどうあるべきか	臼井邦輔	昭和(34)年(7)月	早稲田大学 原稿用紙	ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
278		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
279		進歩的な国民党たれ		昭和(34)年(7)月		活版	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
280		国民性に富む政治をのぞむ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
281		社会党に望む		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
282		政権を獲得出来る現実的なものであれ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
283		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
284		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
285		社会党は左右分裂して出直せ。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
286		幹部総退陣せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
287		社会党は解散せよ		昭和(34)年(7)月			1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
288		分裂による再出発を。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
289		社会党はどうあるべきか。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
290		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月	日本原子力産業会議原稿用紙	ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
291		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
292		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
293		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
294		“頼られる政党”へ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
295		社会党は、どうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
296		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
297		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
298		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
299		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月			1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
300		社会党はどうあるべきか		昭和34年7月8日	奈良県紙	ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
301		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
302		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
303		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
304		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
305		左右両派は袂を分て		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
306		デモクラシーを自覚せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
307		国民政党にたち返れ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
308		国民大衆政党に成長せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
309		労組一辺倒と『デモ反』主義やめよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
310		主体性を確立せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
311		大衆が納得する政党となれ		昭和(34)年(7)月	東京電力株式会社原稿用紙	ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
312		社会党に望む		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
313		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
314		社会党への一言		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
315		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
316		二大政党の一としてのプライドを持つ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
317		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
318		性格をはっきりせよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
319		革新政党の面目を回復せよ!		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
320		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
321		理論だおれになるな。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
322		完全な統一が急務		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
323		圧力団体と決別せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
324		社会党に望む		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
325		社会党は左右に分かれて出直すべきだ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
326		階級闘争より、建設漸新社会主義を		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
327		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
328		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
329		社会党は分裂すべし		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
330		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
331		「階級的・大衆党」は失望		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		260に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
332		[封筒]		昭和(34)年(7)月		ペン、鉛筆	1枚		333～428を入れる。読売新聞社封筒に「社会党書記長浅沼稻次郎様 金井」「読売金井記者 B」の書込みあり。	
333		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
334		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
335		社会党に望む		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
336		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
337		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
338		社会党は無産政党らしく筋を通せ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
339		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
340		社会党はいかにあるべきか。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
341		国民政党へ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
342		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
343		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年7月12日		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
344		社会党はどうあるべきか？。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
345		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
346		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
347		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
348		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月	三四会雑貨部原稿用紙	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
349		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
350		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月	興亜火災海上保険株式会社	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
351		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
352		どうすれば社会党に国民がつくか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
353		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
354		社会党は再分裂せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
355		PRが必要		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
356		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
357		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
358		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
359		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
360		もっと大人に		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
361		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
362		孤立外交を廃し国民党を。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
363		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		鉛筆	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
364		政権を取れ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
365		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
366		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
367		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
368		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
369		社会党は分裂せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
370		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
371		年齢別支持分布を検討せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
372		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
373		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
374		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
375		道理に従って根本から出なおせ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
376		社会党は国民党たるべし しからずんば分裂せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
377		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
378		“社会党はこうあるべきだ”		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
379		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月	ふかい原稿用紙	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
380		搾取なきモデル企業を造れ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
381		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
382		社会党にのぞむ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
383		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
384		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
385		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
386		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
387		清潔であれ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
388		戦争防止根本解決案と生活の必幸指導で社会党は全階級の信頼を得よ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
389		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
390		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
391		真の労働者大衆党に		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
392		建設的生産的なれ。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
393		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
394		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
395		政権担当の信念を持って		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿。	
396		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
397		社会党はどうあるべきか		昭和34年7月14日		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
398		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月	東洋経済新報社原稿用紙	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
399		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月	理容文芸社原稿用紙	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
400		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
401		民主々義の枠の中で		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
402		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
403		社会党はどうあるべきか。		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
404		農山漁村に新しい分野は開拓せよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
405		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
406		日本社会党成長のために		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
407		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
408		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
409		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
410		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
411		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
412		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
413		欠陥は社会党の内部にある		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
414		社会党に望む		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
415		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
416		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
417		単純素朴な大衆の党に		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
418		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
419		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
420		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
421		国民政党内に踏み切れ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
422		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
423		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月		鉛筆	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
424		是非共産党と一線を画せ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
425		次の問題を明確にせよ		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
426		[紙上討論原稿]		昭和(34)年(7)月		ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
427		社会党はどうあるべきか		昭和(34)年(7)月	農業復興会議原稿用紙	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	
428		社会党の前進のために		昭和(34)年(7)月	運輸盛岡地方労働組合	ペン	1綴		332に入る。読売新聞第222回紙上討論応募原稿カ。	

1.2.2. 衆議院

【第一国会関係】（議院運営委員長・政党及び選挙法に関する特別委員会関係）

429	1	第一回国会に提出を予定する法律案件名	農林省	昭和22年6月27日		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	
429	2	農業協同組合法要綱		昭和22年6月30日		謄写	2枚		429-1～429-14は一括。	
429	3	肥料の品質保全に関する法律案要綱		昭和22年6月22日		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	
429	4	農薬取締法案要綱		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	
429	5	農産種苗法案要綱		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	
429	6	自作農創設特別措置法の一部を改正する法律案要綱		昭和22年6月22日		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	
429	7	農業及家畜保険制度改正要綱案		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	
429	8	農地調整法の一部を改正する法律案要綱		昭和22年6月22日		謄写	1枚		429-1～429-14は一括。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
429	9	食料品配給公団法案要綱		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1~429-14は一括。	
429	10	油糧配給公団法案要綱		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1~429-14は一括。	
429	11	飼料配給公団法案要綱		昭和(22)年		謄写	2枚		429-1~429-14は一括。	
429	12	開拓法要綱		昭和(22)年		謄写	3枚		429-1~429-14は一括。	
429	13	開拓者資金融通法中一部改正案要綱		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1~429-14は一括。	
429	14	主要食糧の計画生産についての措置 (未定稿)		昭和(22)年		謄写	1枚		429-1~429-14は一括。	
430	1	昭和二十二年度国会費所管経費追加 要求書		昭和(22)年		謄写	1枚		430-1~430-6は一括。	
430	2	追加予算要求要旨		昭和(22)年		謄写	2枚		430-1~430-6は一括。	
430	3	第一回国会開会等に伴い之に要する 経費の増加		昭和(22)年		謄写	3枚		430-1~430-6は一括。	
430	4	営繕工事に要する経費・衆議院営繕費 追加要求額説明		昭和(22)年		謄写	5枚		430-1~430-6は一括。	
430	5	国会職員待遇改善に要する経費		昭和(22)年		謄写	2枚		430-1~430-6は一括。	
430	6	概算追加額		昭和(22)年		謄写	1枚		430-1~430-6は一括。	
431	1	第壹 特別資料 石炭問題		昭和22年		謄写、活版、 鉛筆、ペン	1綴	石炭鉱業管理法関係、炭鉱国家管 理法案関係、部落解放問題関係、昭和 22年群馬県大水害関係。	431-2~431-4を綴じこむ。	
431	2	教育金庫法案正誤表		不明		活版	1枚		431-1に綴じこまれる。	
431	3	昭和廿二年九月災害復旧に関し中央 に対する要望事項	群馬県	昭和22年		活版	1枚		431-1に綴じこまれる。	
431	4	昭和二十二年九月水害資料		昭和22年		活版	1枚		431-1に綴じこまれる。	
432		[国会関連法案関係書類綴]		昭和22年		活版、謄写、 鉛筆、青焼	1綴	衆議院規則案関係、裁判官弾劾法案 関係、衆議院事務局関係規程、議院運 営委員会案件、両院協議会規程、、常 任委員会合同審査会規程、国会付属 施設の用地として国有地移管に関する 件など。		
433		[衆議院議院運営委員会関係書類綴]		昭和(22)年		活版、謄写、 鉛筆	1綴	経費予算関係書類、内閣提出法律案 一覧、召集日次第。		

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
434		[書類綴]		昭和22年		活版、謄写	1綴	請願陳情一覧、議院運営委員会案件、議院における証人の宣誓及び証言等に関する法律案審議関係書類、「各委員長の国会の機能及び活動に関する意見書」提出を求める通知関係書類など。		
435		審議法案		昭和(22)年		活版、謄写、鉛筆	1綴	裁判所事務官が国会で説明できるよう国会法の改正を求める意見書、鍼灸医師法(又は鍼灸医法案)、「政党法案要綱」、「生活協同組合法案」(昭和22年10月、日本社会党本部)。		
436		[衆議院議院運営委員会関係書類綴]		昭和22年～昭和23年9月			1綴	法律案趣旨説明原稿、衆議院職員人事関係書類、衆議院規則関係書類、不当財産取引調査特別委員会調査報告、政務官設置関係書類、昭和23年度国会書簡経費要求書関係書類、議院出欠公表方法ノ件、国会法改正関係。		
437		[衆議院議院運営委員会関係書類綴]		昭和23年		ペン、鉛筆、謄写、活版	1綴	議院運営委員会案件、参事・委員会調査員任用候補者略歴、各派委員割当表、国会職員法改正案関係、衆議院規則中改正案、院内秩序に関する件、内閣総辞職関係通知など。		
438		[衆議院議院運営委員会関係書類綴]		昭和23年1月～昭和23年3月		謄写、鉛筆、タイプ	1綴	国会法改正関係書類、国立国会図書館法関係書類、昭和23年度国会予備金支出報告書、「日本国憲法施行一周年記念式典次第」など。		
439		議院法制局法案		昭和22年8月1日		謄写	2枚			
440		[政治資金規正法・政党法関係書類綴]		昭和(22)年		謄写、墨書、ペン	1綴	政治腐敗防止法案関係書類(講演原稿、委員長報告原稿、法案、委員意見、法案要綱)、浅沼・マーカム会談要旨、政党法律案関係書類など。		
441		[政党法関係書類綴]		昭和(22)年		謄写、活版	1綴	各国選挙制度資料(ドイツ、ソ連、アメリカ)、第22回総選挙結果、各政党党則・規約類(日本農民党、民主党、日本社会党、国民協同、日本共産党、自由党)、選挙管理法など。		

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
442		[衆議院議員選挙法改正関係書類綴]		昭和(23)年		活版、謄写、ペン	22部	選挙運動等の臨時特例に関する法律案、衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する選挙法改正に関する小委員会報告書、選挙運動等の臨時特例に関する法律案(昭和23.4.12、極秘)、衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案(昭和23.3.27、極秘)、制限連記制の採用に伴い衆議院議員選挙法の改正を要する部分(昭和23.4.7、極秘)など。	くくり紐でくられていたものを解体した。	[くくり紐]
443		政党法立案に関する主要なる意見の相違点等		昭和(22)年		謄写	4枚			
444		[決議案綴]		昭和(22)年		タイプ	2枚	「食糧増産並に供出促進に関する決議(案)」、「食糧増産、供出促進並に労農協調に関する決議(案)」、「食糧危機打開に関する決議(案)」、「決議(案)」。	年は内容から推定。「社会党」のペンでの書き込みあり。	
【その他】										
445	1	[封筒]		不明		ペン	1枚		445-2~445-30を入れる。浅沼稻次郎宛衆議院食糧対策議員連盟の封筒を利用したもの。	
445	2	農村向ゴム製品の配給量(実績及び計画)	商工省生活物資局	昭和22年11月10日		活版	1枚		445-2~445-7は一括。	
445	3	供米報償物資割当状況		昭和(戦後)		謄写	1枚		445-2~445-7は一括。年代は内容から推定。	
445	4	供出報償物資出荷計画		昭和(戦後)		謄写	1枚		445-2~445-7は一括。年代は内容から推定。	
445	5	昭和二十二年度産米買入状況調	食糧管理局	昭和(22)年		謄写	1枚		445-2~445-7は一括。11月30日現在。	
445	6	昭和二十二年産甘藷供出実績		昭和(22)年		謄写	1枚		445-2~445-7は一括。昭和22年11月30日現在。裏面に「班長」の書き込みあり。	
445	7	[産米供出報償用ゴム製品出荷計画関係書類綴]		昭和(22)年		謄写	1綴	地下足袋、ゴム長靴、自転車用タイヤ・チューブ、総ゴム草履など。	445-2~445-7は一括。	
445	8	視察工場一覧	衆議院食糧対策議員連盟	昭和(戦後)		謄写	1枚		445-8~445-15は一括。年代は内容から推定。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
445	9	供出報償用物資生産事情調査報告書(名古屋、浜松班)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月10日		謄写	1冊		445-8~445-15は一括。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
445	10	供出報償用物資生産事情調査報告書(岡山、広島班)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月10日		謄写	1冊		445-8~445-15は一括。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
445	11	供出報償用物資生産事情調査報告書(阪神班)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月30日		謄写	1冊		445-8~445-15は一括。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
445	12	供出報償用物資生産事情調査報告書(福岡、熊本班)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月15日		謄写	1冊		445-8~445-15は一括。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
445	13	供出報償用物資生産事情調査報告書(仙台、山形班)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月10日		謄写	1冊		445-8~445-15は一括。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
445	14	要請書(供出報償用物資確保に関する意見書)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月30日		謄写	1冊		445-8~445-15は一括。松岡の肩書きは衆議院議長。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
445	15	薪炭配給機関の不当利得に関する調査		昭和(23)年		謄写	1冊	「薪炭配給機関の不当利得に関する調査」、「林野局より各県に指令せる写」。	445-8~445-15は一括。年は内容から推定。	
445	16	[水害復旧計画並予算実績]		昭和(23)年		謄写	2枚	「北陸四県水害復旧計画並予算実績」、「東北六県水害復旧計画並予算実績」。	445-16~445-30は一括。年は内容から推定。	
445	17	昭和二十三年産主食供出に対するリンク物資概要	食糧管理局物資課	昭和23年5月20日		謄写	1綴		445-16~445-30は一括。	
445	18	昭和二十三年産麦及馬鈴薯供出に対するリンク物資に関する資料	食糧管理局	昭和23年6月22日		謄写	1冊		445-16~445-30は一括。	
445	19	農業手形制度		昭和22年頃		謄写	1綴		445-16~445-30は一括。	
445	20	[産米価格決定方法]		昭和(23)年		謄写	1綴		445-16~445-30は一括。	
445	21	昭和二十三年度農業用資材(農薬)配給計画及実績		昭和(23)年		謄写	1綴	「第一第二四半期分No.1」。	445-16~445-30は一括。	
445	22	昭和二十三年度農業生産資材(作業衣、ゴム履物)の配給計画と同実績	農林省農政局資材課	昭和(23)年		謄写	1枚		445-16~445-30は一括。年は内容から推定。	
445	23	[昭和23年度農機具生産計画に関する書類]	農政局資材課	昭和(23)年		謄写	1綴	「昭和23年度農機具生産計画数量」、「自昭和22年12月至昭和23年10月指定農機具配給割当数量」。	445-16~445-30は一括。	
445	24	昭和23年度農業土建関係資材配給計画及び実績表	農政局資材課	昭和(23)年		謄写	1枚		445-16~445-30は一括。	
445	25	昭和二十三年度馬鈴薯買入状況調	食糧管理局	昭和23年		謄写	1枚		445-16~445-30は一括。9月10日現在。	
445	26	昭和二十三年産麦類買入状況一覧表	食糧管理局	昭和23年		謄写	2枚		445-16~445-30は一括。9月10日現在。	
445	27	昭和二十三年産米昭和二十四年産麦生産見込及供出割当数量一覧表	食糧管理局	昭和(23)年		謄写	1枚		445-16~445-30は一括。年は内容から推定。	
445	28	昭和二十三年産甘藷、供出割当高		昭和(23)年		謄写	1枚		445-16~445-30は一括。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
445	29	農業手形割引残高表		昭和(23)年		謄写	1枚		445-16~445-30は一括。昭和23年9月17日調査。	
445	30	昭和二十三年産米搬出計画	食糧管理局	昭和23年9月16日		謄写	1綴		445-16~445-30は一括。	
446		所属衆議院議員東京宿所表	社会党	昭和22年5月1日		謄写	1部		年は内容から推定。	
447		食糧対策二関スル綴		昭和22年7月 ~昭和23年6月		謄写	1綴	緊急委員会開催の件、各都道府県食糧事情調査報告書、衆議院食糧対策議員連盟関係書類など。		
448		労働省設置法案修正理由		昭和(22)年(8)月		謄写	1枚		年は内容より推定。449と同一物。	
449		労働省設置法案修正理由		昭和(22)年(8)月		活版	1枚		448と同一物。	
450		常任理事会議事録		昭和22年8月1日		謄写	1枚		年月は添状から採った。昭和22年8月28日開催の憲法普及会常任理事会の議事録。	[添状](昭和22年8月29日)
451		衆議院議員選挙法中船員不在投票に関する条項改正建議書	陰山寿	昭和22年8月30日		謄写	1綴		陰山の肩書きは全日本海員組合組合長。	
452	1	東畑精一書簡	東畑精一	昭和22年9月15日		活版、ペン	1枚	「農業協同組合組織協力本部設置要綱」、「同設置の趣旨」、「農業協同組合の組織に関する意見」送付。	452-1~452-3は一括。	
452	2	[農業協同組合組織協力本部設置の趣旨]	東畑精一	昭和22年9月10日		活版	1枚		452-1~452-3は一括。	
452	3	農業協同組合の組織に関する意見	農業復興会議	昭和(22)年		活版	2枚	「農業協同組合の組織に関する意見」、「農業協同組合組織協力本部設置要綱」、「農業協同組合組織協力本部委員名簿」。	452-1~452-3は一括。	
453		第一回国会衆議院公報第九号	衆議院	昭和22年6月3日		活版	1部			
454		第一回国会 衆議院陳情文書 表第三		昭和(22)年		活版	1冊		年は内容から推定。	
455		覚	浅沼稻次郎	昭和22年		ペン、活版	1			
456		会計検査院所管昭和22年度一般会計予算補正(第8号)参照書		昭和22年		活版	1冊		第1回国会(特別会)提出。	
457		内閣所管昭和22年度一般会計予算補正(第8号)参照書		昭和22年		活版	1冊		第1回国会(特別会)提出。	
458		裁判所所管昭和22年度一般会計予算補正(第8号)参照書		昭和22年		活版	1冊		第1回国会(特別会)提出。	
459		外務省所管昭和22年度一般会計予算補正(第8号)参照書		昭和22年		活版	1冊		第1回国会(特別会)提出。	
460		昭和22年度一般会計予算補正(第12号)		昭和(22)年		活版	1冊		年は前後の資料から推定。	
461		昭和22年度特別会計予算補正		昭和22年		活版	1冊		特第7号。第2回国会(常会)提出。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
462		[くくり紐]		不明			1本		462～479は一括。	
463		食糧一割増産いろは	農林省農政局	昭和23年3月1日		活版	1枚		462～479は一括。	
464		最近の食糧需給状況	衆議院食糧対策議員連盟事務局	昭和23年3月1日		謄写	1部		462～479は一括。	
465		一割増産運動資料	衆議院食糧対策議員連盟事務局	昭和23年3月1日		謄写	1部		462～479は一括。	
466		最近の生鮮食料品資料	衆議院食糧対策議員連盟事務局	昭和23年3月1日		謄写	1部		462～479は一括。	
467		供出報償用物資確保に関する意見	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年1月30日		謄写	2枚		462～479は一括。松岡の肩書きは衆議院議長。浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
468		肥料生産計画並実績	山野富次郎	昭和(23)年		謄写	1枚		462～479は一括。年は前後の資料から推定。山野の肩書きは事務局長。	
469		昭和23年春肥需給計画(安本案)	山野富次郎	昭和(23)年		謄写	1枚		462～479は一括。年は前後の資料から推定。山野の肩書きは事務局長。	
470		昭和23年1～7月窒素質肥料月別割当数量	衆議院食糧対策議員連盟	昭和22年11月21日		謄写	同一物2枚		462～479は一括。裏面は「昭和23年1～7月磷酸質肥料月別割当数量」。	
471		昭和23年春夏作物別肥料割当数量	衆議院食糧対策議員連盟事務局	昭和22年11月20日		謄写	1枚		462～479は一括。	
472		昭和22年硫安1～2月生産計画及実績		昭和(22)年(11)月		謄写	1枚		462～479は一括。年月は前後の資料から推定。	
473		昭和22年4～11月並23年1～3月石灰窒素生産計画及実績表		昭和(22)年(11)月		謄写	1枚		462～479は一括。年月は内容から推定。	
474		昭和22年4月～12月及昭和23年1月～3月過磷酸生産計画及実績		昭和(22)年(11)月		謄写	1枚		462～479は一括。年月は内容から推定。	
475		肥料生産に関する資料[生]産		昭和(22)年		謄写	1枚		462～479は一括。年は内容から推定。	
476		供米「リンク」肥料府県別割当表		昭和22年		謄写	1枚		462～479は一括。昭和22年産米分。年は前後の資料から推定。	
477		昭和二十二年度産米及び甘藷供出に対する特配物資に関する資料	食糧管理局	昭和22年11月19日		謄写	1部		462～479は一括。	
478		昭和二十二年産米供出報奨物資月別需用計画	食糧管理局企画課	昭和22年11月12日		活版	1部		462～479は一括。	
479		供出報奨用物資現地生産事情調査に関する件	衆議院食糧対策議員連盟	昭和22年12月3日		謄写	1綴		462～479は一括。衆議院食糧対策議員連盟委員長は浅沼稻次郎。	
480		肥料配給割当について		昭和23年7月1日		謄写	2部	「肥料配給割当について」(農林次官、昭和23年7月13日)、「肥料配給割当について」(農林省農政局長、昭和23年7月)。	480～486は一括。	
481		農民租税負担軽減に関する大蔵省当局との交渉経過の概略	農林省農政局	昭和(23)年		謄写	1部		480～486は一括。年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
482		挨拶要旨		不明		謄写	1綴	衆議院食糧対策議員連盟代表としての挨拶。	480～486は一括。	
483		福井、石川、富山班日程	衆議院食糧対策議員連盟	昭和(23)年		謄写、ペン	1枚	供出感謝・懇請並に供出制度改善に関する懇談会の開催。	480～486は一括。年は内容から推定。	
484		食糧供出感謝・懇請並に現地事情聴取視察日程(新潟・福島班)	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年		謄写	1枚	9月27日から30日にかけての日程。	480～486は一括。	
485		山形・秋田班日程	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年		謄写	1枚	9月27日から29日にかけての日程。供出感謝・懇請並に懇談会の開催。	480～486は一括。	
486		[供出感謝・懇請並に供出制度改善に関する懇談会の開催の発表]	衆議院食糧対策議員連盟	昭和23年9月25日		謄写	2枚		480～486は一括。「新聞発表九月二十五日」の書込みあり。	
487		常任理事会開催の通知	民主政治教育連盟	昭和23年1月24日		謄写、墨書、インク、鉛筆	1枚		「衆社」の書込あり。	
488	1	競犬に関する説明書		昭和(23)年		活版	1冊		488-2を挟む。	
488	2	競犬法(案)国会提出に関し党議により御採択賜り度き件懇請	安井誠一郎	昭和23年1月28日		謄写、ペン	1枚		488-1に挟み込まれる。	
489		[租税完納運動中央本部発会式案内]	早稲田柳右工門	昭和23年1月28日		謄写	1枚			
490		[意見書]	北浦圭太郎、本田英作、古島義英、川橋豊治郎	昭和(23)年2月16日		謄写	1枚	保守党合同を求める内容。	年は内容から推定。吉田の肩書きは総裁。	
491		豊水期ヲ迎ヘテ	石灰窒素肥料工業振興会	昭和23年2月1日		活版、ペン	1冊		副題「石灰窒素生産現況ト増産対策」。	
492		[住宅対策関係書類]		昭和23年3月25日		謄写、ペン	27枚			
493		昭和22年度予算に関する諸表	大蔵省主計局	昭和23年3月31日		活版	1冊			
494		経済査察庁法案並物資活用委員会に関する意見書	中央物資活用委員会民間側委員一同	昭和(23)年(4)月(10)日		謄写、ペン、タイプ	1綴		年月日は添状のものを採った。	[添状]
495		食糧生産者所得税等課税問題に関する公聴会開催の件(写)	浅沼稻次郎	昭和23年4月14日		謄写、タイプ、ペン	3枚		浅沼の肩書きは衆議院食糧対策議員連盟委員長。	
496		昭和23年度一般会計予算大綱		昭和23年5月28日		謄写	1部			
497		国家行政組織法案		昭和(23)年		活版	1冊		年は内容から推定。	
498		政治資金規正法案		昭和(23)年		活版	1冊		年は内容および前後の資料から推定。	
499		[政治資金規正法案修正回付案]		昭和23年6月19日		活版	1冊		年月日は回付の日付から採った。貴族院で修正可決された議案を衆議院に回付したもの。	
500		食糧確保臨時措置法関係法令	農林省農政局	昭和23年8月1日		活版	1冊			
501		水害対策に関する要望書	宮城県	昭和23年10月1日		活版	1冊			
502		農地委員会全国協議会大会議案	農地委員会全国協議会	昭和23年11月1日		謄写	1冊		502と503はクリップで一括。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
503		都道府県委員会補助金		昭和(戦後)		謄写	1枚		502と503はクリップで一括。	
504		県財政の現況について		昭和(23)年		謄写	1部		年は内容から推定。	
505		正誤表		昭和23年		謄写	1枚	「政府職員に対する一時手当の支給に関する法律案」の印刷物の正誤表。		
506		設立趣意書・寄付行為	更生事業推進中央会	昭和(戦後)		謄写	5枚			
507		財団法人教化愛育協会寄付行為		昭和(戦後)		謄写	4枚			
508		国家予算編成の移管に就いて		昭和(戦後)		謄写	1枚			
509		主要食糧農産物の生産及び供出確保のための臨時措置に関する法律案	日農議員団	昭和(戦後)		謄写	1部			
510		国会議員の特別手当の金額に関する件		昭和(戦後)		謄写	1枚			
511		議院に出頭する証人等の旅費及び日当支給規程		昭和(戦後)		謄写	1枚			
512		国会職員考査委員会規程		昭和(戦後)		謄写	1枚			
513		[道義再建運動関係書類綴]		昭和(戦後)		活版、墨書、ペン	1綴			
514		災害対策追加予算と憲法上の疑義		昭和(戦後)		カーボン、ペン	2枚			
1.2.3. 衆議院議員選挙										
515		受領書	藤沼庄平	昭和21年2月14日		謄写、ペン	1枚		藤沼の肩書きは東京都長官。「衆議院議員ノ議員候補者タルベキ資格確認申請書」の受領書。	
516		衆議院議員選挙立候補届出済証	藤沼庄平	昭和21年3月11日		謄写、ペン	1枚		藤沼の肩書きは東京都第一区選挙長、東京都長官。浅沼の立候補届。	
517		選挙斗争日誌No.1	浅沼稻次郎	昭和21年3月11日		ペン	1冊			
518		総選挙態勢に万全を期せ	浅沼稻次郎、伊藤卯四郎	昭和23年11月12日		謄写	2枚			
519		選挙関係の法令整備及同管理委員会の運営に関する意見提出の件	角田隆治郎	昭和23年11月16日		謄写、墨書	1綴		角田の肩書きは東京都各区選挙管理委員会連合会会長。	
520		得票一覧表	木下与市	昭和24年1月23日		謄写	1枚		昭和二十四年一月二十三日執行衆議院議員候補選挙第一区(定員四名)の結果。木下の肩書きは「選挙資料」。	
521		選挙闘争資料(四)	日本社会党本部	昭和(24)年12月30日		謄写	1冊		年は内容から推定。	付箋(「C-22?」)
522		選挙公報ヒナ型集	日本社会党本部	昭和27年8月31日		謄写	1冊			付箋(「S-27?」)

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
523		選挙広報ヒナ型集	日本社会党本部	昭和(27)年8月31日		謄写	1冊		年は内容から推定。	
524		浅沼稻次郎選挙事務所書簡	浅沼稻次郎選挙事務所	昭和(33)年(5)月(5)日		活版、ペン	1通		530に挟まれる。524～529はくくり紐一括。	〔くくり紐〕
525		公認証	鈴木茂三郎	昭和33年		活版、墨書	1枚		530に挟まれる。524～529はくくり紐一括。鈴木の肩書きは日本社会党中央執行委員長。	
526		選挙速報 第1号	日本社会党総合選対	昭和(33)年5月1日		謄写	1枚		530に挟まれる。524～529はくくり紐一括。年は前後の史料から推定。	
527		労組、中央委員会日程案内	浅沼稻次郎	昭和33年5月4日		謄写	1枚		530に挟まれる。524～529はくくり紐一括。	
528		衆議院議員公認候補者選挙事務所名簿	日本社会党本部選挙対策事務局	昭和33年5月1日		謄写	1冊		530に挟まれる。524～529はくくり紐一括。	
529		政治活動用ポスター及び検印票送付について	選挙対策委員会	昭和33年5月3日		謄写	2枚		530に挟まれる。524～529はくくり紐一括。	
530		33年選挙参考書類		昭和33年		墨書、謄写、ペン、活版、鉛筆	1冊	当選挨拶状用紙、演説予定表、立会演説会会場、選挙ポスター、衆議院議員候補者選挙公報など。	524～529を挟む。	〔くくり紐〕
531		選挙関係印刷物一覧表		昭和(35)年		謄写	1綴		年は内容から推定。	
532		〔演説原稿文例〕		昭和(戦後)		謄写	1綴			
533		衆議院議員選挙立候補者心得	衆議院法制局	昭和(戦後)		謄写	1綴			
1.2.4. 地方首長選挙・地方議員選挙										
534		地方選挙資料		昭和30年		ペン、謄写	1綴	「遊説予定」、「浅沼書記長日程表」、「個人演説会並に街頭演説会日程表」、「個人演説会日程通知に関する件」、「弁士参考資料」(守本都議候補個人演説会場、共同演説会(都議候補会場))、「各級地方選挙候補者一覧」、「分担表」、「本部書記局職員」、「本部書記局職員」(34年)、「本部書記局職員配属」、「訪問先組合所在地連絡先および担当議員一覧」。	「先生所有」とある。	
1.2.5. 浅沼稻次郎葬儀										
535		故浅沼稻次郎追悼記帳		昭和(35)年		墨書、ペン、鉛筆	1冊		536を挟む。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
536		[高田康吉名刺]	高田康吉	昭和(35)年		鉛筆、活版	1枚		535に挟まれる。高田鷹子の名刺の裏面に鉛筆で書かれる。高田康吉の肩書きは「日本禁煙協会会員」。高田鷹子の肩書きは「札幌市役所準職員組合執行委員」。	
537		[封筒]		昭和35年		ペン	1枚		「御芳名録」(538～573)を入れる。	
538		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。「安藤典太郎」、「武藤建史」、「倉上作市」などの名あり。	
539		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。「No.12」、「金田路世」、「田中末子」などの名あり。	
540		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「59」、「21」の書き込みあり。「吉田和子」、「松原素明」などの名あり。	
541		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。「全国町村会」、「小山晴吉」などの名あり。	
542		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「No.38」、「19」の書き込みあり。「大原喜治郎」、「東原孝」などの名あり。	
543		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「4」の書き込みあり。「山田権司」、「山崎玲子」などの名あり。	
544		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「No.10」、「16」の書き込みあり。「釘嶋進」、「鍵山義夫」などの名あり。	
545		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「9」の書き込みあり。「山口泰孝」、「松井信常」などの名あり。	
546		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「5」の書き込みあり。「大石好子」、「下田良子」などの名あり。	
547		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「15」、「62」の書き込みあり。「小村幸二郎」、「藤田美実」などの名あり。	
548		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「58」、「18」の書き込みあり。「辻ゆき子」、「村山富美子」などの名あり。	
549		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「No.18」の書き込みあり。「藤井健一」、「宮田兼吉」などの名あり。	
550		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「51」、「32」の書き込みあり。「大塩弘毅」、「太田実十二」などの名あり。	
551		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「55」、「14」の書き込みあり。「大橋登志子」、「荻原勝男」などの名あり。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
552		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「No.6」、「24」の書き込みあり。「吉田鶴子」、「坂本久悦」などの名あり。	
553		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「7」の書き込みあり。「羽仁五郎」、「羽仁説子」などの名あり。	
554		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「No.28」、「20」の書き込みあり。「中尾東脩」、「大山弘」などの名あり。	
555		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「No.7」、「23」の書き込みあり。「青山静包」、「釘嶋進」などの名あり。	
556		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「No.9」、「22」の書き込みあり。「日置宏輔」、「白井一男」などの名あり。	
557		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「No.30」、「28」の書き込みあり。「戸谷紘」、「田代一江」などの名あり。	
558		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「69」、「27」の書き込みあり。「田辺新平」、「涌井蔵吉」などの名あり。	
559		御芳名録		昭和35年10月12日		活版、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「11」の書き込みあり。「富永房男」、「小野光子」などの名あり。	
560		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「60」、「12」の書き込みあり。「前田正則」、「滝口忠三」などの名あり。	
561		御芳名録		昭和35年10月12日		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「1」の書き込みあり。「馬場常夫」、「植山隼人」などの名あり。	
562		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「8」の書き込みあり。「長谷川昇」、「渡辺美知子」などの名あり。	
563		御芳名録		昭和35年10月12日		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「2」の書き込みあり。「神立りつ子」、「神立きい子」などの名あり。	
564		御芳名録		昭和35年10月13日		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「(I)」の書き込みあり。「高津正道」、「高津志主子」などの名あり。	
565		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「56」、「26」の書き込みあり。「松林緒子」、「谷尾」などの名あり。	
566		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「No.5」、「25」の書き込みあり。「二瓶田之助」、「倉沢岳一」などの名あり。	
567		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。「宮川睦男」、「立山久」などの名あり。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
568		御芳名録		昭和35年10月12日		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「10」の書き込みあり。「天郷重知」、「奥むめお」などの名あり。	
569		御芳名録		昭和35年		活版、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「61」、「13」の書き込みあり。「中畝利治」、「川合美升子」などの名あり。	
570		御芳名録		昭和35年		活版、ペン	1冊		537に入る。表紙に「6」の書き込みあり。「大島クラノ」、「細田マス」などの名あり。	
571		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。「朴春子」、「狩野千秋」などの名あり。	
572		御芳名録		昭和35年		活版	1冊		537に入る。表紙に「67」、「29」の書き込みあり。「及川ツル」、「及川定子」などの名あり。	
573		御芳名録		昭和35年		活版、ペン、鉛筆	1冊		537に入る。表紙に「No.4」、「31」の書き込みあり。「新井規夫」、「三宅美智子」などの名あり。	
574		浅沼委員長弔意芳名簿	日本社会党磐城支部	昭和35年		墨書、ペン	1冊			
575		宛先不明堤書簡	堤	昭和35年10月19日		ペン	1枚		575～579は一括。赤鉛筆で「二百円」の書き込みあり。封筒欠。	
576		〔芳名書上〕		昭和35年		ペン、鉛筆	1枚	有志一同。	香典の芳名録中のものか。「15,500」という書き入れ有。(「済み衣江」という書き込みあり。)。575～579は一括。	
577		〔芳名書上〕		昭和35年		墨書	1枚	栃木県野岩線鉄道建設促進同盟。	575～579は一括。	
578		〔芳名書上〕		昭和(35)年(10)月	日本社会党政策審議室	ペン	1枚	読売新聞社有志(政治部)。	575～579は一括。年は内容から推定。	
579		〔芳名書上〕		昭和(35)年		ペン	1枚	栃木県西那須野町支部扱内訳。	575～579は一括。年は内容から推定。	
580		〔添書〕	大伴亜閑	昭和(35)年		墨書	1枚	供物。	年は内容から推定。封筒欠。	
581		御香典カンパ帳	日本社会党芦別支部油谷班	昭和(35)年		ペン	9枚		年は内容から推定。	
582		〔芳名書上〕		昭和(35)年		鉛筆	4枚	生花供物。	582、583は一括。	
583		御届票	虎屋黒川	昭和(35)年10月17日		謄写、活版	1枚	御菓子の御届票。	用命主は佐藤善一郎。582、583は一括。	
584		弔電名簿		昭和35年		ペン、鉛筆	1綴			
585		〔香典〕		昭和(35)年		ペン	1通		年は内容から推定。	
586		Arthur A. Calwell書簡 浅沼享子宛	Arthur A. Calwell	昭和35年10月20日		タイプ、ペン	1通		587、588を同封。	
587		駐留米軍立川倉庫従業員有志書簡 浅沼享子宛カ	駐留米軍立川倉庫従業員有志	昭和35年10月15日		ペン	1通		586に同封。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
588		[カンパ目録]		昭和(35)年		タイプ、ペン	1部		586に同封。587の目録カ。	
589		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		590～601を入れる。「王子電車」、「石井九造」、「戸張泰蔵」などの名あり。	
590		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		589に入る。「秋葉原線路」「石井進」「川田吾助」「豊泉辰雄」などの名あり。	
591		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		589に入る。「日本国有鉄道」の封筒を使用。「桑原尚作」、「関直造」、「神戸喜一」などの名あり。	
592		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		589に入る。「上原昭治」、「宮内敏雄」、「長谷川作次郎」などの名あり。	
593		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		589に入る。「三河島線口班」、「飯島良夫」、「篠崎守」などの名あり。	
594		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		活版、ペン	1枚		589に入る。「松川事件カンパ袋」を使用。「大川勝之進」、「門脇正之」、「鈴木松五郎」などの名あり。	
595		[弔慰金カンパ者氏名一覧]		昭和35年		謄写、鉛筆	2枚		589に入る。「駅報第288号」(昭和35年10月14日、赤羽駅長)の裏面を使用。「大沢」、「広司」、「真行寺」などの名あり。	
596		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン、鉛筆	1枚		589に入る。「尾久技工」の名あり。	
597		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		589に入る。「尾久南部」の名あり。	
598		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン	1枚		589に入る。「上野電車」の名あり。	
599		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン、鉛筆	1枚		589に入る。「添谷」、「岡崎」、「神田」などの名あり。	
600		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		活版、鉛筆	1枚		589に入る。日本国有鉄道封筒使用。「赤羽電車線路班」、「福田忠次」、「長島文作」などの名あり。	
601		[弔慰金カンパ袋]		昭和35年		ペン、鉛筆	1枚		589に入る。「関根正一」、「斎藤啓太郎」、「天野三之助」などの名あり。	
602		弔慰金カンパ袋		昭和35年		ペン、鉛筆	1枚		「姥山順次」、「宮島辰夫」などの名あり。	
603		テロリスト二矢に 一故浅沼委員長に捧ぐー	中野尚治	昭和35年11月4日	日本社会党本部原稿用紙	ペン	8枚		封筒あり。	
1.2.6. 農民運動・労働運動										
604	1	重田忠保書簡	重田忠保	昭和20年12月1日		謄写、墨書	1枚	理事会決定事項通知。	重田の肩書きは東京都町会事務員互助会会長。	
604	2	提案事項		昭和(20)年		謄写	1枚		年は内容から推定。	
605		領収書	桜井英臣、山屋八万雄	昭和21年3月1日		謄写、墨書	1枚		桜井の肩書きは東京都深川区長。山屋の肩書きは深川区復興委員長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
606		[鉄鋼労働通信綴]	日本鉄鋼業経営者連盟	昭和21年5月21日 ～11月11日		活版	1綴	第7号(昭和21年5月21日)、第8・9号(昭和21年6月11日)、第14号(昭和21年8月1日)、第22号(昭和21年10月12日)、第23号(昭和21年11月4日)、第24号(昭和21年11月11日)。		
607		北海道農民大会決議	北海道農村建設連盟	昭和21年カ		活版	1薩		大会は昭和21年7月14日開催。	
608		日本鉱山労働組合本部構成		昭和(21,22)年		謄写	1枚		年は内容から推定。	
609		[レバーファイル]					1冊		610～618を挟む。	
610		建設省設置案大綱	参議院社会党	昭和22年8月9日		活版、鉛筆	1部		609に挟まれる。	
611		住宅問題二関スル卑見・東京都住宅緊急対策私見		昭和(22)年		活版	1綴	「住宅問題二関スル卑見」(作成者不明)、「東京都住宅緊急対策私見」(昭和22年8月12日、宮沢小五郎)。	609に挟まれる。年は「東京都住宅緊急対策私見」のものを探った。	
612		昭和廿二年七・八月秋田県大水害の実相	秋田魁新報社	昭和22年8月13日		活版	1冊		609に挟まれる。	
613		水害対策実施について陳情	早藤八二郎ほか23名	昭和22年8月23日		活版、謄写、青焼	1綴	陳情本文、被害調、土木関係被害調、農耕地関係被害調、水田の被害調、畑作の被害調、桑園の被害調、林務関係被害調、家屋人員被害調など。	609に挟まれる。	
614		同胞の為に御理解ある御援助御協力を懇願す	全国復員引揚促進運動団体総連合本部	昭和22年6月1日		活版	1枚		609に挟まれる。	
615		決算表	有限責任清砂生活協同購買利用組合	昭和22年11月10日		ペン、カーボン	10毎		609に挟まれる。	
616		陳情書(燐寸産業に公団制度実施反対に関する件)	燐寸産業陳情団	昭和22年8月10日		謄写	1綴		609に挟まれる。陳情団の内訳は森一郎(三日月燐寸株式会社)、石坂峯一(日産農林工業株式会社)、藤木尚文(株式会社工業組)、滝川清一(山陽燐寸株式会社)、大西貞三(大西燐寸製造所)、嵯峨山作一(嵯峨山燐寸製造所)、島田増次郎、島田洋三、小島清一(以上3名、燐寸販売業者代表)	
617		荒井儀一書簡	荒井儀一	昭和22年11月20日		謄写、ペン	1枚		609に挟まれる。荒井の肩書きは社会党員、浅沼の肩書きは社会党書記長。	
618		革新仏教連盟建立之提唱	中野憲二	昭和21年6月15日		謄写	1綴		609に挟まれる。中野の肩書きは東京田園調布懐風草堂。	
619		請願書	群馬県	昭和22年12月16日		活版、鉛筆	1冊	カスリーン台風被害の復興のための補助を求める陳情。	609に挟まれる。浅沼による書き込みあり。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
620		民生委員と青年団体婦人団体及び学生連盟等との連絡提携に関する件(写)	原泰一	昭和22年6月21日		謄写	2枚		原の肩書きは財団法人全日本民生委員連盟会長。	
621		石炭公団要綱		昭和22年6月24日		謄写	1綴			
622		[民生委員常務委員長並評議委員会次第]		昭和22年7月1日		謄写	1枚			
623		[要求書断片]	電気工業労働者企業整備対策全国会議	昭和22年8月5日		謄写	1枚			
624		歎願書	伊東義助ほか	昭和22年8月11日		カーボン	7枚	進駐軍用家具生産に関する要望。	625と一括。差出人は伊東義助(特殊家具生産中央協力会常務理事)、中尾伊三郎(東京都特殊家具生産協力会副会長)、館谷三雄(同資材部長)、松本又三郎(神奈川県特殊家具生産協力会理事)、松本茂(京都府特殊家具生産協力会会長)、伊藤久吉(特殊家具生産山形地方協力会常務理事)、吉岡寅久(鳥取県特殊家具生産地方協力会理事)、野辺鶴夫(大分県特殊家具協力会理事)、中村達(新潟県特殊家具協力会代表)。	
625		進駐軍用家具生産の説明要図・廿二年度中生産家具の製品価格見込	伊東(義助)	昭和22年8月11日		ペン	1枚		624と一括。	
626		[1800円基準生計費関係書類綴]	(経済安定本部物価局)	昭和(22)年(8)月(11)日		謄写	9枚	「1800円基準生計費予定表(東京都4.2人世帯)」(昭和22年8月11日、経本物価局)、「1800円基準生計費の収支均衡見込」(昭和22年8月11日、経本物価局)、「1800円基準生計費算定資料」。	「極秘」。作成者、年月日は「1800円基準生計費予定表」のものを使った。	
627		[指定生産資材割当申請書綴]	新潟社会新聞社	昭和22年8月17日		活版、ペン	1綴	「指定生産資材割当申請書」、「新潟社会新聞第3号」(昭和22年8月6日、同一物2部)。		
628		[指定生産資材割当申請書綴]	新潟社会新聞社	昭和22年8月17日		活版、ペン	1綴	「指定生産資材割当申請書綴」、「新潟社会新聞第2号」(昭和22年7月25日、同一物2部)。		
629		貯蓄の重要性に関するメモ		昭和22年8月29日		謄写	1枚			
630		海運再建方式についての意見書	船舶運営会労働組合	昭和23年8月1日		活版	1冊			
631		陳情書		昭和22年9月10日	青森県農業保険組合連合会罫紙	謄写	1綴	「農業保険法改正に関する陳情」、「純保険料と保険金支払との対照」。		
632		[特別教室設置及び教具設備経費に関する募金案内]	淡交会	昭和22年11月15日		謄写	1枚		淡交会は旧制都立第三中学校(現両国高等学校)の同窓会。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
633		東京都民生委員連合会歳入歳出予算		昭和(22)年		謄写	2枚			
634		東京都民生委員連合会昭和二十一年度決算報告		昭和(22)年		謄写	1枚			
635		住宅営団借地借家組合		昭和22年		謄写、活版、メモ	1綴		表紙に「浅沼専用」とある。	
636		[引揚者問題関係綴]	同胞救援議員連盟	昭和22年～昭和23年		謄写	4綴	参考資料(昭和23.6.12、同胞救援議員連盟)、引揚者問題(昭和22年11月、同胞救援議員連盟)、同胞救援議員連盟活動報告(昭和22年4月1日～昭和22年11月17日)、資料附表(昭和22年11月、同胞救援議員連盟)。	くくり紐でくられていたものを解体した。	[くくり紐]
637	1	[決議綴]	第三回日本漁民組合全国大会	昭和23年1月22日		謄写、ペン	1綴		637-1～637-3はクリップで一括。	
637	2	漁業法の民主的改正の件	日本漁民組合	昭和23年1月21日		謄写、鉛筆	1綴		637-1～637-3はクリップで一括。年月日は鉛筆による書込から採った。	
637	3	政府案		昭和(23)年(1)月		謄写	1綴		637-1～637-3はクリップで一括。年月日は一括の資料から推定した。	
638		予算案・収支決算書	日本炭鉱労働組合同盟事務局	昭和23年2月10日		謄写	1枚			
639		[別表]	日本炭鉱労働組合同盟事務局	昭和23年2月10日		謄写	1枚	「第一 12月5日現在資金納入額」、「第二 借入金内訳表」、「第四 日本炭鉱労働組合総連合へ貸与」、「第五 仮払金内訳表」。	日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642の「一八 大会会計報告」に相当か。	
640		炭労 第10号	日本炭鉱労働組合同盟	昭和23年2月14日		活版	1部			
641		加入組合名簿正誤表	(日本炭鉱労働組合同盟)	昭和(23)年(2)月		謄写	1枚		日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642参照。	
642		第三回全国大会配布書類一覧表	(日本炭鉱労働組合同盟)	昭和(23)年(2)月		謄写	1枚		年月は648から採った。作成者は650から採った。	
643		[日本炭鉱労働組合同盟第三回全国大会配布書類綴]	日本炭鉱労働組合同盟	昭和(23)年(2)月		謄写	1綴		日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642記載の書類のうち「三、協定書及付属覚書」から十五「全石炭・連盟間の賃金基本理念」までの綴り。	
644		全国石炭復興会議規約案		昭和(23)年(2)月		謄写	1枚		日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642参照。	
645		炭鉱労働組合組織別一覧	(日本炭鉱労働組合同盟)	昭和(23)年(2)月		謄写	1枚		日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642参照。	
646		加入組合総括一覧表	日本炭鉱労働組合同盟事務局	昭和(23)年(2)月		謄写	1枚		日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642参照。	
647		日本炭鉱労働組合同盟加入組合名簿	日本炭鉱労働組合同盟	昭和(23)年(2)月		謄写	1冊		日本炭鉱労働組合同盟第3回全国大会関係。642参照。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
648		第三回全国大会次第	(日本炭鉱労働組合同盟)	昭和23年2月1日		謄写	1枚		作成者は649から採った。	
649		大会スローガン	(日本炭鉱労働組合同盟)	昭和(23)年(2)月		謄写	1枚		年は648から採った。	
650		軍事国債の利払停止を不可とする提案		昭和23年4月16日		謄写	3枚		国債利払処理問題に関する懇談会の意見を記述したもの。	
651		軍事国債の利払停止を不可とする提案		昭和23年4月16日		謄写	2枚		国債利払処理問題に関する懇談会の意見を記述したもの。	
652		軍事公債利払停止問題処理に関する意見	木村禧八郎	昭和(23)年(4)月		謄写	1枚		年月は内容から推定。706に断片カ。	
653		軍公の利払停止の処理	(浅沼稻次郎)	昭和(23)年(4)月		鉛筆、ペン	1枚		年月は内容から推定。	
654		決議	全国労組公務員法対策委員会ほか	昭和23年11月6日		謄写	1枚			
655		農民運動 第1集	日本農民組合本部編集	昭和23年6月25日		活版	1冊		日本農民組合総本部発行。	
656		[添え状]	船舶運営会労働組合	昭和23年8月10日		活版、墨書、朱肉、	1枚		630の添え状か。浅沼の肩書きは衆議院議員。	
657		中小企業金融対策要項		昭和23年8月11日		謄写	1枚			
658		中小企業庁の運営計画		昭和(戦後)		謄写	1綴			
659		[日本労働組合総同盟第三回全国大会プログラム]		昭和23年10月1日		活版	1部			
660		労働 第104号	日本労働組合総同盟	昭和23年10月8日		活版	1部		第3回全国大会関係。	
661		労働 第105号	日本労働組合総同盟	昭和23年10月15日		活版	1部		第3回全国大会関係。	
662		公共企業体労働関係法反対に関する声明書	日本労働組合総同盟	昭和23年11月12日		謄写	1枚			
663		国家公務員法改正要綱	日本労働組合総同盟	昭和(23)年(11)月		謄写	1枚		年月は654、662から推定。	
664		財団法人日本労働研究所設立発起人名簿		昭和(23)年(11)月		謄写	1枚		年月は内容から推定。	
665		第3回全国大会出席代議員調査票	日本労働組合総同盟調査部	昭和23年10月1日		謄写	1枚			
666	1	全日本海員組合第七回定期大会プログラム		昭和(23)年10月		謄写	1部		年は内容から推定。666-2を挟む。	
666	2	大会スローガン		不明		謄写	1枚		666-2に挟まれる。全日本海員組合第七回定期大会のものか。	
667		全日本海員組合同規約(改正案)	全日本海員組合	昭和23年10月1日		謄写	1冊		668参照。第七回定期大会提出議案。	
668		規約改正案正誤表	(全日本海員組合)	昭和(23)年(10)月		謄写	1枚		667参照。第七回定期大会提出議案の正誤表。作成者は667のものを採った。	
669	1	第四年度運動方針書(案)	全日本海員組合	昭和23年10月1日		謄写	1冊		669-2を挟む。第七回定期大会提出議案。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
669	2	運動方針書正誤表	全日本海員組合	昭和(23)年(10)月		謄写	1枚		669-1に挟まれる。第七回定期大会提出議案の正誤表。	
670		[決議案]	全日本海員組合	昭和23年10月28日		謄写	1綴(2枚)	「国際労働機関(I・L・O)復帰促進に関する決議案」、「国際運輸労働組合連盟(I・T・F)との提携に関する決議案」、「船員に関係ある国際労働条約案及び勧告」、「ILO加盟国一覧」。		
671		船舶運営会所属船員の待遇改善に関する斡旋案	末弘徹太郎、福原敬次	昭和23年10月23日		謄写	1枚		末弘と福原の肩書きは幹旋員。渡辺の肩書きは船舶運営理事長。陰山の肩書きは全日本会員組合組合長。	
672		[裁判官弾劾法改正関係書類綴]		昭和23年		活版、謄写	7部	裁判官弾劾法(昭和22年11月20日、法律第137号)、昭和22年法律第137号裁判官弾劾法の一部を改正する法律案(勸告案)(昭和23年3月衆議)、昭和22年法律第137号裁判官弾劾法の一部を改正する法律案(勸告案)(昭和23年6月25日)、裁判官弾劾法改正条項(昭和23年6月25日衆、法制部)、裁判官弾劾法改正条項(昭和23年7月17日、衆、法制部)。	くくり紐でくられていたものを解体した。	
673		決議	産別会議民主化同盟	昭和(24)年1月30日		謄写	1枚		年は内容から推定。	
674		労働省試案に対する改正意見	日本炭鉱労働組合連合会ほか	昭和24年2月19日		謄写	3枚		提出者は日本炭鉱労働組合連合会、東京無所属労働組合協議会、全国映画演劇労働組合、日本労働組合会議、日本放送労働組合、全日本土建一般企業労働組合、全国土建労働組合同盟、鉄道弘済会労働組合、関東財務職員労働組合、全国貨物労働組合、全日本亜炭産業労働組合連合会、全国旅客自動車従業員九枚連合会、全日本交通運輸労働組合協議会、日本交通公社労働組合、大日本麦酒労働組合連合会、私鉄労働組合総連合会。	
675		要望書		昭和24年3月15日		謄写、活版	1枚		裏面は昭和24年3月2日付『社会週報』第56号第1面。	
676		教育の危機を国民に訴う	日本教職員組合	昭和24年3月19日		活版	1枚			
677		都労連の皆さん！！	東京都高等学校教職員組合	昭和24年3月1日		謄写	1枚			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
678		[書類綴]		昭和24年3月1日		謄写、活版	8枚	「決議」(日本協同組合同盟全国中央委員会、昭和24年3月22日、1枚)、「申入書」(全日本国立医療労働組合中央闘争委員会、昭和24年3月23日、1枚)、「申入書、要望書」(3月23日から25日までの要望書のリストカ、1枚)、「四月一日東京都連主催講和会議促進署名運動応援出動表」(1枚)、「各種委員会再編成に就いて」(3月23日中央執行委員会決定、1枚)、「中小企業再建対策」(日本社会党組合委員会商工部、2枚)、「要望事項」(婦人部、1枚)。		
679		二月計画		昭和(24)年		謄写	1枚		年は内容から推定。	
680		最近に於る共産党の運動について		昭和(24)年		謄写	1枚		年は裏面から採った。裏面は「共産党秘密指令 正員サホ及カン指令」。	
681		地方公務員法修正意見	日本自治団体労働組合総連合	昭和(24,25)年		謄写	1枚			
682		地方財政について	全国自治団体労働組合協議会	昭和27年8月30日		謄写	1冊		第九回全国委員会資料。	
683		自治労連に関する特別報告		昭和(27)年		謄写	1枚		年は旧蔵者メモによった。	
684		一般経過報告(追加)		昭和(27)年		謄写	1冊		第九回全国委員会。	
685		[封筒]		不明			1枚		686~689を入れる。「浅沼」の書込みあり。	
686		沖縄那覇市上水道建設工事に対する補助方に関する陳情	兼次佐一	昭和33年7月14日		活版、青焼き	1綴		685に入る。兼次の肩書きは那覇市長。	
687		那覇市都市計画図	MATAYOSHI	昭和31年7月16日		活版、色鉛筆、ペン	1枚		685に入る。	
688		那覇市に対する戦災都市復興援助方についての陳情書	兼次佐一	昭和33年7月14日		活版、鉛筆	1綴		685に入る。	
689		那覇市戦災復興都市計画事業五ヶ年計画(追加の分)		昭和(33)年		活版	1綴		685に入る。	
690		社団法人民主政治教育連盟定款		昭和(戦後)		活版	1冊			
691		深川方面委員会付議事項(第二回)		昭和		謄写、ペン、鉛筆	1枚		ペン、鉛筆による書き込みあり。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
692		演説参考資料	内田	昭和(戦後)		ペン	10部	「中立論」、「麦飯論」、「金権政治」、「池田経済成長論」、「貿易自由化」、「金融財政政策」、「中小企業と勤人」、「牛乳三合論」、「社会党の方針」、「安保問題」。	封筒あり。	[封筒]
693		規定改正の件		不明		謄写	1枚	民生委員令施行細則中改正の件。		
694		旬報 106号	東京魚商業協同組合	昭和(戦後)		謄写	1冊		695を挟む。	
695		次号予告		昭和(戦後)		謄写	1枚		694に挟み込まれる。	
696		[京王帝都電鉄労組組合員名簿]		昭和(戦後)		ペン	2枚		「浅沼書記長各地応援日程」の裏面を使用。	
697		申入書、決議文、要望書の集約	組合委員会	昭和(戦後)		謄写、活版	1枚		3月18日から3月22日かけてのもの。裏面は昭和24年3月2日付『社会週報』第56号第3面。	
698		[要求書断片カ]	鈴木二郎	昭和(戦後)		謄写、ペン	1枚		年代は内容から推定。鈴木の肩書きは全日本電気工業労働組合代表者。松岡の肩書きは衆議院議長。書込みあり。	
699		戦時災害扶助世帯票		昭和		活版	1枚			
700		主食が遅配又は缺配時における生活扶助費の臨時増額支給に関する特別措置		昭和(戦後)		謄写	5枚			
701		[紹介状用紙]		昭和		謄写	同一物10枚			
702		生活保護法により生活扶助のため支出する費用の基準額引上要領案				謄写	1枚			
703		東京葬祭商工業協同組合支部長一覧表	(東京葬祭商工業協同組合)	不明		謄写	1枚			
704		われわれは逓信省設置法案に反対する!!		昭和(戦後)		謄写	1枚		年は内容から推定。	
705	1	全国正純会趣旨書・正純会規約(案)・正純会組織		昭和(戦後)		ペン	6枚		705-2を入れる。	
705	2	[メモ]		不明		鉛筆	1枚	農業会・農業合作社関係。	705-1に同封される。	
706		[備考]		昭和(戦後)		謄写	1枚		652の断片カ。	
707		鉄道旅客運賃値上げに関する決議案(仮刷)	前田郁ほか四名	昭和(戦後)		謄写	1枚			
1.2.7. 戦後その他										
708		[書類断片]		昭和(22)年		謄写	1枚	接骨医師法案関係意見書の断片。	後欠。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
709		[封筒](江東文化労働会館に関する書類)	浅沼稻次郎	不明		墨書	1枚		710~715を入れる。	
710		産業振興株式会社従業員組合役員		昭和(27)年(5)月		謄写	1枚		709に入る。年月は715から採った。	
711		江東文化労働会館(仮称)会員申込書		昭和(27)年(5)月		謄写	同一物5枚		709に入る。年月は715から採った。	
712		[江東文化労働会館(仮称)建設賛団並賛助者氏名記入用紙]		昭和(27)年(5)月		謄写	同一物2枚		709に入る。年月は715から採った。	
713		江東文化労働会館定款(案)		昭和(27)年(5)月		謄写	1枚		709に入る。年月は714から採った。	
714		江東文化労働会館(仮称)建設図		昭和(27)年(5)月		謄写	同一物2枚		709に入る。年月は715から採った。	
715		江東文化労働会館設立趣旨書	向井鏝一ほか	昭和27年5月1日		謄写	同一物2枚		709に入る。	
716		中国人行方不明に伴い捜索援助方懇請	山本精二郎	昭和35年8月20日		活版	1枚		717とクリップ一括。浅沼の肩書きは日本社会党執行委員会委員長。	
717		中国人行方不明について捜索方懇願	山本精二郎	昭和35年8月18日		活版	1部		716とクリップ一括。	
718		[団体ホテル建設計画書]		昭和(戦後)		タイプ、青焼、ペン	5枚	「[モデルホテル計画表]」(青焼)、「計画団体ホテル」(青焼)、「団体ホテル計画表」(青焼)、「計画表説明」、「団体ホテルの合理化」、「ホテル建設の融資について」、「団体ホテル特別助成法案」。		
719		歳末国民協助週間実施要綱		昭和(戦後)		謄写、鉛筆	1枚			
720		[東京都郵紙]		不明		活版、ペン	1枚		「国土計画口議委員会」「Committee of examination of National resources exploitation plan」の書込みあり。	
721		[書類断片]		昭和(戦後)		謄写	1枚	「報告事項」、「協議事項」など。	前欠。	
1.3. メモ・草稿類										
722		[付箋]		昭和(戦前)		墨書	1枚	「日本外史 上下」、「日本政記」、「大久保利通」、「伊藤博文」、「後藤新平」。	722~725は一括。書籍名カ。年代は内容から推定。	
723		[書籍冊数価格メモ]	[浅沼稻次郎]	昭和(戦前)	社会大衆新聞原稿用紙	ペン	1枚	724の集計カ。	722~725は一括。年代は内容から推定。	
724		[書籍名価格リスト]	[浅沼稻次郎]	昭和(戦前)	翼賛政治会原稿用紙	ペン	12枚	723の細目カ。「我国に於ける農業政策と其批判」「農業政策綱領」「戦時農業政策大系」など。	722~725は一括。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
725		[書籍名価格リスト]	[浅沼稻次郎]	昭和(戦前)	大日本産業報国会中央本部原稿用紙	ペン	2枚	「熊沢蕃山と佐久間象山」、「幕末烈士の遺蹟」、「山鹿素行」、「外交〔政〕家としての大久保利通」、「伊藤博文伝」、「後藤新平伝」など。	722～725は一括。	
726		[社会党政策関係メモ]		昭和(22)年カ	日本社会党本部罫紙	ペン	10枚		年代は内容から推定。	
727		[礼状用紙]		昭和23年		謄写	同一物9枚、1枚		演説に出向いた際に世話になったことに対する礼状。1枚白紙。	
728		[浅沼稻次郎メモ]		昭和(23)年	日本社会党本部原稿用紙	活版	1枚	「書記長補佐 衆2人 菊川 参1人 中村公雄」。	年は一括資料および裏面書込みから推定。	
729		[浅沼稻次郎メモ]	[浅沼稻次郎]	昭和(戦後)	「法律時報」原稿用紙	鉛筆	3枚	社会党関係。「総選挙報告に関する件平の」、「大会決定処理報告」、「民主連盟に関する報告」など。		
730		[名簿下書カ]		不明		ペン	1枚			
731		[演説原稿]	浅沼稻次郎	昭和(23)年	日本社会党本部原稿用紙	ペン	1枚		年は内容から推定。前後欠。新聞切抜の台紙に使用するためのものか。	
732		[浅沼稻次郎原稿]	[浅沼稻次郎]	昭和(戦後)	衆議院速記課罫紙	鉛筆	1枚		断片。議院運営院長時代のものか。	
1.4. 新聞・雑誌類										
1.4.1. 新聞										
733		[新聞切抜綴]				活版	1綴			
734		総額二百四十億		昭和22年5月28日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は組合関係書類を使用。	
735		極左分子の封鎖		昭和22年5月28日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。台紙は党組織人事関係メモを使用。年月は内容から推定。	
736		安定本部の強化を望む		昭和22年5月28日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は演説会ポスター断片を使用。	
737		常任委員会の活用を望む		昭和22年6月4日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
738		衆議院常任委員会 上		昭和22年6月4日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
739		衆、参院常任委員長決る		昭和22年6月4日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
740		衆議院常任委員 下		昭和22年6月5日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
741		[新聞切抜]		昭和22年6月5日		活版	1枚	第一回国会関係。「各派交渉会存続」、「衆院委員会予定決る」、「参院議院運営委員会」、「松平議長きょう常任委員長招集」。	読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
742		[読売新聞切抜]		昭和22年6月6日		活版	1枚	「政務官に存置論」、「片山内閣最初の試金石」、「労働省の準備進む」。	台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
743		参議院常任委員 上		昭和22年6月6日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
744		参議院常任委員 中		昭和22年6月7日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
745		官吏の天降りには妥当か 犠牲の要求と勤労者の立場		昭和22年6月10日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼用箋を使用。	
746		新しい地方政治 公選知事にきく		昭和22年6月10日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は浅沼用箋を使用。	
747		八項目の緊急対策		昭和(22)年(6)月(11)日カ		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。	
748		経済緊急対策発表さる		昭和22年6月12日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。台紙は演説会ポスター断片を使用。	
749		破局防ぐ最後の機会		昭和22年6月12日		活版	1枚	片山首相挨拶要旨。	朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
750		経済緊急対策の意義		昭和22年6月12日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼用箋を使用。	
751		増産、輸出、労働に重点		昭和22年6月12日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。台紙は浅沼用箋を使用。	
752		新たに国土・治安(仮称)両省		昭和22年6月14日		活版	1枚	内務省解体。政府人事。	読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	[政府人事]
753		[新聞切抜]		昭和22年～昭和(23)年		活版	3枚	「桑園保持より目先の食糧」(掲載紙不明、昭和23年カ)、「再建への胎動 最近の地方事情 下」(『読売新聞』昭和22年6月27日)。	切抜2枚は台紙に貼り付けられていたもの。	
754		原毛輸入と羊毛工業界		昭和22年6月17日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
755		千五百億食止めには増税のほかなし		昭和22年6月17日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
756		業種別格差の基準		昭和22年6月17日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
757		農業協組法案の問題		昭和22年6月17日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
758		[新聞切抜]		昭和22年6月18日		活版	1枚	第一回国会関係。「会期延長は国会が決定」、「公務員制改革へ」、「各省の政務官きまる」。	毎日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
759		納得できぬ野菜の統制強化		昭和22年6月18日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
760		官吏の新らしい心構え		昭和22年6月18日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は民主政治教育連盟要綱(案)(謄写)を使用。	
761		失業保険法再開国会に提出		昭和22年6月18日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
762		再建への胎動 最近の地方事情 完		昭和22年6月18日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
763		自由なる労働運動		昭和22年6月19日		活版	1枚	キレン労働課長談。	読売新聞切抜。台紙は演説会ポスター断片を使用。	
764		失業保険と失業対策		昭和22年6月19日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
765		官僚制度の打破		昭和22年6月19日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は生活協同組合関係書類(謄写)を使用。	
766		[読売新聞切抜]		昭和22年6月19日		活版	1枚	物価関係。「小麦石当り千五十二円」、「新物価体系の改定織込む」、「貨客運賃三倍に値上げ」など。	台紙は生活協同組合関係書類を使用。	
767		民間貿易再開と中小工業		昭和22年6月20日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は民主主義政治教育連盟関係書類(謄写)を使用。	
768		英労働党の社会主義実験 上	テイルトマン	昭和22年6月20日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は浅沼用箋を使用。テイルトマンの肩書きはデイリー・ヘラルド特派員。	
769		英労働党の社会主義実験 下	テイルトマン	昭和22年6月21日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は生活協同組合関係書類を使用。テイルトマンの肩書きはデイリー・ヘラルド特派員。	
770		麦・芋の価格は決めたが		昭和22年6月21日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
771		賃金と物価の同時決定		昭和22年6月21日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
772		[読売新聞切抜]		昭和22年6月21日		活版	1枚	「職階制と能率評定評採用」、「『民政省』と改称」。		
773		こうして輸出を振興 ①		昭和22年6月21日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
774		こうして輸出を振興 ②		昭和22年6月22日		活版	1枚		朝日新聞切抜。座談会記事。出席者は今井一(三井物産取締役)、桜田武(日清紡績社長)、豊島久七(綿糸布輸出組合理事長)、永井幸太郎(貿易庁長官)、長崎英造(産業復興団総裁)、浜口雄彦(東京銀行頭取)。	
775		こうして輸出を振興 ③		昭和22年6月23日		活版	1枚		朝日新聞切抜。副題「貿易再開座談会」。台紙は浅沼用箋を使用。	
776		[朝日新聞切抜]		昭和22年6月22日		活版	1枚	「反共で公共の幸福を 自由党大会 政策協定の線で協力」、「社会党新役員」。	台紙は党組織人事メモを使用か。	
777		内務省改組と警察行政		昭和22年6月22日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。711に同一物あり。	
778		政治の明朗化期す		昭和22年6月22日		活版	1枚	「政治の明朗化期す 自由党大会 吉田総裁強調」、「脱皮への苦悩 総務陣に多数新人」。	読売新聞切抜。台紙は党組織人事関係書類を使用か。	
779		各党の内情 社会党		昭和22年6月23日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は党組織人事関係メモを使用。	
780		文化の地方分散		昭和22年6月23日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は党組織人事関係メモを使用。	
781		情実人事を一掃		昭和22年6月23日		活版	1枚	臨時人事院設置の構想。	毎日新聞切抜。台紙は党組織人事関係メモを使用。	
782		経済危機の実態分析		昭和22年6月23日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼用箋を使用。	
783		耕地の集団化を促進		昭和22年6月23日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は浅沼用箋を使用。	
784		運命のヨーロッパ連合	横田喜三郎	昭和22年6月23日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
785		[毎日新聞切抜]		昭和22年6月26日		活版	1枚	「許す限り健全財政」、「蔵相きのう認証式」、「外資導入の促進」、「臨機の修正は賛成」。	台紙は「町内会部落会又はその連合会等に関する解散就職禁止その他の行為の制限に関する件について」(内務省発地第26号、昭和22年5月14日)を使用。	
786		内務省を廃して建設省へ		昭和22年6月26日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
787		[読売新聞切抜]		昭和22年6月26日		活版	1枚	「金融機関再建整備評価基準決る」、「企業整備令など施行令改正」、「東京裁判本年中に完了へ」、「麦・ジャガ芋供出割当終る」、「政府・賛意を表明 給与審議会の暫定賃金」。	台紙は演説会ポスター断片を使用。	
788		内務省を全面解体		昭和22年6月26日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は大日本帝国政府罰紙を使用。	
789		国会に臨む各党		昭和22年6月27日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙も各種団体の統制に関する文書を使用。	
790		衆院規則最後案		昭和22年6月27日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は「町会部落会等に関する解散、就職禁止その他の行為の制限に関する件について」を使用。	
791		政党と官僚	吉村正	昭和22年6月27日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)。	
792		尊敬される国民に還れ		昭和22年6月27日		活版	1枚	ラッセル=ブライズ(AP東京支局長)の談話。	読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
793		中央官庁の出店と地方自治		昭和22年6月27日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
794		実質的解体に傾く		昭和22年6月27日		活版	1枚	内務省機構改革関係。	読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
795		官界刷新と内務省問題		昭和22年6月27日		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙は消費組合関係書類(謄写)を使用。	
796		経済復興に利用		昭和22年6月27日		活版	1枚		台紙は「町内会部落会又はその連合会等に関する解散就職禁止その他の行為の制限に関する件について」(内務省発地第26号、昭和22年5月14日)を使用カ。	
797		追放旋風の跡		昭和22年6月28日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
798		暴力団退治は恒久的に断行せよ		昭和22年6月28日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
799		中央・地方に人事院		昭和22年6月28日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
800		[読売新聞切抜]		昭和22年6月29日		活版	1枚	「全農会長に森田豊寿氏」、「官吏整理行悩み」、「天皇 官公吏は国民の公僕」。	台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
801		国会を無視する実例		昭和22年6月29日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は生活協同組合関係書類を使用。	
802		[読売新聞切抜]		昭和22年6月29日		活版	1枚	「追加予算五百は必至」、「炭鉱国管で社民対立」。	台紙は生活協同組合関係書類を使用。	
803		計画経済の欠陥 上	山下寅蔵	昭和22年6月29日		活版	1枚		読売新聞切抜。新聞切抜。台紙は生活協同組合関係書類を使用。	
804		計画経済の欠陥 中	山下寅蔵	昭和22年6月30日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は浅沼用箋を使用。	
805		[新聞切抜]		昭和22年6月29日		活版	1枚	内務省廃止関係。「内務省廃止さる」、「木村内相は国務相に」。	朝日新聞切抜。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
806		言論界追放の重大意義		昭和22年6月29日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
807		内務省解体に決定		昭和22年6月29日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は生活協同組合関係の文書を使用。	
808		[新聞切抜]		昭和22年6月29日		活版	1枚	対日講話締結に関するマッカーサー発言関係。	読売新聞切抜。台紙は生活協同組合関係の書類を使用。	
809		遅れた社会とその民主化		昭和22年6月30日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼用箋を使用。	
810		労働界の改組必至		昭和22年6月30日		活版	1枚	新・労働法(タフト・ハートレイ法)の解説記事。	読売新聞切抜。台紙は民主主義政治教育連盟関係書類(謄写)を使用。	
811		初の国会を意義あらしめよ		昭和22年6月30日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
812		二十日間の計画遅配		昭和(22)年(6)月(30)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼用箋を使用。年月日は内容から推定。	
813		中央集権制に終止符		昭和22年6月30日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼用箋を使用。	
814		各党の態度		昭和22年6月30日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は浅沼用箋を使用。	
815		一年半で講和調印		昭和(22)年(6)月		活版	1枚	昭和22年6月27日のマッカーサー談話。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。年月は内容から推定。	
816		マーシャル提案 どう具体化する		昭和(22)年(6)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
817		法案審議の中枢機関		昭和(22)年(6)月		活版	1枚	常任委員会の解説。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
818		国管直ちに行わず		昭和(22)年(6)月		活版	1枚	水谷商相会見記事。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。年月は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
819		石炭行政の確立を望む		昭和22年6月1日		活版	1枚		新聞切抜。社説記事。掲載紙不明。台紙は浅沼用箋を使用。	
820		遅配穴埋めに全力		昭和(22)年(6)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。年月は内容から推定。	
821		“先ず食生活の安定”		昭和(22)年(6)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。年月は内容から推定。	
822		公価の改訂と付帯的条件		昭和22年7月1日		活版	1枚		東京新聞切抜。社説記事。	
823		食糧危機突破の道		昭和22年7月9日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は浅沼演説草稿を使用。	
824		統制を最小限度に止めよ		昭和22年7月9日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。社説記事。	
825		米国の減税案と労働法案		昭和22年7月9日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。台紙は浅沼メモを使用。欄名は「国際情勢展望」。	
826		野菜統制撤廃を断行せよ		昭和22年7月10日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は社会党核心会結成関係書類を使用。	
827		経済の実相と今後の施策 下	山田雄三	昭和22年7月10日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は「[数字不明]中学校一覽」を使用。山田は東京産業大学(現 一橋大学)教授。	
828		[朝日新聞切抜]		昭和22年7月10日		活版	1枚	「追加予算に大ナタ」、「健全財政を死守」。	台紙は「抽選方法の参考例」を使用。	
829		食糧と飼料の調整		昭和22年7月10日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は昭和22年6月16日付深川支所管内民生委員宛福満勝男書簡(謄写版)を使用。福満は江東区役所深川支所長。851に同一物あり。	
830		青果物荷受機関増設の問題	鈴木平七	昭和22年7月10日		活版	1枚		読売新聞切抜。鈴木は都議会議員。台紙は[民生思想体系研究科開講案内]の断簡を使用。	
831		追加予算への警鐘		昭和22年7月10日		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼メモを使用。	
832		食糧対策と都市農村の協力		昭和22年7月10日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。社説記事。台紙は抽選方法の参考例を使用。	
833		[読売新聞切抜]		昭和22年7月11日		活版	1枚	「政府、働く者と直結」、「新方針案練り直し」、「予想される六百億の新財源」、「追加予算七百億円以内に」、「来週初から十日間休会」。	台紙は演説草稿を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
834		健全財政方針を貫ぬけ		昭和22年7月11日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は昭和22年5月6日付浅沼稻次郎宛武田良三郎・二瓶哲治書簡(謄写)を使用。	
835		第二回自由討議		昭和(22)年7月(11)日		活版	1枚	昭和22年7月10日の衆議院本会議の記事。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は演説草稿を使用。年日は内容から推定。	
836		[毎日新聞切抜]		昭和22年7月11日		活版	1枚	「政府と国会と重要法案」、「酒、煙草の値上」。	社説記事。台紙は「礼道教学民生思想体系総目次」の断簡を使用。	
837		全炭鉱を国管		昭和(22)年(7)月(12カ)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は協議会案件メモを使用。年月日は内容から推定。	
838		弁当と先生		昭和22年7月12日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
839		非戦災家屋家財に課税		昭和(22)年(7)月(12)日カ		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
840		パリ会議の後		昭和22年7月13日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は「扇橋地区委員会開催について」を使用。	
841		炭鉱国管 政府・各政党案の比較		昭和22年7月13日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
842		炭鉱国管・社会党案成る		昭和22年7月16日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は清砂町会人名録を使用。	
843		内閣は所信に直進せよ		昭和22年7月16日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は住所メモを使用。	
844		新生活国民運動を語る座談会(二)		昭和22年7月16日		活版	1枚	出席者はラッセル・プライズ(AP東京支局長)、森戸辰男(文部大臣)、帆足計(経済復興会議幹事長)、松岡洋子(婦人民主クラブ委員長)、吉野宗久(国鉄労組副委員長)、江木武彦(社会党文化部次長)、【本社】竹内編集局次長、竹崎社会部次長。	読売新聞切抜。年は裏面の記事内容から推定。台紙は第三回日本漁民組合全国大会決議(昭和23年1月22日)を使用。	
845		[朝日新聞切抜]		昭和22年7月18日		活版	1枚	「麦、じゃが芋特別買入 超過供出に報奨金」、「硫安トン八千円」。	台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
846		対日講和条約の予備会議		昭和22年7月18日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は7月16日付渋谷徳雄宛浅沼稻次郎書簡草稿を使用。	
847		野菜類は何故入荷しないか		昭和22年7月22日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は衆議院罨紙を使用。	
848		裁判官弾劾法案成る		昭和22年7月25日		活版	1枚	裁判官弾劾法案内容の紹介。	読売新聞切抜。	
849		天皇・大臣も“公ぼく”		昭和22年6月28日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
850		[新聞切抜]		昭和22年7月30日		活版	1枚	「国管問題くすぶる民主党」(『読売新聞』昭和22年7月30日)、「いぶる石炭問題」(『朝日新聞』昭和22年7月30日)。	台紙は演説速記録原稿(衆議院速記課罫紙)を使用。	
851		[朝日新聞切抜]		昭和22年7月1日		活版	1枚	「健全財政を断固まもれ」(『朝日新聞』昭和22年7月12日)、「食糧と飼料の調整」(『朝日新聞』昭和22年7月10日社説)。	「食糧と飼料の調整」は829に同一物あり。	
852		七品目に新価格		昭和(22)年(7)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
853		[朝日新聞切抜]		昭和22年7月1日		活版	1枚	「まだ握れぬコツ」(『朝日新聞』昭和22年7月10日)、「『供出制度』変えよ」(『朝日新聞』昭和22年7月12日)。	台紙は「平和塔憲政の趣旨と方法」を使用。	
854		[新聞切抜]		昭和22年7月1日		活版	1枚	「八十四名の新しい職業」(『朝日新聞』昭和22年7月17日)、「官界刷新と行政整理の急務」(『読売新聞』昭和22年7月15日)。	台紙は「片山内閣経済緊急対策」の記事を使用。	
855		麦一俵に酒五合早期供出		昭和(22)年(7)月		活版	1枚		掲載紙不明。台紙は炭鉱国家管理関係書類。年月は内容より推定。	
856		統制団体に鉄槌		昭和(22)年(7カ)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「生活協同組合法案」(日本協同組合同盟)を使用。	
857		低調な“雄弁会”		昭和(22)年(7)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は演説原稿を使用。年月は内容から推定。	
858		新供出対策の輪郭		昭和22年8月1日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼メモ(衆議院罫紙)を使用。	
859		フラフラ腰に躍起 “経本内閣”脱皮を あせる社会党		昭和22年8月2日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は演説草稿(衆議院速記課罫紙)を使用。	
860		財源関係で纏らず		昭和22年8月2日		活版	1枚		時事新報切抜。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
861		露伴翁の死と東洋文化		昭和22年8月4日		活版	1枚		朝日新聞切抜。「炭鉱の民主的國家管理案大綱」の表紙(謄写版)を使用。	
862		『経済力の集中』排除		昭和22年8月4日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は炭鉱國家管理関係書類を使用。	
863		絶対不足なお十七日分		昭和22年8月4日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は炭鉱國家管理関係書類を使用。	
864		物交貿易と平価切下げ	勝田貞次	昭和22年8月4日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は炭鉱國家管理関係書類を使用。	
865		改正民法と家の観念		昭和(22)年(8)月(4)日		活版	1枚		年月日は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
866		国管尚早論		昭和(22)年(8)月(4)日		活版	1枚		社説記事。台紙は社会党の石炭国家管理案草案書類を使用。年月日は内容から推定。	
867		[新聞切抜]		昭和22年8月5日		活版	1枚	占領期経済関係。「聞流しの自由討論」、「民主党国管案きまる」(ともに『朝日新聞』昭和22年8月5日)。	台紙は「組合報告」を使用。	
868		東北御巡幸		昭和(22)年(8)月(5)日		活版	1枚		社説記事。年月日は内容から推定。	
869		船舶公団と業者の関係		昭和22年8月5日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
870		石炭国管民主党案成る		昭和22年8月(5)日		活版	1枚		東京タイムズ切抜。台紙は浅沼メモを使用。日は内容から推定。	与党三派協議
871		乗切れるか英空前の危機	サムナー・ウェルズ	昭和22年8月6日		活版	1枚		読売新聞切抜。サムナーは元アメリカ国務次官。台紙は炭鉱国家管理関係書類を使用。	
872		半休強行に反対する		昭和22年8月6日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は「組合報告」第1号(昭和22年8月1日)。	
873		商相へ糾弾の矢		昭和22年8月6日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
874		国管・政府案強行か		昭和22年8月6日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は「組合報告」第1号(昭和22年8月1日)を使用。	
875		炭鉱国管で増炭できるか		昭和22年8月7日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
876		貿易再開とわが産業の反省		昭和22年8月7日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
877		[新聞切抜]		昭和22年8月7日		活版	1枚	燃料危機関係。「この冬には深刻な燃料飢饉が来ます」、「三者三様」。	東京タイムズ切抜。台紙は書簡草稿を使用。	
878		セチ辛い世相を反映		昭和22年8月7日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
879		[新聞切抜]		昭和22年8月7日		活版	1枚	石炭国管関係、食糧・電力供給関係。「国管問題妥結さらに延引」(『東京タイムズ』昭和22年8月7日)、「足並揃わぬ与党 不人気なお魚値上げ案公聴会」(『読売新聞』昭和22年8月7日)。		
880		[読売新聞切抜]		昭和22年8月7日		活版	1枚	石炭国管関係。「国管案三党首間で折衝か 政調会談社民の意見全く対立」、「出身閣僚自党へ了解工作」。		
881		[新聞切抜]		昭和22年8月7日		活版	1枚	石炭国管関係。「『国管』に意見一致 与党三派で調整に努力」、「石炭増産達成の道 リーダー課長談」。	朝日新聞切抜。台紙は選挙法に関する代議士会順序のメモ。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
882		[東京タイムズ切抜]		昭和22年8月8日		活版	1枚	食糧供給問題関係。	台紙は国会審議関係の書類を使用。	
883		[新聞切抜]		昭和(22)年(8)月		活版	1枚	「食糧配給操作を改善せよ」、「議員、議するを好まず」。	掲載紙不明。台紙は労働組合機関紙断片を使用。年月は内容から推定。	
884		社会党に怪文書		昭和(22)年(8)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
885		[新聞切抜]		昭和(22)年(8)月		活版	1枚	「経営の規模を適正化」、「国会再延長要請か」。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。年月は内容から推定。	
886		[新聞切抜]		昭和(22)年(8)月	衆議院速記課罫紙	活版、ペン	1枚	「ホツとした水谷商相」(『朝日新聞』昭和22年8月8日)、「付帯決議」	裏面に「司法委員会は本日一時から開会」とあり。衆議院速記課罫紙に貼り付けられたもの。浅沼自身による書き込みあり。年月は内容より推定。	
887		朝鮮独立への途		昭和22年8月1日		活版	1枚		掲載紙不明。台紙は炭鉱国家管理関係の「機構図解」(謄写版)を使用。年月は裏面記事から推定。	
888		国民自身で別出せよ		昭和(22)年(8)月		活版	1枚		掲載紙不明。台紙は炭鉱国家管理関係書類を使用。年月は裏面記事から推定。	
889		[新聞切抜]		昭和22年8月1日		活版	1枚	占領期経済関係。「火災の防止と消防の充実」(『朝日新聞』昭和22年8月6日)、「再び炭鉱国管問題について」(『読売新聞』昭和22年8月5日)。		
890		[朝日新聞切抜]		昭和22年8月1日		活版	1枚	石炭国家管理案国会審議関係。「純理論ついに押切る まとまった民主党の『国管案』」(『朝日新聞』昭和22年8月6日)、「もみ抜く炭鉱国管案 民主党のモツレ表面化」(『朝日新聞』昭和22年8月3日)。	朝日新聞切抜。	
891		政策転換の方向と官僚統制		昭和22年11月4日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
892		賃金体系では閣内対立なし		昭和(22)年(11)月(7)日		活版	1枚	衆議院本会議の議事報道。	新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
893		燃料対策の是正		昭和22年11月11日		活版	1枚		東京タイムズ切抜。社説記事。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
894		速かに電力政策を確立せよ		昭和22年11月12日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
895		[新聞切抜]		昭和(22)年(11)月(18カ)日		活版	1枚	農相後任問題。「農相問題・暗礁に乗りあぐ、民主国協両党野溝氏に反対」、「民主党正式申入れ」。	掲載紙不明。社説記事。年月日は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」を使用。	
896		[新聞切抜]		昭和22年11月18日		活版	1枚	第一回国会関係。「国管案の解決焦る」、「勧告きかねば除名」、「幣原派、構想の決意」など。	朝日新聞切抜。	
897		[朝日新聞切抜]		昭和(22)年11月19日		活版	1枚	「政府、危機打開に自信」、「国管案はまとまる」、「施行期日四月一日か」。	年は内容から推定。台紙は片山内閣を批判した内容の意見書を使用。	
898		[読売新聞切抜]		昭和22年11月19日		活版	1枚	石炭国管関係。「石炭国管・漸く軌道にのる」、「除名は不可避か」、「野溝氏案捨てず」、「総裁自ら党則を説く」。	台紙は「労働省設置法案修正理由」を使用。	
899		[朝日新聞切抜]		昭和(22)年(11)月(21)日		活版	1枚	第一回国会関係。	年月日は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」を使用。	
900		[新聞切抜]		昭和22年11月21日		活版	1枚	石炭国管関係。「石炭国管ついに正面衝突」。	読売新聞切抜。台紙は「労働省設置法案修正理由」を使用。	
901		[読売新聞切抜]		昭和22年11月23日		活版	1枚	石炭国管関係。「救国新党について」(社説)、「強引に国管中間報告」、「二日越し揉み合う」。		
902		[新聞切抜綴]		昭和22年11月23日		活版	2枚	石炭国管関係。「委員長が中間報告」、「委員会の審議不能」、「衆院三日間の乱闘」、「異常心理」の議場」(国会記者席)、「芦田幣原両派ついに正面衝突」(以上『朝日新聞』)、「常識の彼方・遥かに千里」(『読売新聞』昭和22年11月23日)。	年は内容から推定。	
903		結束を望む		昭和(22)年(11)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。年は内容から推定。	
904		米大統領重大声明		昭和(22)年(11)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
905		米国物価対策の世界的意義		昭和(22)年(11)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。年月は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
906		政界を大掃除すべし		昭和(22)年(12)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。	
907		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	「衆議院本会議」、「法相、告訴」、「越冬資金1ヶ月分」、「現内閣は反労働者の」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
908		芦田総裁強気の心境		昭和(22)年		活版	1枚		朝日新聞切抜。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
909		[毎日新聞切抜]		昭和(22)年		活版。	1枚	「自由討議のあり方」、「世耕問題を究明せよ」。	社説記事。	
910		煙幕としての白書		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は議院運営委員会用浅沼稻次郎原稿を使用。	
911		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	石炭国管関係。「労資、国家一体化」、「民主党 最終案を急ぐ」、「自由党反対を決議」。	掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
912		政治の貧困を突く		昭和(22)年		活版	1枚		東京タイムズ切抜。社説記事。年は内容から推定。台紙は「附帯決議」を使用。	
913		十時間労働		昭和(22)年		活版	1枚		東京タイムズ切抜。社説記事。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
914		社会、国協両党承認		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
915		六三制の実情と民主教育		昭和(22)年		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
916		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	「自由党・新党へ乗出す」、「国協へ合流」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	
917		自由党の一進歩		昭和(22)年		活版	1枚		台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。	労働省設置法案修正理由(断片)
918		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	石炭国管関係。	掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
919		裁判所問題について		昭和22年		活版	1枚		読売新聞切抜。丁野暁春(最高裁判所判事代行)による読者欄への投稿。台紙は引揚証明に関するメモを使用。	
920		石炭国管の急所		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼用箋を使用。年は内容から推定。	
921		保険・手当の二段構え		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
922		[毎日新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	石炭国管関係。「民主党内紛頂点へ」、「反対委員を除名か」、「新党参加は二、三名か」。	年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
923		明年の生活設計案		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	
924		特別市制と住民投票		昭和22年		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は国民大会ポスター断片を使用。	
925		特別報奨金実施は物価体系の破綻		昭和22年		活版	1枚		掲載紙不明。台紙は「炭鉱の民主的国家管理案大綱」の表紙(謄写版)を使用。	
926		危ぶまる妥結		昭和22年		活版	1枚	他に「鉄道の赤字卅三億」、「ワク二百億か」。	新聞切抜。台紙は炭鉱国家管理関係書類を使用。年は内容より推定。	
927		[公職適否資格審査委員会審査日程]		昭和(22)年		活版	1枚	「中央公職適否資格審査委員会」、「都道府県公職適否資格審査委員会」、「市公職適否資格審査委員会」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は組合規約関係の書類を使用。	
928		与党一致で進め		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。西尾末広内閣官房長官談話。	
929		“左派”の危機突破策		昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は旧蔵者メモから推定。	
930		新国会の運営と議案の審議 中	大池眞	昭和(22)年		活版	2枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は演説原稿を使用。年は内容から推定。	
931		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	「戦線統一工作 総同盟、産別に申入れ」、「余禄」(『毎日新聞』)。	台紙は演説原稿を使用。年は内容から推定。	
932		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	1枚	石炭国管関係。	掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
933		石炭問題と新政治方式	松方義三郎	昭和(22)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼用箋を使用。年は内容から推定。	
934		[新聞切抜]		昭和(22,23)年		活版	1枚	「再び鉄道、通信料値上に反対」(昭和23年)、「社会党左派の持つ議席」(昭和22年)。	社説記事。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	
935		[新聞切抜]		昭和(22)年		活版	3枚	「時間的ずれをどう調整するか」(『東京新聞』昭和22年7月22日)、「年産十万吨以上」(掲載紙不明、昭和22年)。	台紙は「片山内閣経済緊急対策」の記事を使用。年は内容から推定。	
936		[新聞切抜]		昭和(22,23)年		活版	1枚	「英の経済危機緊急対策」、「在外兵力廿万引揚げ」、「米、経済援助か」、「政府全権付与法案」。	掲載紙不明。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
937		[新聞切抜]		昭和(22,23)年		活版	1枚	「第二次経済白書に望む」(昭和23年)、「政府、左派の面子問題」(『朝日新聞』、昭和22年)。	年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	
938		英国の経済危機対策		昭和(22,23)年		活版	1枚		台紙は「炭鉱の民主的国家管理案大綱」表紙を使用。	
939		一体自信があるのか		昭和23年2月7日		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
940		政局をどうすべきか		昭和(23)年(2)月(8)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
941		裏面の政権取引を排す		昭和23年2月8日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	
942		政局如何に收拾さるべきか 下		昭和23年2月9日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
943		片山首相に残された道	岩淵辰雄	昭和23年2月9日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
944		筋を通すべきだ		昭和23年2月9日		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。	
945		片山首相辞表を提出		昭和(23)年(2)月(10)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年月日は内容から推定。	
946		次期政権へ各党の主張		昭和23年2月10日		活版	1枚		読売新聞切抜。	
947		まず運営委員会に付議		昭和(23)年(2)月10日		活版	1枚	片山内閣後継内閣問題。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
948		政局の收拾を急げ		昭和23年2月10日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
949		社会党の今昔	馬場恒吾	昭和23年2月10日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
950		明るい先例をつくれ		昭和23年2月10日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
951		片山内閣遂に総辞職		昭和(23)年(2)月(10)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は「常任委員会に寄す」を使用。	
952		天声人語		昭和23年2月10日		活版	1枚	冒頭部分「片山内閣も国民には期待はずれだったが、ともかくご苦勞様だった」。	朝日新聞切抜。台紙は「労働省設置法案修正理由」を使用。	
953		[朝日新聞切抜]		昭和23年2月11日		活版	1枚	「あす四党首会談」、「方法は議長一任」、「決定は国会の手で」、「既定方針で進む」、「四党連立の含み」、「党内事情の責任をとる」、「左右妥協に希望」、「○. 八支給方法に应急措置」。		

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
954		民主化へ第一歩		昭和23年2月11日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
955		松岡議長、意見を聴取		昭和23年2月11日		活版	1枚		東京新聞切抜。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
956		責任政治の本道を歩め		昭和23年2月11日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
957		[東京新聞切抜]		昭和23年2月11日		活版	1枚	片山内閣総辞職関係。「党内事情の悩み増大」、「問題処理は国会で」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
958		キーナン検事の論告を読む		昭和(23)年(2)月(12)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月日は内容から推定。台紙は要求書断片を使用。	
959		[新聞切抜]		昭和23年2月13日		活版	1枚	後継内閣問題。「幹事長会談を続開」、「小会派も参加」、「各党幹事長語る」、「再指名は考えず」、「鈴木氏(予算委員長)辞意を表明」ほか。	毎日新聞切抜。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
960		万年与党亡者の策動を排す		昭和23年2月13日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
961		首班は自由党へ		昭和(23)年(2)月(13)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
962		[新聞切抜]		昭和23年2月13日		活版	1枚	四党首会談関係。「民主党、足並乱る」、「第一野党に首班」、「三党、構想を披瀝」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
963		[新聞切抜]		昭和(23)年(2)月(13)日		活版	1枚	片山内閣総辞職関係。「社党左右歩み寄る」、「小会派代表きまる」、「芦田首班”説難航」、「国協党態度きょうに持越し」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。	
964		自由党の拒否権発動		昭和23年2月13日		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
965		[毎日新聞切抜]		昭和23年2月13日		活版	1枚	後継内閣問題。「緑風会・吉田氏を推す」、「首班は在野第一党へ」、「政権は自由党に譲れ」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
966		すっきりしない各党		昭和23年2月15日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
967		国立国会図書館に望む		昭和23年2月18日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。	
968		天皇陛下の地方巡幸費		昭和23年2月22日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「労働省設置法案修正理由」断簡を使用。	
969		党は割りたくない		昭和23年2月23日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
970		〔毎日新聞切抜〕		昭和23年2月24日		活版	1枚	「政策協定で難航か」、「自、野党を宣言」、「左派自己批判の段階へ」。	台紙は「労働省設置法案修正理由」断簡を使用。	
971		政策協定と当面の課題		昭和23年2月26日		活版	1枚		日本経済新聞切抜。社説記事。	
972		〔読売新聞切抜〕		昭和23年2月26日		活版	1枚	「政策協定論議の焦点」、「インフレニヶ月の教訓」。	「インフレニヶ月の教訓」は社説記事。	
973		産別「民主化」同盟批判 下	正木新	昭和(23)年(2)月(26)日		活版	1枚		年は前後の資料から推定。月日は記事内容から推定。	
974		〔日本経済新聞切抜〕		昭和23年2月26日		活版	1枚	「組閣は順調に進展」、「配電の府県経営考慮」、「文教費に優先的措置」。		
975		〔読売新聞切抜〕		昭和23年2月26日		活版	1枚	「左派・入閣で対立」、「重ねて政治休戦提唱」。		
976		〔朝日新聞切抜〕		昭和23年2月27日		活版	1枚	芦田内閣組閣関係。「政策協定・大勢は一致」、「きょうも調整続行」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
977		両院協議会とその後の手続		昭和23年2月1日		活版	1枚	片山内閣後継内閣問題。	新聞切抜。掲載紙不明。	
978		国会がえぐる不当財産		昭和(23)年(2)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。年月は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	
979		〔新聞切抜〕		昭和(23)年(2)月		活版	2枚	「憲政常道論有力化す」、「自由党保守連合を示唆」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「企業再建整備法について意見」(断片)を使用。	
980		〔新聞切抜〕		昭和(23)年(2)月		活版	1枚	「自由党四党首会谈拒否」、「せめて幹事長会談」、「社民再連立に反対論」など。	掲載紙不明。年月は内容から推定。	
981		総辞職とともに解散を		昭和(23)年(2)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。	
982		芦田首班と共産党の任務		昭和(23)年(2)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は名簿断簡を使用。年月は内容から推定。	
983		〔新聞切抜〕		昭和(23)年(2)月		活版	1枚	「左右遂に全面衝突 値上げ政府案採決」、「気がもめる“三党卵”」、「否決後の前後措置」。	掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「陳情書」断片を使用。	
984		きょうは両院協議会		昭和(23)年(2)月		活版	1枚	片山内閣後継内閣関係。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
985		〔毎日新聞切抜〕		昭和23年2月1日		活版	1枚	後継内閣関係。「四党連立を主張」、「保守政権に反対」、「暫定予算を編成」、「運委に指名権なし」、「民主社会の十原則」。		

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
986		三すくみで停滞		昭和(23)年(2)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
987		衆議院議長の政治運動		昭和(23)年(2)月		活版	1枚		新聞切抜。社説記事。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
988		[新聞切抜]		昭和23年2月1日		活版	2枚	片山内閣総辞職関係。「物いう各党の勢力」(昭和23年2月)、「閣議の経過を発表」(『読売新聞』昭和23年2月10日)。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
989		政策協定とは何か		昭和23年2月1日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
990		[新聞切抜]		昭和23年2月1日		活版	1枚	「総辞職の意味するもの」(『朝日新聞』昭和23年2月11日)、「追加予算の解決策」(『毎日新聞』昭和23年2月6日)。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
991		[朝日新聞切抜]		昭和23年3月2日		活版	1枚	芦田内閣組閣関係。「実をとる社会党」、「軍事公債など討議」、「入閣の用意」。		
992		事前割当と供出の民主化		昭和23年3月2日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
993		観光国策の確立を急げ		昭和23年3月7日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙には浅沼稻次郎の原稿(日本社会党原稿用紙)を使用。	
994		[朝日新聞切抜]		昭和(23)年(2)月(9)日		活版	1枚	「首相総辞職決意まで」、「両派会談物別れ」。	年月日は内容から推定。	
995		全通ストをどうみるか		昭和23年3月14日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
996		問題は実践にある		昭和23年3月21日		活版、ペン	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙には浅沼稻次郎の原稿(日本社会党原稿用紙)を使用。	
997		全通ストと最低賃金制	鍋山貞親	昭和23年3月22日		活版、ペン	2枚		読売新聞切抜。台紙には浅沼稻次郎の原稿(日本社会党原稿用紙)を使用。	
998		衆参両院質問戦に入る		昭和23年3月23日		活版	2枚		東京新聞切抜。台紙は日本農民組合関係書類を使用。	
999		七億六千五百万ドル 米新予算面に出る対日援助費		昭和23年3月23日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1000		対日援助有利な展開へ		昭和23年3月23日		活版、ペン	1枚		毎日新聞切抜。台紙には浅沼稻次郎の原稿(日本社会党原稿用紙)を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1001		「狭き門」を広くする途		昭和23年3月23日		活版、ペン	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙には浅沼稻次郎のメモ(日本社会党原稿用紙)を使用。	
1002		「狭き門」を広くする途		昭和23年3月23日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1003		〔朝日新聞切抜〕		昭和(23)年(3)月(30)日		活版	1枚	「全通の全国スト中止」、「ニース禁止令に該当」、「政府の処置に一任」、「他官庁にも適切措置」、「地域ストも不可」、「土橋氏、重要提案」。	年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1004		どうして円満に解決するか		昭和23年3月31日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1005		緑化運動と植林の急務		昭和(23)年(3)月カ		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1006		大学制度の改革		昭和(23)年(3)月		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1007		“きのうの友”が政府攻撃		昭和(23)年(3)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1008		速やかに解散せよ		昭和(23)年(3)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1009		民主自由党の危険性		昭和(23)年(3)月		活版	2枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1010		取残されたドン・キホーテ		昭和(23)年(3)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本農民組合声明書(昭和23年3月1日)を使用。	
1011		四月分暫定予算通る		昭和(23)年(3)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1012		〔新聞切抜〕		昭和(23)年(3)月		活版	1枚	「国会も批判的」、「全財四氏を懲戒免官」、「軍の指令に違反」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1013		〔新聞切抜〕		昭和(23)年(3)月		活版	1枚	「スト・外資導入に影響」、「暫定予算案成立」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1014		“辛い立場”加藤労相		昭和(23)年(3)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1015		新税は悪税なり		昭和(23)年4月1日		活版	1枚		産経新聞切抜。社説記事。年は内容から推定。月日は書き込みのものをつた。台紙は「日本社会党本部原稿用紙」を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1016		[朝日新聞切抜]		昭和(23)年(4)月カ		活版	1枚	「貿易の制限解除へ」、「主食・二合八勺に」、「対日援助四年は継続」、「海外留学も可能」、「残置の鉄鋼工場」、「米、軍需工業能力の調査開始」。	年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1017		石炭ストを解決せよ		昭和(23)年(4)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1018		新制高校の発足に望む		昭和(23)年(4)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。年月は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1019		[新聞切抜]		昭和(23)年(4)月		活版	1枚	「地域的ストも不可」、「全官公スト大詰へ」、「小委員会試案」、「『賜暇』の解釈で対立」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「化粧品生産工業に対する物品税の逓減及賦課徴収方法等改善に関する請願」断簡カを使用。	
1020		自助精神の確立が急務		昭和23年4月1日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1021		インフレ抑止に好機を逃すな		昭和(23)年(4)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「化粧品生産工業に対する物品税の逓減及賦課徴収方法等改善に関する請願」断簡を使用。	
1022		一步も出ぬ反共の線		昭和23年6月17日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1023		輿論新聞 第7号	日本国民参政会	昭和23年6月25日		活版、ペン	1部			
1024		官吏の生活を改善せよ		昭和23年7月14日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1025		教委法と地方民の自覚		昭和23年7月15日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1026		公務員制度改革は急務		昭和23年7月23日		活版	1枚		東京新聞切抜。	
1027		[朝日新聞切抜]		昭和23年7月24日		活版	1枚	「職員の争議認めず」、「書簡全文」。		
1028		官業非能率の実態		昭和23年7月27日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。台紙は「日本社会党本部書記局員名簿」断片を使用。	
1029		[東京新聞切抜]		昭和(23)年(7)月(28)日		活版	1枚	「ポツダム政令を公布」、「人事委に勧告か」。	年月日は内容から推定。台紙は「日本社会党本部書記局員名簿」断片を使用。	
1030		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月(28)日		活版	1枚	「マ元帥書簡は命令」、「訓令か政令か」、「臨時国会までに具体案」。	掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は「日本社会党本部書記局員名簿」断片を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1031		マ元帥書簡に対処する途		昭和23年7月31日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
1032		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「〃団体交渉権失わる〃」、「現業機構改革は臨時国会後」、「首相強引居残り決意」、「芦田・片山会談延期か」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は「日本社会党本部書記局員名簿」断片を使用。	
1033		公務員法改正とマ元帥勸告		昭和(23)年(7)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は衆議院野紙を使用。	
1034		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「マ元帥の書簡を含味せよ」、「中道工作に寄す」。	掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は衆議院野紙を使用。	
1035		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「公務員法かく改正」、「国会直属の人事院へ」、「鉄道は公団化」、「郵便通信公聴へ」、「専売関係も公団化へ」、「調停再検討」。	掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1036		公務員法の改正 政府・原案検討へ		昭和(23)年(7)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1037		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「官僚制の即時改革」、「給与調査機関を設置」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1038		公務員法改正の経済的側面		昭和(23)年(7)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1039		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「中労委調停打切り」、「産別民主化同盟声明」。	掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1040		政党と資金		昭和23年(7)月		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1041		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	国家公務員法改正関係。「制限つきで交渉権」、「団結権の承認など 社党から要求の三点」、「人事院に最大権限」。	新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「院内秩序維持に関する陳情」(断片)を使用。	
1042		全通の極左主義を排す		昭和23年7月1日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。	
1043		[朝日新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	国家公務員法改正関係。「効力は直ちに発生」、「機構改革今週中に結論へ」、「中労委の調停は自然消滅か」、「公務員法の改正範囲が問題」、「閣内で闘う 社会党の態度浅沼氏が言明」。	年月は内容から推定。台紙は〔会社定款〕(断片)を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1044		[社説切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「臨時国会問題の主題」、「非現業のサボ」。	東京新聞切抜。社説記事。年月は内容から推定。台紙は「浅沼稻次郎原稿」を使用。	
1045		[新聞切抜]		昭和(23)年(7)月		活版	1枚	「改正法の限度に懸る」、「国鉄労組中闘委開く」。	掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「日本社会党本部書記局員名簿」断片を使用。	
1046		危機から平和へ		昭和23年8月5日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
1047		ポツダム宣言		昭和(23)年(8)月(14)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。	
1048		片山氏の政局談を評す		昭和23年8月14日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
1049		Nippon Times Monthly JOURNAL OF FINANCE AND COMMERCE VOL.1, No.1	NIPPON TIMES	昭和23年8月15日		活版	1部			
1050		再検討を要する通貨処理案		昭和23年8月16日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
1051		憲法改正通常国会に提案か		昭和(23)年(8)月(12)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は日本協同組合同盟「昭和二十三年度収支予算書(案)」断片を使用。	
1052		[新聞切抜]		昭和(23)年(8)月		活版	1枚	「“大阪条例”の延期指令」、「『地方条例』の疑義」。	新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は「株式会社『日本社会出版社』定款」(断片)を使用。	
1053		河川の現状を重視せよ		昭和23年9月11日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。	
1054		国民の福祉が優先		昭和23年9月15日		活版	1枚		朝日新聞切抜。	
1055		ソ連の軍備強化に酷使		昭和(23)年(9)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1056		労組執行機関の責任		昭和(23)年(9)月		活版	1枚		掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は「展覧会関係書類」を使用。台紙は「展覧会関係書類」を使用。	
1057		脱税・滞納の絶滅を期せ		昭和23年9月1日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。	
1058		国家公務員法の改正		昭和(23)年(9)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は「標語募集要項」を使用。	
1059		[毎日新聞切抜]		昭和23年11月17日		活版	1枚	「解散・今月末がヤマ」、「首相の言動は違憲」、「追加予算必ず提案」、「年内断行は無理」、「三割の人員整理」、衆議院本会議、参議院本会議。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1060		[時事新報切抜]		昭和23年11月17日		活版	1枚	「一步退き機を狙う」、「新給与今国会提出」、「尾崎氏・緊急質問」、「災害予算要求決議案を可決」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1061		首相の日本語問答		昭和(23)年(11)月(17)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1062		[読売新聞切抜]		昭和23年11月18日		活版	1枚	衆議院本会議、参議院本会議、「総裁代行機関置かず」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1063		政府、黒星つき		昭和(23)年(11)月(19)日		活版	1枚		朝日新聞切抜。年月日は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1064		[新聞切抜]		昭和(23)年(11)月(19)日		活版	1枚	「憲法運営の道発見は日本人自らの責任」、「全面に悲観的材料」、「解散には確信 首相、役員会で言明」、「廿五、六日頃施政演説」、衆議院本会議ほか。	掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1065		[新聞切抜]		昭和(23)年(11)月		活版	1枚	「国協、農民、社革新党へ活発化」、「民主・和戦の構え」、「内閣不信任案の提出」、「民自党、事態静観」。	掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1066		[朝日新聞切抜]		昭和(23)年(11)月		活版	1枚		年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1067		[新聞切抜]		昭和(23)年(11)月		活版	1枚	「解散権の議論沸騰」、「行政整理は非現実的」、衆議院本会議、参議院本会議。	掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1068		首相の言動は違憲		昭和(23)年(11)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1069		炭鉱罷業対策と融資停止		昭和(23)年(11)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1070		三原則をめぐる賃金政策		昭和(23)年(11)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1071		統制整理に絶好の機会		昭和(23)年(11)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1072		失敗の“職場離脱”		昭和(23)年()月(15)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月日は内容から推定。	
1073		再び全官公労の提訴について		昭和(23)年()月(16)日		活版	1枚		東京新聞切抜。社説記事。年月日は内容から推定。台紙は[会社定款](断片)を使用。	
1074		三度「片山内閣について」		昭和(23)年()月26日		活版	1枚	世論調査。	毎日新聞切抜。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1075		[放送討論会案内]		昭和(23)年		活版	1枚	討論題目「国会の解散は是か非か」。	台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。講師は大野伴睦日本自由党幹事長、浅沼稻次郎日本社会党書記長(司会)、佐々弘雄参議院議員。	
1076		行政整理と政府の抱負		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は「企業再建整備法についての意見」を使用。	
1077		新内閣に望む	出井盛之	昭和(23)年		活版	1枚		掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1078		次期選挙へ動く		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本農民組合関係書類を使用。シリーズ名「その後の党情」①。	
1079		政策協定を衝く		昭和(23)年		活版	2枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。年は内容から推定。	
1080		門出する若人へ		昭和(23)年		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。年は内容から推定。	
1081		幹部六名を懲戒免官		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1082		一年間利払を停止		昭和23年		活版	1枚	軍事公債利払問題。		
1083		民間投資は七月頃		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1084		世論の大勢は解散論		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1085		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「次代を育む先生への希望」、「指名投票の日取」。	掲載紙不明。年は内容から推定。	
1086		複雑な社民の党内事情		昭和(23)年		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1087		多数派意見が支配		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1088		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「主導権の獲得」、「芦田首班の一本」、「初めから決戦は解せぬ」、「国協合作決裂」。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1089		[毎日新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「紡績復興の大きな希望」(毎日新聞)、「余録」(毎日新聞)。		

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1090		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「幹事長会談から政局見れば」、「反芦田派に誘い手」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
1091		七億ドル援助と経済復興		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1092		次の政権をどうする？		昭和(23)年		活版	1枚	各党代表座談会。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は「常任委員会に寄す」断片を使用。出席は大野伴睦(自由党)、北村徳太郎(民主党)、西尾末広(社会党)、三木武夫(国民協同党)。	
1093		繰り返す“避け難き退陣”		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
1094		焦点に立つ伊国		昭和(23)年		活版	1枚		掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1095		総額六百九十余億円		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
1096		日本共産党の戦術を衝く		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1097		社会党左派の総帥 鈴木茂三郎		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1098		インフレ心理と消費物資		昭和(23)年		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。年は内容から推定。台紙は「化粧品生産工業に対する物品税の逡減及賦課徴収方法等改善に関する請願」断片を使用。	
1099		日本にこれだけ残す		昭和(23)年		活版	1枚	ストライク委員会勧告。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1100		[社説切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「不変なる米国の対日態度」、「食糧増配の希望」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1101		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「政務官制度の拡充」(『読売新聞』昭和23年4月)、「必要あれば独立の地位」。	年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1102		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「統制廃し自由企業へ」、「外資阻むスト」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1103		実現はむずかしい		昭和(23)年		活版	1枚	軍事公債利払停止的処理に関する懇談会の記事。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1104		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「加藤私案で妥結へ」、「基本的には一致」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1105		社の動きがカギ		昭和23年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1106		企業資本の構成を改めよ		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1107		“血の通う政策を”		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は名簿断簡を使用。年は内容から推定。	
1108		政策に“組合の意思を”		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1109		重要産業の国管強化		昭和(23)年					新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1110		[新聞切抜]		昭和(23)年(2)月		活版	1枚	芦田内閣組閣関係。「臭気ふんぶんたる現政界を清掃せよ」、「閣僚の割りふり」。	掲載紙不明。年月は内容から推定。	
1111		民、決戦に自信?		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1112		国鉄赤字の真因		昭和23年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1113		生産公債とは何か		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1114		次期政権 民主的な在り方		昭和23年		活版	1枚	6日の連合国総司令部政治代表と新聞記者団との会見の内容。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1115		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	食糧供出関係。「主食の供出県別割当決る」、「三倍で買上げ」、「“精農報奨”を支持」。	掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1116		速かに争議を收拾せよ		昭和(23)年		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1117		労働争議と社会の福祉		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1118		軍事公債処理の理論と		昭和(23)年		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1119		政策協定をどう見る		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1120		盲従は奴隷化す		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1121		政党政治に新例を拓く		昭和(23)年		活版	1枚	「政局日米対談 AP支局長プラインズ氏を囲んで」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1122		速に総選挙を行え		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1123		芦田とその内閣(下)	阿部真之助	昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1124		政治の空白をつくるな		昭和(23)年		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は「労働省設置法案修正理由」断簡を使用。年は内容から推定。	
1125		新人閣僚の横顔 上		昭和(23)年		活版	1枚	「日農中の『右』 野溝勝」、「シンに一癖 永江一夫」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
1126		芦田新内閣の使命		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1127		芦田内閣を語る[2]		昭和(23)年		活版	1枚		朝日新聞切抜。座談会記事。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。出席者は、小坂善太郎(民主党政調会副会長)、米窪満亮(社会党中執委員、前労相)、周東英雄(自由党政調会副会長)、野坂参三(共産党中央委員)、佐々弘雄(緑風会)、船田享二(国協党政調会長、国務相)。	
1128		給与改善、労使協力へ		昭和(23)年		活版	1枚	「加藤労政 新労働大臣に聴く」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1129		フラクの支配を阻止せよ		昭和23年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は前後の資料から推定。	
1130		芦田内閣と憲政の常道	宮澤俊義	昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は労働省設置法案修正理由を使用。宮澤の肩書きは東京大学教授。	
1131		政変を進歩性へ	今中次麿	昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。今中の肩書きは九州大学教授。年は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1132		公務員の組合の専従について		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は「日本社会党本部『日本社会出版社』発[]人芳名簿」を使用。	
1133		反国家的言動を調査		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1134		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「国有公営の法人」、「従業員の争議権は維持」、「電気通信省の機構」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は[募集要項]を使用。	
1135		[朝日新聞切抜]		昭和23年		活版	1枚	「世界食糧需給の好転」(昭和23年)、「教育行政民主化の機会」(昭和23年9月)。	社説記事。	
1136		まず『研究会』で試案		昭和(23)年		活版	1枚	憲法改正関係。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は日本社会出版社第三回発起人会案内を使用。	
1137		民族自主権の回復		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は[会社定款](断片)を使用。	
1138		安定通貨は尚早		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は[会社定款](断片)を使用。	
1139		[社説切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「冷静に帰れ」、「強制調停に賛す」、「人事委員会の職責」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
1140		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「引揚者対策に積極性を」、「官業改組の目標」。	掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1141		全通地域スト職場離脱明かに政令違反		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。	
1142		人事委員会の在り方		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1143		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「労働法規は改正せず」、「人事院に予算権なし」、「新給与案は今週中に」、「独自に審議」。	掲載紙不明。年は内容から推定。	
1144		大胆に統制を整理せよ		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙はを使用。	
1145		公務員の待遇と国民の意向		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1146		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「労働関係法規改正へ」、「“六項目”で持越し」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は「日本社会党本部書記局員名簿」断片を使用。	
1147		争議統制法を検討中		昭和(23)年		活版	1枚		朝日新聞切抜。年は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1148		政府は果して責任に忠実か		昭和23年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は「院内秩序維持に関する陳情」(断片)を使用。	
1149		インフレ最終処理は可能か		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は「昭和二十二年度収支決算表」(日本協同組合同盟)(断片)を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1150		『敗戦を忘れたか』 アメリカ人の声		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。	
1151		公務員法と官吏異動		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年は内容から推定。台紙は「全国遊説第四次九州地方結果報告」(断片)を使用。	
1152		闘争方針を強む		昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は「会社定款」(断片)を使用。	
1153		“地下に潜った日本共産党”	ハワード・ハンドルマン	昭和(23)年		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。ハンドルマンはINS極東総局長。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1154		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「新財源に飲食店の解禁」、「松岡・苦米地会見」。	掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は展覧会関係書類を使用。	
1155		[新聞切抜]		昭和(23)年		活版	1枚	「経済的自立達成へ」、「日産協も決議」。	新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は展覧会関係書類を使用。	
1156		24年度予算の性格	藤田武雄	昭和(24)年(3)月(24)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。藤田の肩書きは論説委員。	
1157		[毎日新聞切抜]		昭和24年3月(24)日		活版	1枚	「内示案を全面尊重」、「調整費二十億円」、「取引高税に集中」、「蔵相きょう折衝へ」、「野党、施政演説促進へ」。	日は内容から推定。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1158		デフレ転換の備えはよいか		昭和24年3月24日		活版	1枚		朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1159		[新聞切抜]		昭和(24)年(3)月(24)日		活版	1枚	「将来の政治折衝へ」、「追加供出に法的措置」、「現実無視の公約」。	掲載紙不明。年月日は内容から推定。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1160		予算大綱に対して		昭和24年3月24日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1161		[朝日新聞切抜]		昭和(24)年(3)月(24)日 頃カ		活版	1枚	「事業の変更不可避」、「定期も六割引上げか」、「四億の歳入超過」、「六・三制危機」、「建設的な内示案」ほか。	年月日は内容から推定。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1162		明年度予算の内示		昭和(24)年(3)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。年月は内容から推定。	
1163		内示案の性格		昭和(24)年(3)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年月は内容から推定。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1164		伊東新聞 第1号	伊東新聞社	昭和25年5月4日		活版	1枚			
1165		炭鉱国管 炭全協、強行を要請		昭和22年7月9日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は演説原稿を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1166		[新聞切抜]		昭和22年7月10日		活版	1枚	「遅欽配は十月一杯」、「新物価体系の矛盾 各議員、多角的に衝く」、「酒の自由販売へ」、「前回議事録を承認」、「第二回は明日 参院の自由討議」。	毎日新聞切抜。	
1167		[新聞切抜]		昭和22年7月11日		活版	2枚	政府財政関係。「六七百億円に圧縮追加予算編成方針決る」、「健全財政を堅持 蔵相談」、「卅億程度に査定か」ほか。	毎日新聞切抜。台紙は演説原稿を使用。	
1168		地方自治法再検討の要		昭和26年7月20日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1169		国鉄も三・五割値上		昭和26年7月20日		活版	1枚		読売新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1170		未帰還抑留者はどうなるか		昭和26年7月22日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1171		補正予算の方向		昭和26年7月24日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1172		地方行財政の改革に望む		昭和22年7月25日		活版	1枚		朝日新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1173		死亡者・23万4151名		昭和26年7月25日		活版	1枚	ソ連地区抑留者の状況説明。	毎日新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1174		戦争犠牲者の救済		昭和26年7月25日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1175		同胞卅万の運命		昭和26年7月25日		活版	1枚		毎日新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1176		電力値上げの化けもの		昭和26年7月25日		活版	1枚		東京新聞切抜。台紙は日本社会党本部罫紙を使用。	
1177		改造より物価引下げ		昭和(26)年(7)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は使用済み日本社会党本部原稿用紙を使用。年月は内容から推定。	
1178		群衆		昭和(26)年(7)月		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。映画評。台紙は使用済み日本社会党本部原稿用紙を使用。原稿用紙に講和三原則、平和三原則について書かれている。年月は内容から推定。	
1179		長野等は防寒構造		昭和(26)年(7)月		活版	1枚		毎日新聞三重版切抜。台紙は使用済み日本社会党本部原稿用紙を使用。原稿用紙にも書き込みあり。年月は内容から推定。	
1180		都政新報 第412号	都政新報社	昭和33年7月24日		活版	1部			
1181		朝鮮総連 第123号	在日本朝鮮人総連合会中央本部	昭和35年8月22日		活版	1部			
1182		毎日新聞宣伝版(号外)	毎日新聞社	昭和(35)年		活版	1部		年は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1183		中小企業対策をめぐって		昭和(戦後)()月13日		活版	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙は「地方自治法第二百六十五条第二項の規定による特別市指定に関する法律(案)」を使用。	
1184		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「労働者設置方向」、「天象像」。	掲載紙不明。	
1185		“共産”“独裁”への防壁 穏健な民主主義		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は民主主義政治教育連盟関係書類(謄写)を使用。	
1186		物価対策への危虞		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
1187		「健全財政」の不健全性		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
1188		郵便料金、二倍に		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1189		立候補出そろふ		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1190		大規模停電ストを指令		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年代は内容から推定。	
1191		社会党もフラク活動		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1192		都の新円階級は下町		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数」(日本社会党深川支部)を使用。	
1193		健全財政とは何ぞや	武田隆夫	昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「五大都市特別市制小委員会報告書」(昭和22年8月7日)を使用。	
1194		ヤミ所得の捕捉と課税	野津高次郎	昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。野津の肩書きは参議院専門調査員。	
1195		鉄道赤字をどう処理するか		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。年代は内容から推定。	
1196		婦人よもつと政治に関心を		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。	
1197		「建設省」		昭和(戦後)	衆議院罨紙	活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1198		貨幣軽視の悪習を改めよ		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。台紙は浅沼のメモを使用。年代は裏面記事の内容から推定。	
1199		官僚制度を衝く	金森徳次郎	昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼用箋を使用。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1200		石炭増産を現地にみる 九州地区(下)		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年代は内容から推定。台紙は「陳情書」を使用。	
1201		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「産別民主化同盟の意義」、「経済的自立への一歩」。	掲載紙不明。社説記事。年代は内容から推定。台紙は「要求書」(電気工業労働者企業整備対策全国会議、昭和22年8月3日)。	
1202		日独との講和強調		昭和(戦後)		活版	1枚	フォレストアルアメリカ海軍長官談話。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は民主主義政治教育連盟関係書類(謄写)を使用。	
1203		社会党の立場		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年代は内容から推定。	
1204		日本の安定恐慌	永田清	昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。永田の肩書きは経済学博士、慶応大学教授。	
1205		[毎日新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「守れる法律と実施する決意」、「運賃、通信料は高すぎる」。	社説記事。年代は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」断片を使用。	
1206		分裂幹部攻撃		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年代は内容から推定。台紙は「日本社会党役員名簿」断片を使用。	
1207		ソ連の平和攻勢		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。年代は内容から推定。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。	
1208		クレジット 米の援助、世界が要請		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。解説記事。	
1209		利払停止は不可		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年代は内容から推定。	
1210		日本の将来を楽観		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1211		米と現物を物交		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼用箋を使用。	
1212		保険、手当の二段構え		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1213		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「非戦災者に特別税」、「供出制の根本的改革」。	朝日新聞切抜。台紙は財団法人国際調和クラブ関係書類を使用。	
1214		組合側は政府案に反対		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1215		西欧の防衛とイタリヤ選挙		昭和(戦後)		活版、ペン	1枚		毎日新聞切抜。社説記事。台紙には浅沼稻次郎の原稿(日本社会党原稿用紙)を使用。年代は内容から推定。	
1216		困難な日本の食糧政策		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1217		活かして利用せよ		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「第一回国会政府提出見込法律案調」を使用。	
1218		信頼される日本への努力		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。社説記事。掲載紙不明。台紙は演説速記録原稿(衆議院速記課野紙)を使用。	
1219		文化国家と国会	今日出海	昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1220		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「高文試験の改革」、「立身出世主義の生産」。	掲載紙不明。社説記事。	
1221		赤坂離宮は国会で使用		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年代は内容から推定。	
1222		トリエスト返還の要求		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。年代は内容から推定。	
1223		ふくらませ支給		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。解説記事。台紙には浅沼稻次郎メモを使用。	
1224		五政党の意向を聴く		昭和(戦後)		活版	1枚	政党法制定関係。	新聞切抜。掲載紙不明。年代は内容から推定。	
1225		対日基本政策決定の重要性		昭和(戦後)		活版	1枚			
1226		日本賠償の問題		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1227		政党法試案の眼目と狙い		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年代は内容から推定。	
1228		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「増炭へ急カーブ」、「鉄道運賃値上げ問題で議論」。	新聞切抜。掲載紙不明。	
1229		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「共産党のフラク活動排除」、「産別の民主化運動」。	新聞切抜。掲載紙不明。台紙は日本社会党本部原稿用紙を使用。年は内容から推定。	
1230		早期供出に厚く		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。	
1231		東亜諸国、多分の不安		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「労働省設置法案修正理由」断簡を使用。年代は内容から推定。	
1232		物価と賃金 下	森沢昌輝	昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1233		対日基本政策決る		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年代は内容から推定。	
1234		[新聞切抜]		昭和(戦後)		活版	1枚	「委員会も半ドン」、木下辰雄「水産省の設置」	掲載紙不明。	
1235		経済危機と鉄		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。傍線あり。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1236		会期大幅に延長か		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は前整理者のメモから推定。台紙は「第一区当選者並我党公認候補者得票数(日本社会党深川支部)」を使用。	
1237		左右両派一揉め		昭和(戦後)		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は党組織人事関係メモを使用。年は旧蔵者メモから推定。	
1238		先ず民主教育	吉川兼光	不明		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。年は内容から推定。台紙は「労働省設置法案修正理由」(断片)を使用。吉川の肩書きは衆議院議員(社会党)、社会党千葉県連会長、漁組県連会長、議院運営委員。	
1239		日本財政の苦悶	永田清	不明		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。永田の肩書きは慶応大学教授。	
1240		生活保障か生産増強か		不明		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。社説記事。台紙は浅沼稻次郎メモを使用。	
1241		[朝日新聞切抜]		不明		活版	1枚	「世界に貢献する国家」、「非戦災特別税への疑問」。	朝日新聞切抜。社説記事。台紙は浅沼稻次郎原稿を使用。	
1242		失業対策 保険、年に廿四億		不明		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。台紙は「世田谷区祖師谷二丁目町会長書簡」(昭和20年11月27日)を使用。	
1243		[袋]		不明			1枚			
1.4.2. 雑誌										
1244		自由国民 第19巻第3号	佐野学	昭和21年4月20日		活版	1冊	佐野学「解説・日本革命」、倉田正一「世界各国より見た『日本の前途』」。	時局月報社発行。	
1245		清掃施設建設清掃信念昂揚運動趣意書	道義日本確立協会	昭和21年8月1日		謄写	2枚			
1246		時局解説 民衆大学 第1巻第1号	大衆法律文化社	昭和21年10月1日		活版	1冊			
1247		農業復興 第35号	農業復興会議	昭和23年6月10日		活版	1部			
1248		都労連新聞 第4号	東京都労働組合連合会	昭和23年12月20日		活版	1部			
1249		一問一答 第8輯	問答社	昭和24年1月1日		活版	1冊	尾崎行雄、江崎真澄「討論 選挙論」、泉紘彦「中共の作戦を動かす人」「一人一描 佐藤栄作」ほか。		
1250		日労研資料 第10号	日本労働研究所	昭和24年2月3日		活版	1部			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1251		日労研資料 第11号	日本労働研究所	昭和24年2月10日		活版	1部			
1252		日労研資料 第12号	日本労働研究所	昭和24年2月17日		活版	1部			
1253		日労研資料 第13号	日本労働研究所	昭和24年2月24日		活版	1部			
1254		日労研資料 第14号	日本労働研究所	昭和24年3月3日		活版	1部			
1255		日労研資料 第15号	日本労働研究所	昭和24年3月10日		活版	1部			
1256		日労研資料 第16号	日本労働研究所	昭和24年3月17日		活版	1部			
1257		労働タイムス 第10号	労働タイムス社	昭和24年1月31日		活版	1部			
1258		労働タイムス 第11号	労働タイムス社	昭和24年2月7日		活版	1部			
1259		労働タイムス 第12号	労働タイムス社	昭和24年2月14日		活版	1部			
1260		労働タイムス 第13号	労働タイムス社	昭和24年2月21日		活版	1部			
1261		労働タイムス 第14号	労働タイムス社	昭和24年2月28日		活版	1部			[<<くり紐]
1262		労働タイムス 第15号	労働タイムス社	昭和24年3月7日		活版	1部			
1263		労働タイムス 第16号	労働タイムス社	昭和24年3月14日		活版	1部			
1264		講演 第669号	東京講演会大有社	昭和24年2月15日		活版	1冊	特輯「為替レートの設定」、塚田公太「あまり円安を望まず」、勝田貞次「米国に依存の外なし」、猪谷善一「輸出増進の方途」、大野信三「経済九原則の読方」。		
1265		民主政治教育連盟月報 第10号	民主政治教育連盟事務局	昭和24年3月10日		活版	1部			
1266		自治労協 第93号	全国自治団体労働組合協議会	昭和27年8月29日		活版	1部			
1267		国会通信 第40号	国会通信社	昭和27年12月8日		活版	同一物2部			
1268		日刊労働通信 第2706号	日刊労働通信社	昭和33年7月24日		活版	1部			
1269		都市情報 第421号	都市情報社	昭和33年7月27日		活版	1部			
1270		伸びゆく婦人 第84号	婦人問題研究会	昭和34年5月25日		活版	1部			
1271		伸びゆく婦人 第86号	婦人問題研究会	昭和34年7月25日		活版	1部			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1272		伸びゆく婦人 第91号	婦人問題研究会	昭和35年1月25日		活版	同一物2部			
1273		窓		昭和(戦後)		謄写	1枚		日本経済新聞(10月4日付)の記事を転載したもの。道義日本確立協会関係。	
1.4.3. 党機関紙										
【社会新聞】										
1274		社会新聞付録	社会新聞社	昭和(7)年		活版	同一物8部		年は内容から推定。	
1275		社会新聞付録	社会新聞社	昭和(7)年		活版	同一物2部			
1276		社会新聞付録	社会新聞社	昭和(7)年		活版	1枚			
1277		社会新聞 号外		昭和8年3月6日		活版	1部		浅沼稻次郎の立候補関係の内容。	
1278		社会新聞(24号~129号)	日本社会新聞社	昭和21年10月16日 ~昭和23年11月		活版	1綴		欠号:31,32,34,43,63,65~ 67,82,88,92,96,97,102~ 106,108,111,118,121~123,125~127。	
1279		社会新聞 号外	日本社会党	昭和22年1月16日		活版	同一物2部			
1280		社会新聞 号外	(社会新聞社)	昭和22年1月16日		活版	1部			
1281		社会新聞 号外	社会新聞社	昭和22年10月12日		活版	1枚			
1282		社会新聞 第114号	社会新聞社	昭和23年8月4日		活版	1部			
1283		社会新聞 第124号	社会新聞社	昭和23年10月13日		活版	1部			
1284		社会新聞 第124号	社会新聞社	昭和23年10月13日		活版	同一物5部			
【日本社会新聞】										
1285		日本社会新聞		昭和26年11月29日 ~昭和27年11月8日		活版	1冊		352号~400号。欠号(353号)。号外(昭和27年9月23日)。	
1286		日本社会新聞		昭和30年4月9日 ~昭和31年12月24日		活版	1冊		524号~611号。588号と589号は合併号。	
1287		日本社会新聞休刊通知	広瀬武次	昭和35年12月1日		活版	1枚		広瀬は日本社会新聞社編集次長。	付箋(「S-35 11月社会新聞『貸借対照表』『清算報告』」)
1288		日本社会新聞社貸借対照表	広瀬武次	昭和35年11月1日		活版	1枚		1287の別紙。	
【日本社会党党報】										
1289		党報 第17号	日本社会党本部	昭和23年4月1日		活版	1部			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1290		日本社会党党報 第20号	日本社会党出版部	昭和23年5月24日		活版	1部			
1291		日本社会党党報 第21号	日本社会党出版部	昭和23年5月31日		活版	1部			
1292		日本社会党党報 第22号	日本社会党出版部	昭和23年6月7日		活版	1部			
1293		日本社会党党報 第23号	日本社会党出版部	昭和23年6月14日		活版	1部			
1294		日本社会党党報 第24号	日本社会党出版部	昭和23年6月21日		活版	1部			
1295		日本社会党党報 第25号	日本社会党出版部	昭和23年6月28日		活版	1部			
1296		日本社会党党報 第26号	日本社会党出版部	昭和23年7月5日		活版	1部			
1297		日本社会党党報 第28号	日本社会党出版部	昭和23年7月19日		活版	1部			
1298		日本社会党党報 第29号	日本社会党出版部	昭和23年7月26日		活版	1部			
1299		日本社会党党報 第30号	日本社会党出版部	昭和23年8月2日		活版	1部			
1300		日本社会党党報 第31号	日本社会党出版部	昭和23年8月9日		活版	1部			
1301		日本社会党党報 第32号	日本社会党出版部	昭和23年8月16日		活版	1部		3,4面に切り取りあり。	
1302		日本社会党党報 第33号	日本社会党出版部	昭和23年8月23日		活版	1部			
1303		日本社会党党報 第34号	日本社会党出版部	昭和23年8月30日		活版	1部			
1304		日本社会党党報 第35号	日本社会党出版部	昭和23年9月6日		活版	同一物2部			
1305		日本社会党党報 第36号	日本社会党出版部	昭和23年9月13日		活版	1部			
1306		日本社会党党報 第37号	日本社会党出版部	昭和23年9月20日		活版	1部			
1307		日本社会党党報 第38号	日本社会党出版部	昭和23年9月27日		活版	1部			
1308		日本社会党党報 第38号	日本社会党出版部	昭和23年9月27日		活版	同一物2部			
1309		日本社会党党報 第39号	日本社会党出版部	昭和23年10月4日		活版	1部		切り取りあり。	
1310		日本社会党党報 第40号	日本社会党出版部	昭和23年10月18日		活版	1部		切り取りあり。	
1311		日本社会党党報 第41号	日本社会党出版部	昭和23年10月25日		活版	同一物2部			
1312		日本社会党党報 第41号	日本社会党出版部	昭和23年10月25日		活版	1部			

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1313		日本社会党党報 第42号	日本社会党出版部	昭和23年11月8日		活版	1部			
1314		日本社会党党報 第43号	日本社会党出版部	昭和23年11月15日		活版	1部			
【社会大衆新聞】										
1315		社会大衆新聞		昭和8年11月5日 ～昭和13年12月28日		活版	1冊		55号～122号。欠号(67号、73号、75号、86号)。号外(昭和11年9月29日、昭和13年3月5日、昭和13年3月26日)。表紙には123迄とある。	
【その他】										
1316		全国大衆新聞 号外	全国大衆新聞社	昭和6年1月22日		活版	1枚			
1317		全国労農大衆新聞 第39号	全国労農大衆新聞社	昭和7年2月16日		活版	同一物2部			
1318		全国労農大衆新聞 第39号	全国労農大衆新聞社	昭和7年2月16日		活版	1部			
1319		全国労農大衆新聞 第39号	全国労農大衆新聞社	昭和7年2月16日		活版	同一物5部			
1320		全国労農大衆新聞 第39号	全国労農大衆新聞社	昭和7年2月16日		活版	同一物2部			
1321		全国労農大衆新聞 号外	全国労農大衆新聞社	昭和7年2月19日		活版	1枚			
1322		社会週報 第60号	日本社会党出版部	昭和23年12月18日		活版	1部			
1323		社会通信 号外	日本社会党教宣局	昭和27年1月25日		活版	1冊	1958年度日本社会党本部役員名簿。		
1324		党活動 第37号	日本社会党本部	昭和27年12月1日		活版	1部			
1325		社会新報 第471号	日本社会党	昭和35年8月18日		活版	1部			
1.4.4. スクラップブック										
1326		[スクラップブック]		昭和22年		活版	1冊			
1327		[スクラップブック]		昭和23年2月～6月		活版	1冊			
1328		[スクラップブック]		昭和23年6月～7月		活版	1冊			
1329		[スクラップブック]		昭和23年8月～10月		活版	1冊			
1330		[新聞切抜綴]		昭和23年10月～11月		活版	1綴			
1331	1	[スクラップブック]		昭和29年4月8日～7月15日		活版	1冊	近江絹糸争議、国会関係など。	1331-2～1331-17を挟む。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1331	2	“補修専門会社”大受け		昭和(29)年		活版	1枚		サンケイ新聞切抜。1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。年は前後の資料から推定。	
1331	3	ナスの季節		昭和(29)年		活版	1枚		1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。年は前後の資料から推定。	
1331	4	全織新聞号外	全国繊維産業労働組合同盟	昭和29年7月22日		活版	1部	近江絹糸争議写真特報。	1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。	
1331	5	全織新聞号外	全国繊維産業労働組合同盟	昭和29年7月15日		活版	1部	近江絹糸争議関係。	1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。	
1331	6	“造船疑獄”の火は消えたが		昭和(29)年(6)月17日		活版	1枚		産業経済新聞切抜。1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。	
1331	7	四、五歳用男児遊び着		昭和29年6月18日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。裏面は「経済教室」。	
1331	8	家族計画	日本家族計画普及会	昭和29年4月29日		活版	1部		1331-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。	
1331	9	退院基準に温かい扱いを		昭和(29)年7月28日		活版、ペン	1枚		東京新聞切抜。年は前後の資料から推定。月日は書込みのものを採った。1331-1の14頁(「国会をどう良くするか」と15頁(切抜なし)の間に挟まれる。	
1331	10	[読売新聞切抜]		昭和29年5月31日		活版、ペン	1枚	「害あって益なき会期延長」(社説)、 「教育二法解釈紛争を予想」(解説)。	年月日は書込みのものを採った。1331-1の14頁(「国会をどう良くするか」と15頁(切抜なし)の間に挟まれる。	
1331	11	吉田首相の外遊に思う	有田八郎	昭和(29)年5月31日		活版	1枚		朝日新聞切抜。年は前後の資料から推定。月日は書込みのものを採った。1331-1の14頁(「国会をどう良くするか」と15頁(切抜なし)の間に挟まれる。有田の肩書きは衆議院議員、無所属、元外相。	
1331	12	[新聞切抜]		昭和(29)年()月25日		活版	1枚	「家出して恋人の家へ飛込む」(柳沢えい)、 「おいしくて簡単にできるビールのおつまみ」。	年は前後の資料から推定。1331-1の46頁(切抜なし)と47頁(「梅の料理」)の間に挟まれる。柳沢の記事は「婦人と家庭」欄、柳沢の肩書きは東京家庭裁判所少年部。	
1331	13	労相、收拾を要請		昭和29年7月15日		活版	1枚		東京新聞切抜。1331-1の50頁(「汚れの掃除や破損の修理」と裏表紙の間に挟まれる。	
1331	14	近江絹糸の横車を通すな		昭和29年7月15日		活版	1枚		東京新聞切抜。社説記事。1331-1の50頁(「汚れの掃除や破損の修理」と裏表紙の間に挟まれる。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1331	15	職権あつ旋きよう要請		昭和29年7月15日		活版	1枚	近江絹糸争議関係。	毎日新聞切抜。1331-1の50頁(「汚れの掃除や破損の修理」と裏表紙の間に挟まれる。	
1331	16	近江絹糸ストを勝利させよ		昭和29年7月15日		活版	1枚		読売新聞切抜。社説記事。1331-1の50頁(「汚れの掃除や破損の修理」と裏表紙の間に挟まれる。	
1331	17	同情と会社への反感		昭和29年7月15日		活版	1枚		朝日新聞切抜。1331-1の50頁(「汚れの掃除や破損の修理」と裏表紙の間に挟まれる。	
1332	1	[スクラップブック]		昭和29年6月9日 ~昭和29年7月14日		活版	1冊	近江絹糸争議関係。	1332-2~1332-4を挟む。	
1332	2	朝日新聞	朝日新聞社	昭和29年4月22日		活版	1部		3面から6面のみ。1332-1の表紙と目次頁の間に挟まれる。	
1332	3	[毎日新聞(夕刊)切抜]	毎日新聞社	昭和29年10月18日		活版	1枚	「家族制度復活と婦人層の動き(上)」 「女の気持」など。	1332-1の目次頁と1頁(第一記事「近江絹糸争議の背景」)の間に挟まれる。	
1332	4	暮しのために仕方がない	十時賀子	昭和29年8月1日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。1332-1の24頁(社長に善処求む)など)と25頁(「明らかに人権侵犯」など)の間に挟まれる。年は前後の資料から推定。十時の肩書きは最高裁判所家庭局。	
1333		[スクラップブック]		昭和35年		活版	1冊	「1960年3月社会党大会 No.3」		
1334	1	[スクラップブック]		昭和35年			1冊活版	60年安保関係。	1334-2~1334-20をはさむ。	
1334	2	国会前の夜明け		昭和35年6月20日					東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	3	暴力否定！国民の声を聞け		昭和35年6月19日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	4	新安保、一部修正か		昭和(35)年(6)月(19)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。1334-1に挟まれる。年月日は貼付されているものをつと。	
1334	5	政治を軌道に	佐藤功	昭和35年6月20日		活版	1枚		東京新聞切抜。シリーズ名「私は直言する」。1334-1に挟まれる。	
1334	6	早く再出発を	加納久朗	昭和35年6月22日		活版	1枚		東京新聞切抜。シリーズ名「私は直言する」。1334-1に挟まれる。	デモクラシー(コラム欄「石筆」記事)
1334	7	何をねらう6.22抗議スト		昭和35年6月22日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	8	“自ら大学の自治破壊”		昭和35年6月17日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	9	右翼の動きを警戒		昭和35年6月22日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	10	全学連の“国会乱入”をこうみる		昭和35年6月16日		活版	1枚		東京新聞切抜カ。1334-1に挟まれる。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1334	11	局面收拾の道・政治休戦		昭和35年6月14日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	12	右翼、続々と上京		昭和(35)年(6)月(16)日		活版	1枚		新聞切抜。掲載紙不明。1334-1に挟まれる。年月日は貼付されているものをとった。	
1334	13	茅東大学長声明をめぐって		昭和35年6月20日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	14	筆洗		昭和35年6月19日		活版	1枚	全学連国会乱入関係。	東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	15	“全学連ばり”の自民反主流		昭和35年6月20日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	16	首相もバラ園で引退決意?		昭和35年6月22日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	17	一夜あけた国会周辺		昭和35年6月19日		活版	1枚		東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	18	[60年安保関係切抜]		昭和35年6月18日		活版	1枚	「新安保表決、来週に延期」、「中共、金門島を砲撃」、「社説 河上氏の負傷事件を悲しむ」、「経済四団体時局安定に共同声明」、「暴力化世相への対策成る」など。	東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	19	[60年安保関係切抜]		昭和35年6月18日		活版	1枚	「文相、教授の活動にも批判」など。	東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1334	20	[東京新聞切抜]		昭和35年6月18日		活版	1枚	60年安保関係。	東京新聞切抜。1334-1に挟まれる。	
1335		[スクラップブック]		昭和35年10月1日		活版	1冊	浅沼稻次郎暗殺関係。		
1336		[スクラップブック]		昭和35年11月1日		活版	1冊	「1960.11月総選挙No. I」。		
1337		[スクラップブック]		昭和35年11月1日		活版	1冊	「1960.11月総選挙No. II」。		
1338		[スクラップブック]		昭和35年12月1日		活版	1冊	「1960.12月8日～12月18日」。		
1339		[スクラップブック]		昭和35年10月～12月		活版	1冊	「1960.10月～12月8日」。		
1340		[スクラップブック]		昭和35年12月1日		活版	1冊	「1960.12月18日～12月28日」。		
1.5. パンフレット・ポスター・ビラ										
1.5.1. パンフレット										
1341		民間航空振興資金獲得手段として『富籤』に優る『航空奨券』の発行を提唱す	渡辺一英	昭和11年12月10日		活版	1冊			
1342		電力国営早わかり	田原音吉	昭和12年3月1日		活版	1冊		改訂版。全国電気需用者新聞社富山支局発行。田原の肩書きは全国電気需用者新聞社支局長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1343		癩の話	桜井方策	昭和12年3月1日		活版	1冊		再版。関西M・T・L発行。	
1344		地方自治政改革	平野学	昭和12年4月18日		活版	1冊		社会大衆党出版部発行。社会大衆党パンフレット第13輯。副題「市町村会選挙を如何に戦ふか」。	
1345		世界一周して心付たる庶政一新の基本	清寛	昭和(戦前)		活版	1冊		清の肩書きは岐阜新聞社長、衆議院議員。	
1346		間宮海峡埋立論	地崎宇三郎	昭和21年2月11日		活版	1冊		北方文化出版社発行。地崎は北海道新聞相談役。	
1347		昭和政治悲史	佐々弘雄	昭和21年6月1日		活版	1冊		日本放送出版協会発行。ラジオパンフレット(2)。	
1348		日本民主革命の現段階と第三方程式	松尾宝作	昭和21年7月1日		活版	1冊		民生運動連盟発行。民生運動第4輯。	
1349		農民組合入門	大西俊夫	昭和21年8月20日		活版	1冊		山水社発行。社会新書。	
1350		日本茶の現況と将来への構想	日本茶業復興運動連絡本部	昭和21年10月1日		活版	1冊			日本茶業の現況と将来への構想抜粋
1351		日本社会党を支持するもの	山口シヅエ	昭和21年11月30日		活版	1冊		共管出版部発行。講演速記。	
1352		海外引揚者自助団体励志社要覧	励志社	昭和22年4月30日		活版	1冊		励志社パンフレット第1輯。	
1353		特別市制実施について	青柳秀夫	昭和22年7月1日		活版	1冊			
1354		賃金・物価の安定帯の当面策	日本社会党労組議員団	昭和22年8月30日		活版	1冊			
1355		炭鉱国家管理案反対陳情書	山川良一ほか	昭和22年9月5日		活版	30枚		山川の肩書きは三井鉱山株式会社社長。陳情書の差出人は鉱山会社およびその経営者カ。	
1356		危機突破のため国民に訴う	片山哲	昭和22年9月25日		活版	1冊		内閣発行。	
1357		炭鉱国家管理の必要性について	水谷長三郎	昭和(22)年(9)月		活版	1冊		年月は内容から推定。	
1358		群馬県復興対策委員会規程並職員名簿	群馬県総務部復興課	昭和22年12月1日		活版	1冊			正誤表
1359		憲法普及会東京支部事業報告書	憲法普及会東京支部	昭和22年12月1日		活版	1綴			
1360		今次水害に於ける本県の要望経過	群馬県	昭和22年12月1日		活版	1冊			
1361		今次水害に対する応急援護並に施策の進捗状況	群馬県	昭和22年12月1日		活版	1冊		表紙右肩に鉛筆書きで「6」とある。	
1362		吾々の要求内容は	国鉄労働組合	昭和(22)年		活版	1冊		要求資料第一号。年は内容から推定。	
1363		向上 号外	桑原啓次郎	昭和23年2月1日		活版	1冊		桑原の肩書きは民主連盟本部主幹。	
1364		日本復建経国策	藤村三郎	昭和23年3月12日		活版	1冊		最新社会経済社発行。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1365		通信事業の現状	通信省	昭和(23)年(3)月		活版	1冊		年月は「まえがき」から採った。副題「郵便・電信・電話の実相報告書」。	
1366		河	建設院総裁官房弘報課	昭和23年5月10日		活版	1冊		建設叢書3。副題「治水の昔と今」。	
1367		政治資金規正法問答	衆議院法制部	昭和23年7月30日		活版	1冊		法制研究会解説。副題「“政治腐敗防止法”解説」。	
1368		選挙公営関係法律の解説	衆議院法制部	昭和23年7月30日		活版	1冊		法制研究会発行。副題「これからの選挙はどうして行われるか」。	
1369		国会報告 第一集	加藤静雄	昭和23年8月5日		活版	1冊		加藤の肩書きは衆議院議員。	
1370		国会報告 第二集	加藤静雄	昭和23年8月10日		活版	1冊		加藤の肩書きは衆議院議員。	
1371		牛乳はなぜ！総合供出制にせねばならぬか？	酪農推進実行委員会	昭和23年9月18日		活版	1冊			
1372		第一次年間事業報告	民主政治教育連盟事務局	昭和23年9月25日		活版	1冊		民主政治教育連盟発行。	
1373		憲法改正と天皇の問題	宮沢俊義ほか	昭和23年10月1日		活版	1冊	座談会の速記録。出席者は金森徳次郎、入江俊郎、浅井清、宮沢俊義、岩淵辰雄、山浦貫一。	憲法普及会発行。憲法普及会パンフレット。	
1374		土地公有関係事項	秋守常太郎	昭和23年10月31日		活版	1冊		「土地公有梗概」の姉妹編。	
1375		戦略、戦術について(案)	日本社会党青年部常任全国委員会	昭和(23)年		活版、謄写	1冊		昭和23年度。	
1376		労農運動要綱	日本社会党青年部	昭和(23)年		活版	1冊		昭和23年度。	
1377		日本労働組合総同盟愛媛県連合会現勢一覧	総同盟愛媛県連組織宣伝部	昭和(23カ)年		活版	1冊		昭和23年9月10日現在。	
1378		大砲かバターか	日本社会党本部出版部	昭和27年4月10日		活版	1冊			
1379		独立日本の道標	日本社会党選挙対策委員会	昭和27年8月20日		活版	1冊		日本社会党本部発行。副題「われら総選挙をかく戦う」。	
1380		独立の完成と政治の一新の為に	日本社会党出版部	昭和27年8月25日		活版	1冊	浅沼稻次郎「吉田内閣不信任案賛成討論」、同「選挙の公正と明朗化の為に」、三宅正一「国会解散要求決議案趣旨弁明」。	日本社会党本部発行。	
1381		日本社会党総選挙対策	日本社会党選挙対策委員会	昭和27年9月3日		活版	1冊		日本社会党本部発行。	
1382		たすけあい敬愛福德運動	上田康熙	昭和(戦後)		活版	1冊			
1.5.2. ポスター・ビラ										
1383		〔深川労働学校生徒募集ポスター〕		昭和(4)年		活版	1枚		年は内容から推定。学監は浅沼稻次郎。	
1384		〔深川労働学校生徒募集ポスター〕		昭和(4)年		活版	1枚		年は内容から推定。学監は浅沼稻次郎。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1385		〔六大争議応援失業反対大演説会ポスター〕	全国労働組合同盟六争議共同闘争団	昭和(5)年(8)月		活版	同一物2枚		年月は内容から推定。主催は全国労働組合同盟六争議共同闘争団。	
1386		〔洋モス、其他争議応援浜口不景気内閣打倒大演説会〕		昭和(5)年		活版	1枚		年は内容から推定。	
1387		〔生活防衛借家問題大演説会ポスター〕	借家人組合同盟本所支部	昭和5,6年頃カ。		謄写	1枚	主催は借家人組合同盟本所支部。応援は全国大衆党、労農党、全国借家人同盟、借家同盟。	年は内容から推定。1387と1388は同一物だが別出所。弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1388		〔生活防衛借家問題大演説会ポスター〕	借家人組合同盟本所支部	昭和5,6年頃カ。		謄写	1枚	主催は借家人組合同盟本所支部。応援は全国大衆党、労農党、全国借家人同盟、借家同盟。	年は内容から推定。1387と1388は同一物だが別出所。弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1389		〔浜口反動内閣打倒大演説会ポスター〕	無産党議会闘争共同委員会	昭和5,6年頃カ。		活版	1枚		年は内容から推定。弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1390		〔浜口内閣打倒演説会ポスター〕	全国大衆党支部	昭和5,6年頃カ。		活版	1枚		弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1391		〔反動議会解散要求無産者大会ポスター〕	無産党議会闘争共同委員会	昭和5,6年頃カ。		活版	1枚		年は内容から推定。弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1392		〔全国大衆党、中部民衆党合同記念演説会ポスター〕	全国大衆党岐阜支部連合会	昭和5,6年頃カ。		活版	1枚		年は内容から推定。主催は全国大衆党岐阜支部連合会。	
1393		〔借家問題議会批判大演説会ポスター〕	借家人組合同盟本所支部	昭和(6)年(2)月		活版	1枚		年月は内容から推定。主催は借家人組合同盟本所支部。応援は全国大衆党、労農党、全国借家人同盟、借家同盟各市部。	
1394		〔山元オブラート争議並に暴圧反対大演説会ポスター〕	全国労農大衆党東京府連合会、全国労農大衆党世田ヶ谷支部、関東化学労働組合世田ヶ谷支部	昭和(6)年(12)月		活版	1枚		年月は内容から推定。弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1395		〔第12回メーデーポスター〕	全国労働組合同盟東京地方連合会	昭和6年		謄写	1枚		1395と1396は同一物だが別出所。	
1396		〔第12回メーデーポスター〕	全国労働組合同盟東京地方連合会	昭和(6)年		謄写	1枚		上部欠。1395と1396は同一物だが別出所。	
1397		第12回メーデーに参加しろ!	関東木材産業労働組合	昭和(6)年		謄写	1枚		ポスター。1397から1399は同一物だが別出所。年は1395参照。	
1398		第12回メーデーに参加しろ!	関東木材産業労働組合	昭和(6)年		謄写	1枚		ポスター。1397から1399は同一物だが別出所。年は1395参照。	
1399		第12回メーデーに参加しろ!	関東木材産業労働組合	昭和(6)年		謄写	1枚		ポスター。1397から1399は同一物だが別出所。年は1395参照。	
1400		〔第五十九議会斗争大演説会ポスター〕	京都地方三党合同促進協議会	昭和(6)年		活版	1枚		年は開催日および内容から推定。	
1401		全国労農青年大会へ集れ!		昭和(6)年		謄写	1枚		年は内容から推定。主催は無産政合同促進青年協議会。	
1402		〔満蒙時局共同争議批判大演説会ポスター〕	関東地方争議共同闘争委員会	昭和6,7年頃カ。		活版	1枚		弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1403		〔合同促進暴圧反対大演説会ポスター〕	労農大衆党社民合同実現同盟	昭和(6)年		活版	1枚		年は内容から推定。主催は労農大衆党社民合同実現同盟。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1404		浅沼形勢好転	浅沼稻次郎	昭和7年2月15日		活版	1枚			
1405		〔社会民衆党全国労農大衆党統一新党結成大会ポスター〕		昭和(7)年(7)月		活版	1枚			
1406		〔失業反対民衆大会ポスター〕	(失業対策無産党共同委員会)	昭和(戦前)		活版	同一物4枚		年代は内容から推定。	
1407		〔失業者大会浅野大理石争議真相発表資本家地主内閣打倒大演説大会ポスター〕	全国大衆党南千住支部、浅野大理石争議団	昭和(戦前)		活版	1枚		弁士に浅沼稻次郎の名あり。	
1408		〔日本大衆政治学校生徒募集ポスター〕	日本大衆政治学校	昭和(戦前)		活版	1枚		日本大衆政治学校は深川労働学校の後身。学監は浅沼稻次郎。	
1409		全国労農大衆党大演説会ポスター	(浅沼稻次郎)	昭和(戦前)		活版	同一物2枚		浅沼稻次郎用ポスター。	
1410		〔全国大衆新聞ポスター〕	全国大衆新聞社	昭和(戦前)		謄写	1枚		1410と1411は同一物だが別出所。年代は内容から推定。	
1411		〔全国大衆新聞ポスター〕	全国大衆新聞社	昭和(戦前)		謄写	1枚		1410と1411は同一物だが別出所。年代は内容から推定。	
1412		〔浅沼稻次郎政見発表大演説会ポスター〕		昭和(戦前)		活版	1枚		1412と1413は同一物だが別出所。	
1413		〔浅沼稻次郎政見発表大演説会ポスター〕		昭和(戦前)		活版	同一物9部		1412と1413は同一物だが別出所。	
1414		〔麻生久政見発表大演説会ポスター〕		昭和(戦前)		活版	1枚		年代は内容から推定。	
1415		読売新聞をヨムナ!	関東新聞従業員組合本部	不明		謄写	同一物3枚		1415から1418は同一物だが別出所。	
1416		読売新聞をヨムナ!	関東新聞従業員組合本部	不明		謄写	同一物2部		1415から1418は同一物だが別出所。	
1417		読売新聞をヨムナ!	関東新聞従業員組合本部	不明		謄写	1枚		1415から1418は同一物だが別出所。	
1418		読売新聞をヨムナ!	関東新聞従業員組合本部	不明		謄写	1枚		1415から1418は同一物だが別出所。	
1419		『人間世界』之秋蒔種子	庄司俊夫	昭和23年9月1日		謄写	1冊			
1420		『人間世界』之秋蒔種子(抄)	庄司俊夫	昭和(戦後)		謄写	1冊	「早急に・二つの世界を・一つに纏めよ!」、「急告」、「時限爆弾を抱きつゝ・敢て苦言を呈す」、「局面転換は・わが民族の手で」、「『真正平和』を目差す・折入っての御相談」。	1419参照。	
1421		〔農村青年講習会案内〕		昭和(27)年		活版	1枚			〔付箋〕
1422		陳情書	総評京都地方評議会ほか	昭和35年9月26日		活版	5枚			〔封筒〕
1423		〔ポスター〕(党資金二千万円カンパ)	日本社会党中央執行委員会	昭和(戦後)		活版	同一物25枚		年代は内容から推定。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1.6. 写真										
1424		[写真]	牧山耕蔵	昭和(戦前)		活版	1枚		ヒットラーと牧山の面会時の写真を頒布用に印刷したもの。牧山の肩書きは衆議院議員、列国議会同盟会議副議長、帝国議会代表日本議員団長。	
1425		[写真]		不明		写真	1枚	行幸記念碑前での集合写真。	15に入る。	
1.7. 名刺など										
1426	1	[名刺]	鈴木章雄	昭和(戦前)		墨書、活版	1枚		1426-2に同封。鈴木の前書きは東京乗合自動車株式会社上野営業所。	
1426	2	篠塚竹次郎書簡	篠塚竹次郎	昭和7年5月20日		ペン	1通		1426-1を同封。	
1427	1	[名刺]	北政明	昭和(戦前)		活版	1枚		1427-2に同封。	
1427	2	北政明書簡	北政明	昭和(17)年4月21日		墨書、ペン	1通		1427-1を同封。年は内容から推定。	
1428		履歴書	麻生良方	昭和23年4月23日		墨書	1枚		麻生良方の署名捺印なし。	
1429		履歴書	麻生良方	昭和23年5月15日		墨書	1枚		麻生良方の署名捺印あり。	
1430		[名刺]	浅沼稻次郎	不明		活版	1枚			
1431		[名刺]	宮川徳蔵	不明		活版	1枚		宮川は酒類醤油卸小売。	
1432		[名刺]	小泉房太郎	不明		活版	1枚		小泉の前書きは履物製造業者。	
1433		[名刺]		不明		活版	1枚	マルエム紙器製造所 向井祥彦商店。		
1434		[名刺]		不明		活版	1枚		張昌垠名刺。張の前書きは善友会委員長。	
1435		[名刺]	小泉清一	不明		活版、鉛筆	1枚		小泉の前書きは日本社会党本部京橋区引揚者互助会幹事。鉛筆による書き込みあり。	
1436		[名刺]	泰岡富吉	不明		活版	1枚		泰岡の前書きは東京都立城東女子商業学校長。	
1437		[名刺]	田中雅男	不明		活版	1枚		田中の前書きは刑事部捜査第二課勤務警視庁巡査部長地方事務官。	
1.8. その他										
1438	1	[昭和22年度支出関係書類]	禎藤	昭和22年12月3日		ペン	1枚		1438-2~1438-4を同封。	
1438	2	[一ヶ月分経費]		不明		謄写	1枚		1438-1に同封。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1438	3	[給与・賞与一覧]		不明	日本社会党本部罫紙	ペン	3枚		1438-1に同封。	
1438	4	[メモ]		不明		ペン	1枚		1438-1に同封。賞与・給与関係カ。	
1439		平和憲法擁護の歌	田坂達行	昭和31年9月15日		墨書、朱印	1枚			
1440		田坂達行書簡	田坂達行	昭和(31)年(9)月		墨書	1通		年月は内容から推定。	
1441		田坂達行書簡	田坂達行	昭和31年9月26日		墨書	1通			
1442		[書]	神尾華郷	昭和34年		墨書	1点			
1443		月報		8月		謄写、ペン	1枚			
1444		[欠番]								
2 浅沼享子関係										
1445		総選挙斗争に関する統制委員会の態度	富沢銀三	昭和35年10月27日		謄写	1枚		1445と1446は一括。富沢の肩書きは日本社会党東京都連合会統制委員会委員長代理。	
1446		総選挙斗争に関して遵守すべき基本原則	日本社会党東京都連合会総選挙斗争委員会	昭和35年10月1日		謄写、ペン	1枚		1445と1446は一括。	
1447		文化人・学者・評論家等の党候補者推薦について		昭和(35)年		活版、鉛筆	1通		年は前後の資料から推定。	
1448		衆議院議員選挙(東京都各選挙区)立候補届出に関する注意事項	衆議院議員選挙(東京都各選挙区)選挙長、東京都選挙管理委員会	昭和35年		謄写	1綴			
1449		衆議院議員選挙(東京都各選挙区)における候補者心得	東京都選挙管理委員会	昭和35年		謄写	1冊			
1450		選挙運動用ポスターの掲示場所等についてのご注意		昭和(35)年		謄写	1枚		年は内容から推定。	
1451		[アンケート回答例]	日本社会党本部政策審議会、選挙対策委員会	昭和35年10月24日		活版	1枚			
1452		選挙ポスター見本送付について	八百板正	昭和35年10月25日		活版	1枚		本選斗通達第12号。八百板の肩書きは選斗本部事務局長。	
1453		浅沼委員長未亡人享子氏録音テープ送付について	八百板正	昭和35年10月25日		活版	1枚		本選斗通達第11号。八百板の肩書きは選斗本部事務局長。	
1454		政連用宣伝車の統一スローガンについて	八百板正	昭和35年10月26日		活版	1枚		本選斗通達第14号。八百板の肩書きは選斗本部事務局長。	
1455		個人演説会用垂幕と胸章の利用について	八百板正	昭和35年10月26日		活版	1枚		本選斗通達第13号。八百板の肩書きは選斗本部事務局長。	
1456		演説会回数に関する件	勝間田清	昭和35年10月27日		活版	1枚		勝間田の肩書きは教宣局長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1457		「都民に応える社会党の政策」パンフについて	曾我裕次	昭和35年10月27日		謄写	1枚			
1458		政連車の運行計画について	曾我裕次	昭和35年10月27日		謄写	1枚		曾我の肩書きは日本社会党東京都連合会総選挙斗争委員会。	
1459		選挙事務所開設通知	重盛寿治	昭和35年10月28日		活版	1枚	東京都各選挙区の候補者選挙事務所開設の通知。	重盛の肩書きは日本社会党東京都連合会総選挙斗争委員会委員長。	
1460		日本社会党選挙速報 No.3	日本社会党選挙斗争本部	昭和(35)年10月30日		活版	1枚		年は内容から推定。	
1461		日本社会党選挙速報 No.3	日本社会党選挙斗争本部	昭和(35)年10月30日		活版	1枚		選挙情報改題。年は内容から推定。	
1462		日本社会党選挙速報 No.4	日本社会党選挙斗争本部	昭和35年11月2日		活版	1枚			
1463		日本社会党選挙速報 No.5	日本社会党選挙斗争本部	昭和35年11月6日		活版	1枚			
1464		日本社会党選挙速報 No.6	日本社会党選挙斗争本部	昭和35年11月7日		活版	1枚			
1465		日本社会党選挙速報 No.9	日本社会党選挙斗争本部	昭和35年11月13日		活版	1枚			
1466		日本社会党選挙速報 No.10	日本社会党選挙斗争本部	昭和35年11月13日		活版	1枚			
1467		アンケート控	浅沼享子・浅沼享子選挙事務所	昭和(35)年		ペン、活版、マジック、墨書ほか	1綴		要望書、立候補者への政策アンケートを綴りこんだもの。浅沼享子の立候補演説原稿、ポスター原稿あり。1468、1469を挟み込む。	
1468		東京都選挙管理委員会電報 浅沼享子宛	東京都選挙管理委員会	昭和35年11月4日		謄写	1通		1467に挟み込まれる(ポスター原稿と朝日新聞社社会部選挙係「候補者各位へお願い」(昭和35年10月11日の間)。「スミ」、「佐藤君」の書き込みあり。	
1469		東京ガス労働組合機関紙部書簡	東京ガス労働組合機関紙部	昭和(35)年10月31日	東京瓦斯労働組合罫紙	謄写、マジック	1通		1467に挟み込まれる(浅沼享子抱負と浅沼享子宛東京ガス労働組合機関紙部書簡の間)。年は挟み込まれた前後の資料から推定。「スミ」の書き込みあり。	
1470		[加藤大三立候補に伴う変更通知]	伊木寅雄	昭和35年11月1日		謄写	2枚	立会演説会関連。	伊木の肩書きは東京都選挙管理委員会委員長。	
1471		加藤大三氏の立会演説会参加及び浅沼享子氏の欠席について	伊木寅雄	昭和35年11月1日		謄写	1枚		伊木の肩書きは東京都選挙管理委員会委員長。	
1472		立会演説会における演説順序等の決定について	伊木寅雄	昭和35年11月1日		謄写	1枚		伊木の肩書きは東京都選挙管理委員会委員長。	
1473		選挙広報原稿の提出について	伊木寅雄	昭和35年11月2日		謄写	1綴		伊木の肩書きは東京都選挙管理委員会委員長。	
1474		立会演説会々場案内図の送付について	佐々木不温	昭和35年11月1日		謄写、ペン	1枚		佐々木の肩書きは東京都新宿区選挙管理委員会委員長。	

浅沼稻次郎関係文書(その2) 書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1475		総選挙斗争の中で党組織を拡大強化せよ!	曾我裕次、佐々木幸一郎	昭和35年11月10日		謄写	1枚		「通達 組織(組指)」第4号。曾我の肩書きは日本社会党東京都連合会組織委員長。佐々木の肩書きは日本社会党東京都連合会組織指導部長。	
1476		全力をあげて終盤戦を斗い抜き勝利を獲得せよ	重盛寿治	昭和35年11月11日		謄写	1枚		選斗指令。重盛の肩書きは日本社会党東京都連合会総選挙斗争委員会。	
1477		〔立会演説会関係書類綴〕		昭和(35)年		謄写	1綴	「衆議院議員選挙における立会演説会開催計画案について」、「立会演説会開催単位表」、「立会演説会日程表」、「立会演説会開催日時及び会場一覧」(第一区～第七区)、「演説時間一覧」。	年は内容から推定。1487の中にも同内容の資料あり。	
1478		東京第一区立会演説会第一会場略図		昭和35年		謄写	1枚			
1479		立会演説会々場案内図	東京都新宿区選挙管理委員会	昭和(35)年		謄写	1綴		1482、1483と同一物。	
1480		〔立会演説会々場案内図〕		昭和(35)年		謄写、鉛筆	4枚	「竹町小学校」、「下谷公会堂」、「大正小学校」、「浅草公会堂」。	1479の続きカ。	
1481		〔立会演説会々場案内図〕		昭和(35)年		謄写	1枚	「西戸山小学校・青山小学校」。		
1482		立会演説会々場案内図	東京都新宿区選挙管理委員会	昭和(35)年		謄写	1綴		1479、1483と同一物。	
1483		立会演説会々場案内図	東京都新宿区選挙管理委員会	昭和(35)年		謄写	1綴		1479、1482と同一物。	
1484		立会演説会々場案内略図		昭和(35)年		謄写	1枚	「麻布公会堂・津久戸小学校」。		
1485		衆議院議員選挙立会演説会会場略図		昭和(35)年		謄写	2枚	「文京区林町小学校」、「文京区真砂小学校」。		
1486		京橋公会堂付近図		昭和(35)年		謄写、青焼き	1枚			
1487		立会演説会開催計画及び参加注意書	東京都選挙管理委員会	昭和35年		謄写	1冊			
1488		〔第一区第二班演説会予定表〕		昭和(35)年		謄写	2枚		同一物2枚。ただし、片方には書き込みあり。1489よりも前の段階カ。	
1489		〔第一区第二班演説会予定表〕		昭和(35)年		謄写	1枚			
1490		宣伝車運行計画表		昭和(35)年		謄写	1枚		年は内容から推定。	
1491		政連車の運行計画		昭和(35)カ年		活版	1枚		年は前後の資料から推定。	
1492		「政連車」宣伝、呼込用原稿		昭和(35)年		謄写	1枚		年は内容から推定。「参考」とある。	

浅沼稻次郎関係文書(その2)書類の部

番号	枝番号	標題	作成者	年月日	用紙	型式	数量	内容	備考	付
1493		選挙期間中における遊説予定幹部行動表		昭和35年		活版	10毎			
1494		選挙期間中における遊説予定幹部行動表		昭和(35)年		活版、ペン	7枚		年は内容から推定。	
1495		[封筒]		不明		ペン	1枚		1496～1503を入れる。	
1496		[浅沼享子選挙ポスター]		昭和(35)年		活版	1枚		1495に入る。1496から1498は別物。年は内容から推定。	
1497		[浅沼享子選挙ポスター]		昭和(35)年		活版	1枚		1495に入る。1496から1498は別物。年は内容から推定。	
1498		[浅沼享子選挙ポスター]		昭和(35)年		活版	同一物2枚		1495に入る。1496から1498は別物。年は内容から推定。	
1499		[日本社会党選挙ポスター]		昭和(35)年		活版	1枚		1495に入る。浅沼稻次郎暗殺事件直後のものカ。	
1500		[浅沼享子選挙ビラ]		昭和(35)年		活版	1枚		1495に入る。年は内容から推定。	
1501		神近市子選対ニュース	神近市子選挙事務所	昭和35年11月1日		活版、謄写	1通		1495に入る。	
1502		浅沼享子選挙事務所開設通知	浅沼享子選挙事務所	昭和(35)年		活版	1枚		1495に入る。年は内容から推定。	
1503		衆議院議員東京都第一区得票一覧	浅沼享子選挙対策委員会	昭和35年		活版	1枚		1495に入る。	
1504		日本社会党公認候補者一覧		昭和(35)年		活版	3枚		年は内容から推定。	
1505		日本社会党東京立候補者連絡一覧	日本社会党東京都連総選挙斗争委員会	昭和(35)年		謄写	1枚		1505と1506は同一物出所違い。年は内容から推定。	
1506		日本社会党東京立候補者連絡一覧	日本社会党東京都連総選挙斗争委員会	昭和(35)年		謄写	1枚		1505と1506は同一物出所違い。年は内容から推定。	
1507		日本社会党公認候補者選挙事務所一覧表		昭和(35)年		活版	3枚		年は内容から推定。	
1508		社会新報候補者別号外見本(第二号)送付について		昭和(35)年		活版	1枚		年は内容から推定。	
1509		[欠席届原稿]		昭和(35)年		鉛筆、謄写	1枚		裏面は「立会演説会における演説順序等の決定について」。年は裏面記載の年を採った。	
1510		[人権を守る会趣意書・規約]	人権を守る会結成準備委員会	昭和(35)年		活版	3枚		年は規約からとった。	
1511		「人権を守る会」結成準備にあたって	小柳勇・中島英夫	昭和36年1月25日		活版	2枚		小柳の肩書きは日本社会党不当弾圧対策委員会事務局長。中島の肩書きは日本社会党組織局市民対策部長。	